

**平成 27 年度
指標達成度調査
報告書**

札幌市

目 次

1.	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	内容	1
(3)	設計	1
(4)	回収結果	1
(5)	回答者の特性	2
(6)	本調査結果利用上の注意	3
2.	調査結果の詳細	4
(1)	「暮らし・コミュニティ」について	4
・	子どもを生み育てやすい環境	4
・	子どもの権利の保護	6
・	相談相手や情報収集手段の有無	8
・	相談等により不安や負担を軽くすることができる環境	10
・	保育サービスの利用	12
・	ひとり親家庭の生活に対する不安	14
・	仕事と家庭との調和	20
・	障がい者の暮らしやすさ	22
・	生活や健康福祉の相談先	26
・	孤立死の心配	30
・	犯罪のない安全に安心して暮らせるまち	32
・	防犯の意識	34
・	防犯活動への参加	36
・	自転車のルールやマナーの遵守	38
・	自転車のルールやマナーの意識向上	40
・	雪置き場の利用と協力	42
・	継続的に行っているまちづくり活動	44
・	市民参加の機会	48
・	市政への関心や参加	58
・	市政への参加しやすさに必要な事柄	60
・	海外交流への関心	62
・	趣味などで行った文化芸術活動	64
・	スポーツの直接観戦	68
・	行ったスポーツ（運動）	72
・	スポーツを行った日数	78
・	札幌の水道	80
・	水道に関する取り組み	86

(2)	「産業・活力」について.....	88
・	自然・社会・文化体験をしやすい環境.....	88
・	さっぽろ雪まつり会場への来場.....	90
・	来場の機会拡大.....	92
(3)	「低炭素社会・エネルギー転換」について.....	94
・	生ごみ減量・リサイクルの取り組み.....	94
・	「生物多様性」の認知度.....	96
・	環境配慮活動について.....	98
(4)	将来を見据えた魅力ある都市の整備.....	104
・	都心部の「にぎわい」について.....	104
・	住環境の満足度.....	106
・	公共交通の満足度.....	108
	調査票.....	110

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意見を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

(2) 内容

- ① 「暮らし・コミュニティ」について
- ② 「産業・活力」について
- ③ 「低炭素社会・エネルギー転換」について
- ④ 「戦略を支える都市空間」について

(3) 設計

本調査は、次のとおり設計した。

- | | |
|----------|---|
| ① 調査地域 | 札幌市内 |
| ② 調査対象 | 満18歳以上の男女個人 |
| ③ 標本数 | 4,000人 |
| ④ 調査方法 | 調査票を郵送し、返信用封筒で回収 |
| ⑤ 調査期間 | 平成28年2月1日(月)～平成28年2月26日(金) |
| ⑥ 抽出方法 | 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う) |
| ⑦ 調査実施機関 | 有限会社タイムエージェント |

(4) 回収結果

- | | |
|----------|--------------|
| ① 発送数 | 4,000 |
| ② 回収数(率) | 1,666(41.7%) |

(5) 回答者の特性

		回答者数	男性	女性	無回答	計
全体		1,666	40.3	58.0	1.6	100.0
性別	男性	672	100.0	-	-	100.0
	女性	967	-	100.0	-	100.0
	無回答	27	-	-	100.0	100.0
年代別	18～19歳	30	46.7	53.3	-	100.0
	20～29歳	132	40.2	59.8	-	100.0
	30～39歳	237	32.5	67.5	-	100.0
	40～49歳	297	36.0	64.0	-	100.0
	50～59歳	291	40.9	59.1	-	100.0
	60～64歳	158	48.7	51.3	-	100.0
	65～69歳	172	46.5	51.7	1.7	100.0
	70歳以上	330	43.6	54.2	2.1	100.0
	無回答	19	5.3	5.3	89.5	100.0
居住区別	中央区	189	39.2	60.3	0.5	100.0
	北区	230	36.5	63.0	0.4	100.0
	東区	215	41.9	57.7	0.5	100.0
	白石区	151	41.1	58.3	0.7	100.0
	厚別区	129	41.1	58.1	0.8	100.0
	豊平区	194	42.8	57.2	-	100.0
	清田区	115	47.0	52.2	0.9	100.0
	南区	119	38.7	59.7	1.7	100.0
	西区	185	40.5	58.9	0.5	100.0
	手稲区	122	41.0	57.4	1.6	100.0
	無回答	17	5.9	-	94.1	100.0

(6) 本調査結果利用上の注意

- ① Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数を分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

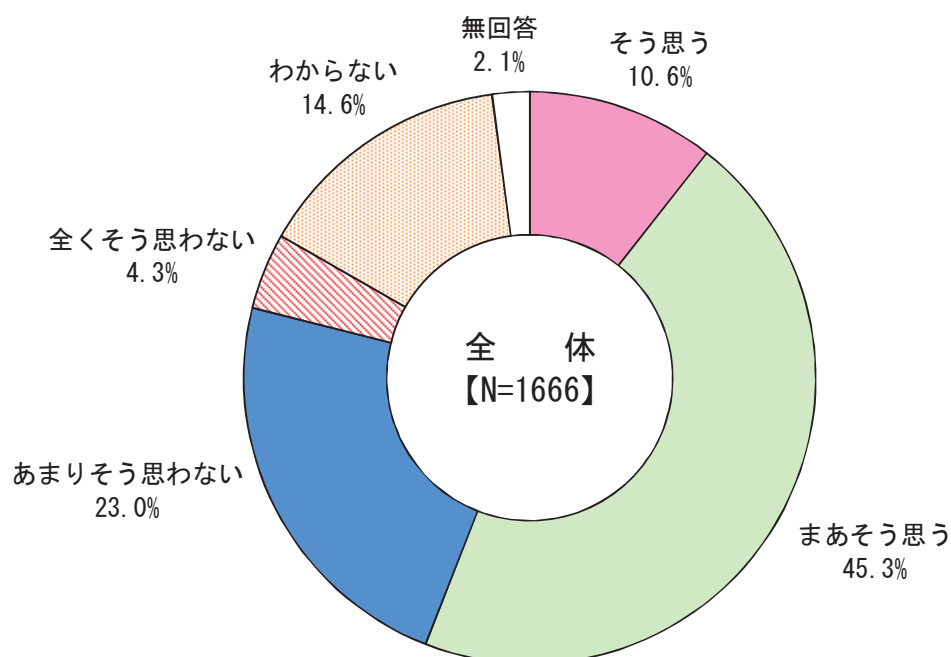
2. 調査結果の詳細

(1) 「暮らし・コミュニティ」について

・ 子どもを生き育てやすい環境

【問1】 札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「そう思う」(10.6%)と「まあそう思う」(45.3%)を合わせた割合(55.9%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもを生き育てやすい環境にあるかについては、「まあそう思う」が45.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が23.0%、「わからない」が14.6%、「そう思う」が10.6%、「全くそう思わない」が4.3%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で47.3%、女性で43.8%となっている。「そう思う」は男性が11.5%と女性の10.1%と比較し若干高い。

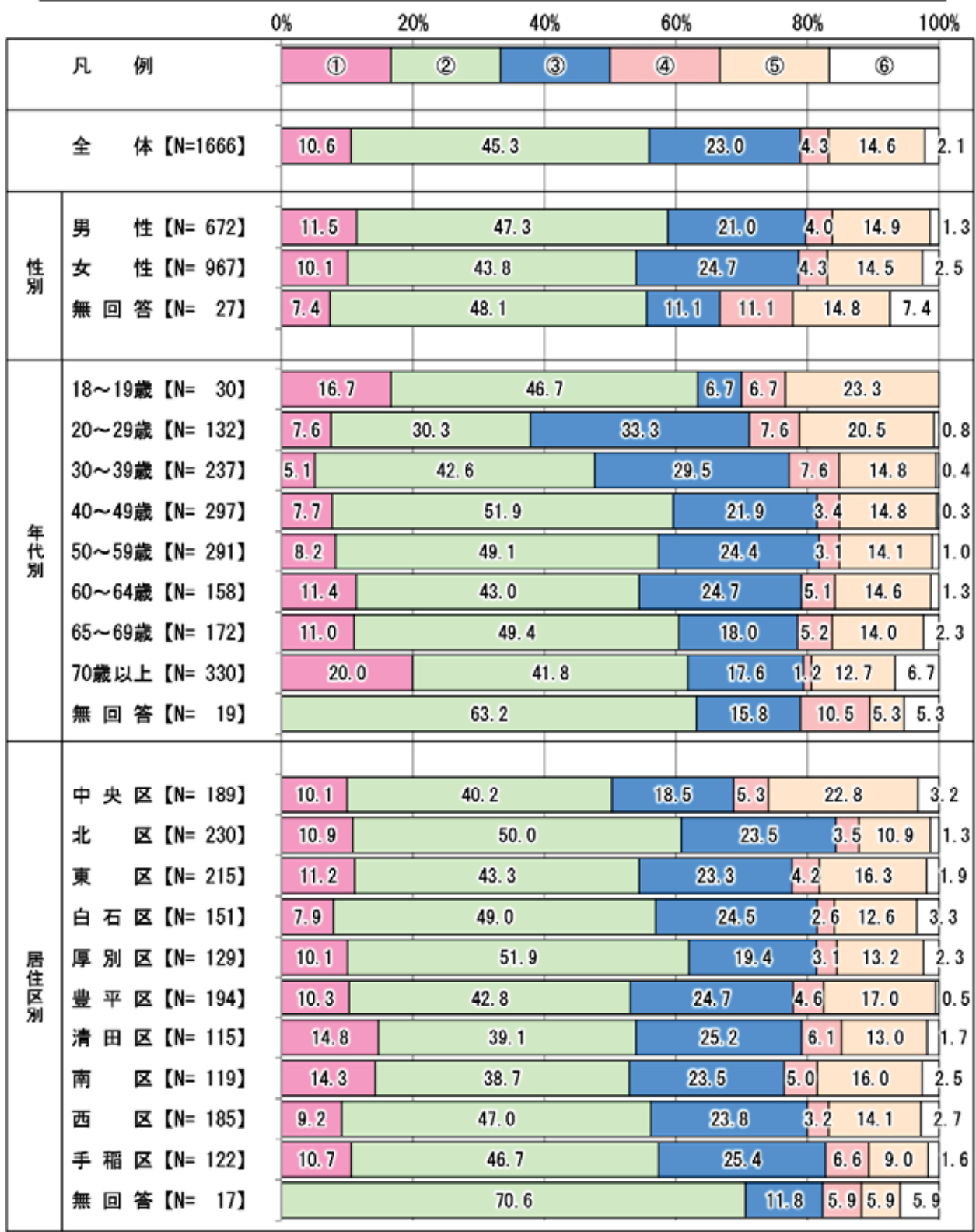
【年代別】

20歳代を除く全ての年代で「まあそう思う」が最も高く、特に40歳代では51.9%、50歳代では49.1%となっている。「あまりそう思わない」は20歳代が33.3%と最も高く、年代が上がるにつれ減少していく傾向となっている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、特に、厚別区では51.9%、北区では50%となっている。「そう思う」は清田区が14.8%と他の居住区と比較し高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

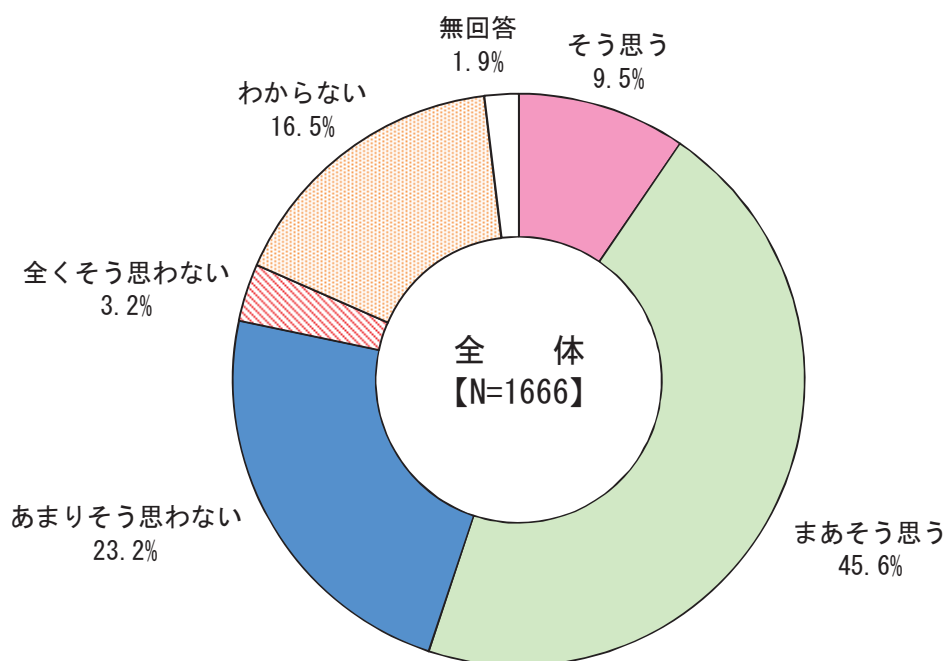


・ 子どもの権利の保護

【問2】 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利が守られているかについては、「そう思う」(9.5%)と「まあそう思う」(45.6%)を合わせた割合(55.1%)が全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもの権利が守られているかについては、「まあそう思う」が45.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が23.2%、「わからない」が16.5%、「そう思う」が9.5%、「全くそう思わない」が3.2%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で48.1%、女性で44.1%となっている。「そう思う」は男性が10.1%と女性の9.0%と比較し若干高い。

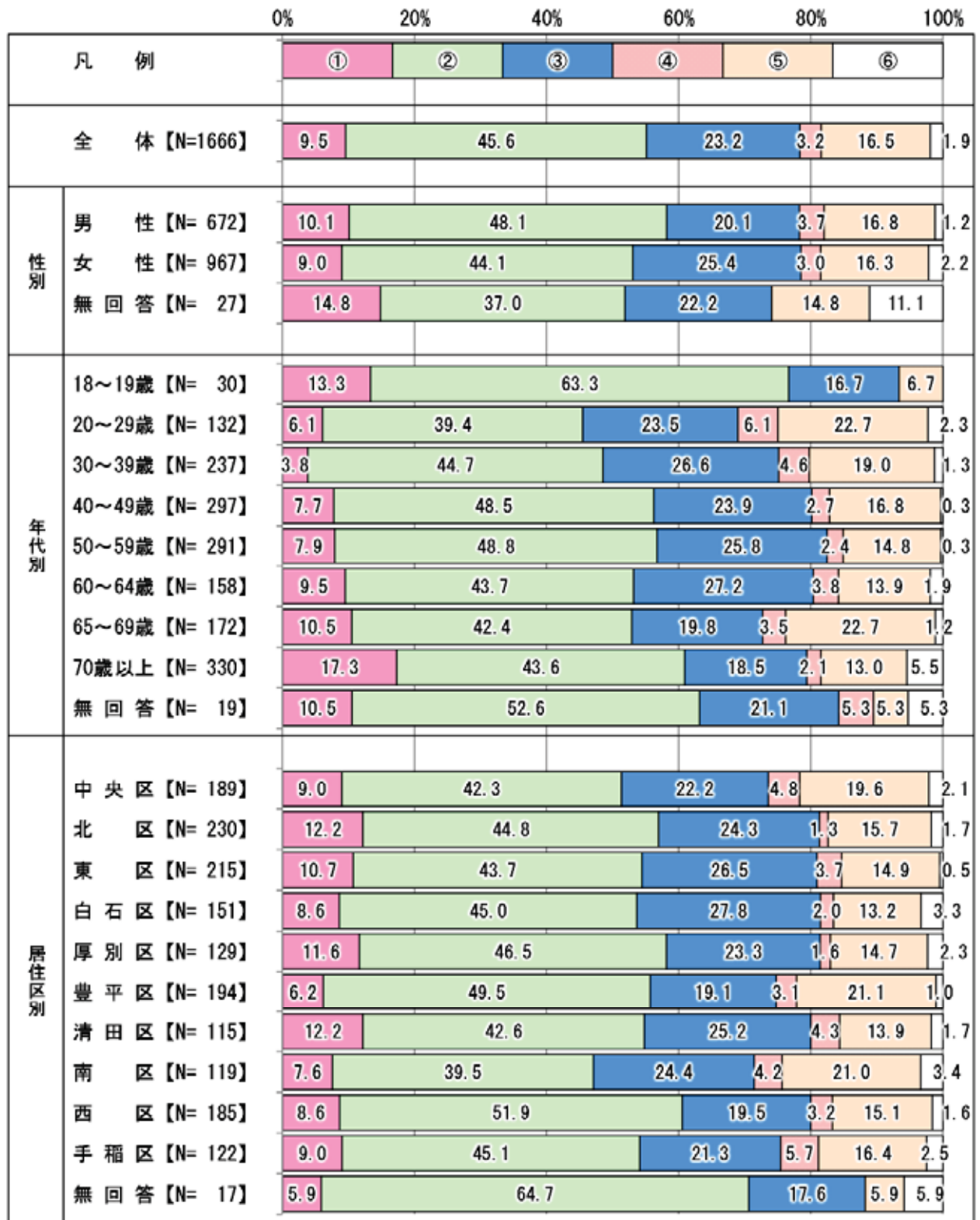
【年代別】

全ての年代で「まあそう思う」が最も高く、特に50歳代では48.8%と5割程度となっている。「あまりそう思わない」は60～64歳で27.2%と最も高い。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、西区では51.9%と5割を超えている。「そう思う」は北区と清田区が12.2%と他の居住区と比較し若干高い。「あまりそう思わない」は白石区で27.8%、東区で26.5%と他の居住区と比較し若干高い。

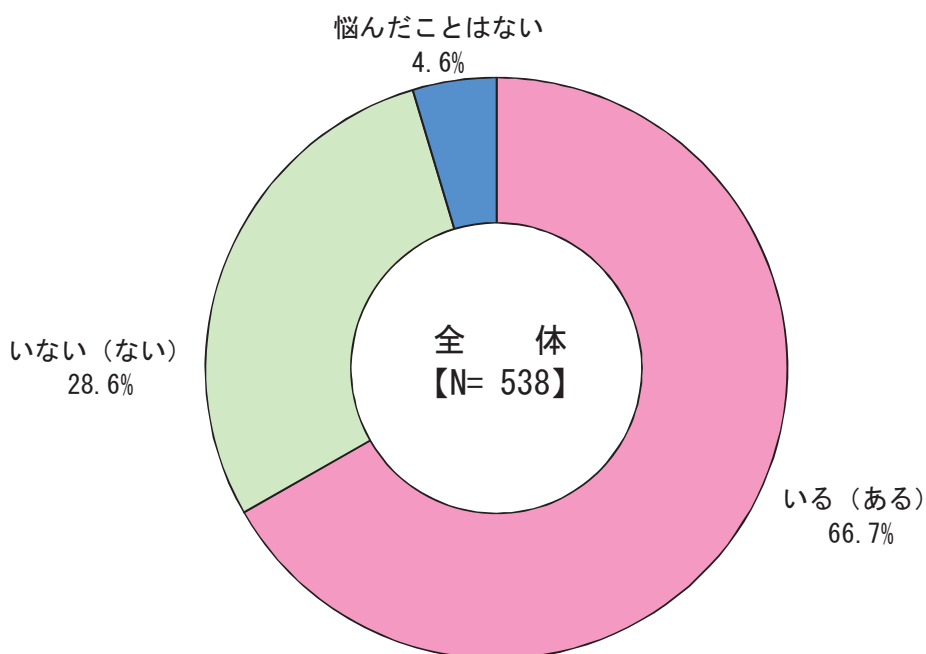
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 相談相手や情報収集手段の有無

【問3】 この設問は 18歳以下のお子さんがある方にのみお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無については、「いる(ある)」(66.7%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

相談相手や情報収集手段の有無については、「いる(ある)」が 66.7%と最も高く、次いで「いない(ない)」が 28.6%、「悩んだことはない」が 4.6%となっている。

【性別】

男女ともに「いる(ある)」が最も高く、女性が 78.1%と男性の 50.9%と比較して高い。「いない(ない)」は男性が 40.5%と女性の 20.3%と比較し高い。「悩んだことはない」は男性が 8.6%と女性の 1.6%と比較し高い。

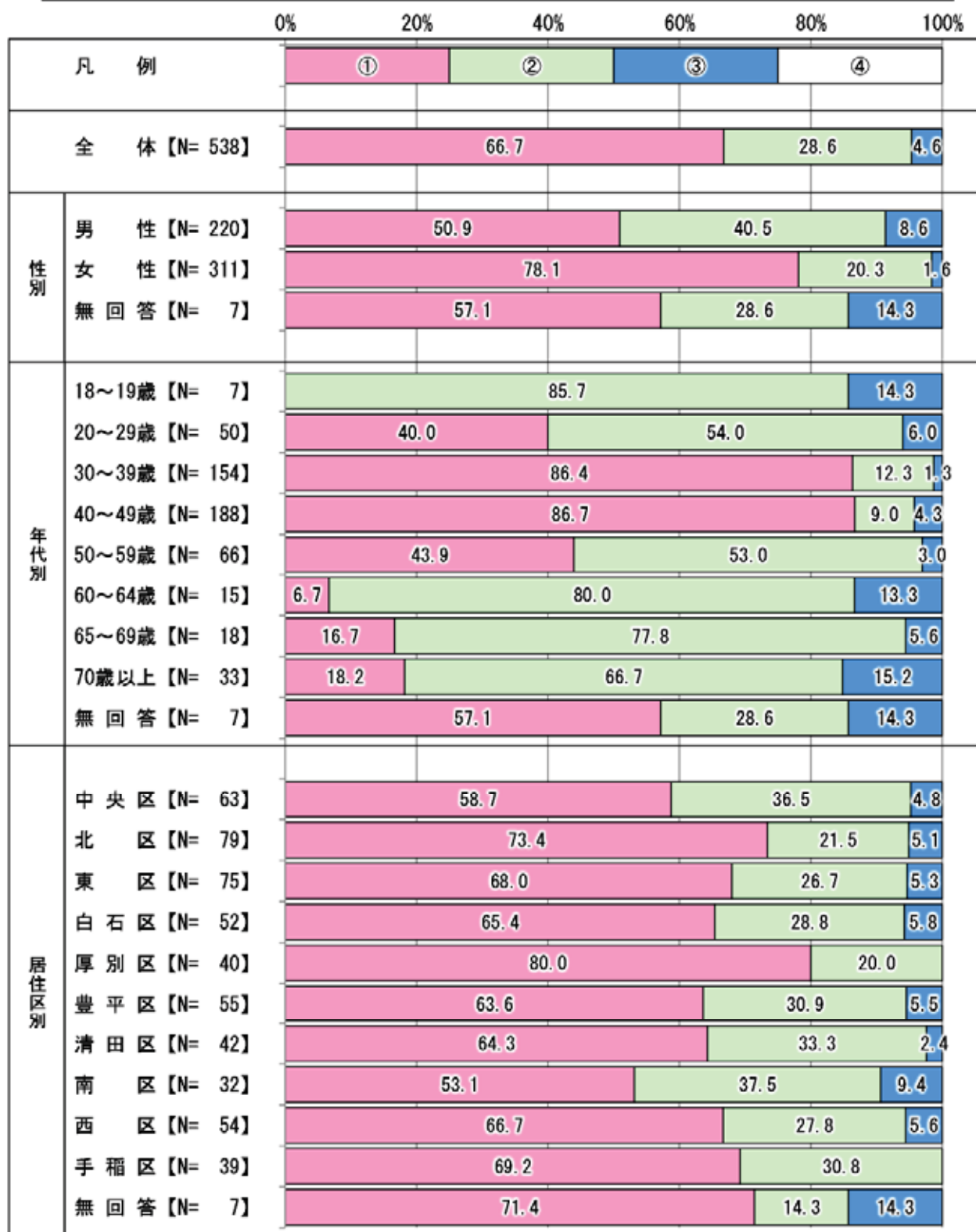
【年代別】

「いる(ある)」は 30 歳代、40 歳代が最も高く、それぞれ 86.4%、86.7%である。

【居住区別】

全居住区で「いる(ある)」が最も高く、なかでも厚別区では 80.0%となっている。「いない(ない)」は南区で 37.5%と他の居住区と比較し高い。

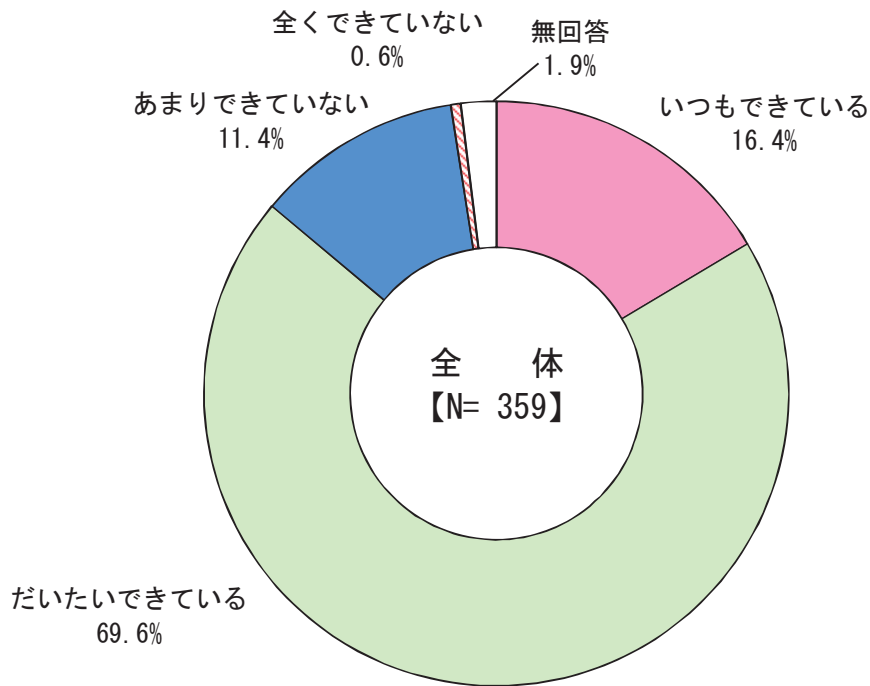
①いる（ある） ②いない（ない） ③悩んだことはない ④無回答



・ 相談等により不安や負担を軽くすることができる環境

【問4】 問3で「1.いる（ある）」と答えた方にお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談等により不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談等により不安や負担を軽くすることができるかについては、「いつもできている」(16.4%)と「だいたいできている」(69.6%)を合わせた割合(86.0%)が全体の約9割を占めている。



【対象者全体】

相談等により不安や負担を軽くすることができるかについては、「だいたいできている」が69.6%と最も高く、次いで「いつもできている」が16.4%、「あまりできていない」が11.4%、「全くできていない」が0.6%となっている。

【性別】

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が71.4%、女性が68.7%となっている。「いつもできている」は女性が18.5%と男性の12.5%と比較し高い。

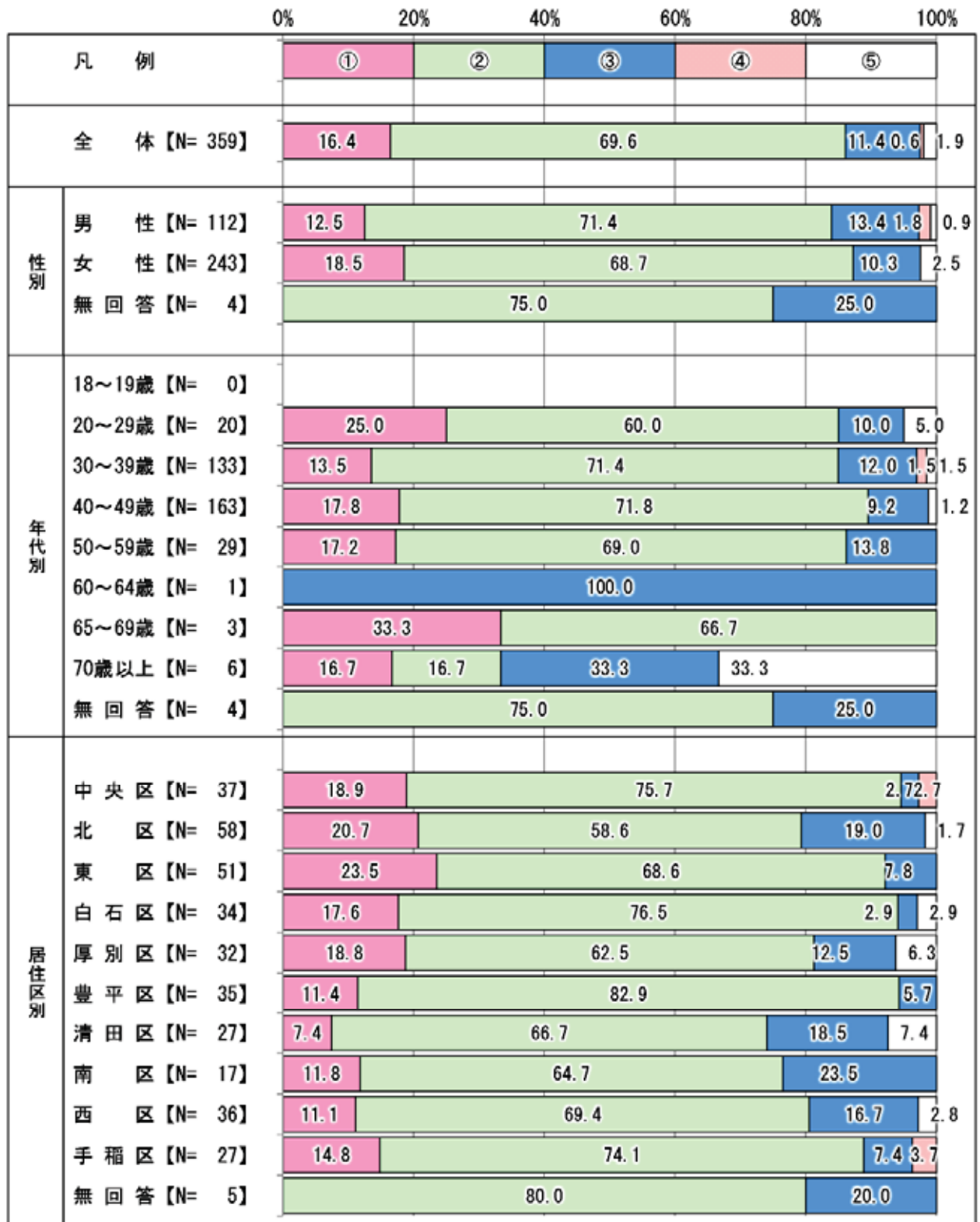
【年代別】

ほぼ全ての年代で「だいたいできている」が最も高く、40歳代では71.8%となっている。

【居住区別】

全居住区で「だいたいできている」が最も高く、特に豊平区が82.9%、白石区が76.5%となっている。「あまりできていない」は南区が23.5%と他の居住区と比較し高い。

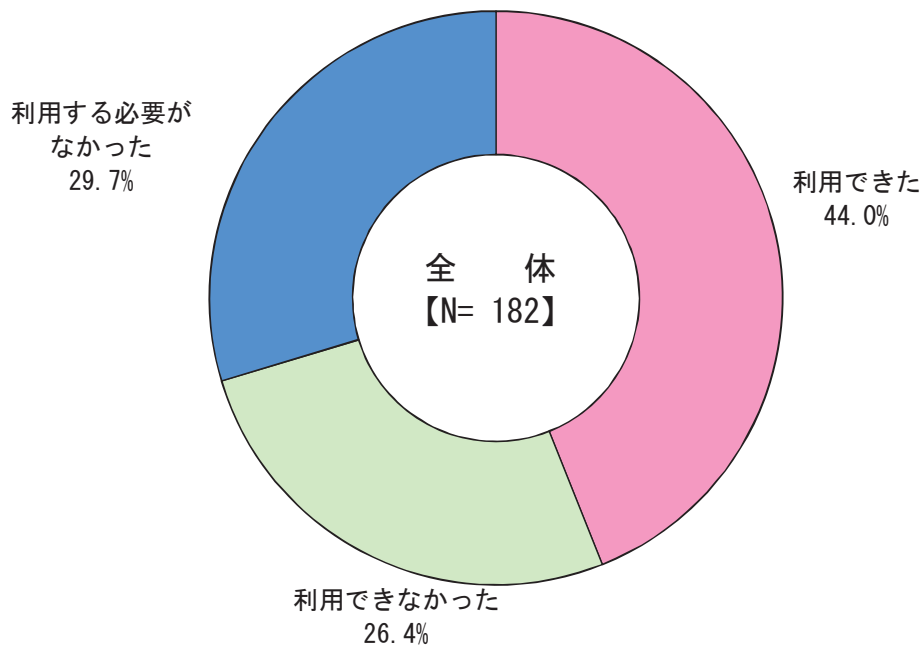
①いつもできている ②だいたいできている ③あまりできていない ④全くできていない ⑤無回答



・ 保育サービスの利用

【問5】 この設問は小学校入学前のお子さんがいる方にのみお聞きします。この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

保育サービスの利用については、「利用できた」が44.0%と最も高くなっている。



【対象者全体】

保育サービスの利用については、「利用できた」が44.0%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が29.7%、「利用できなかった」が26.4%となっている。

【性別】

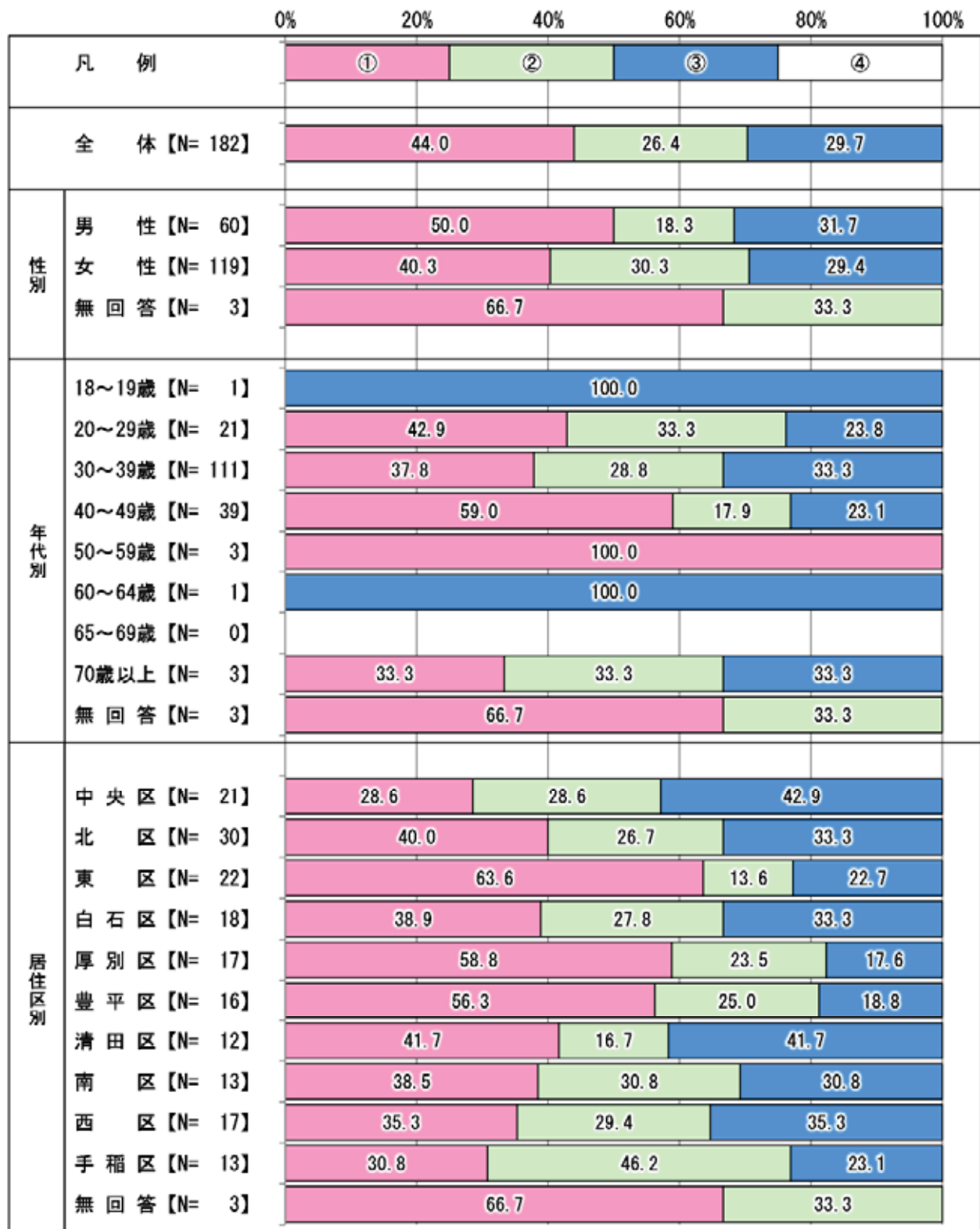
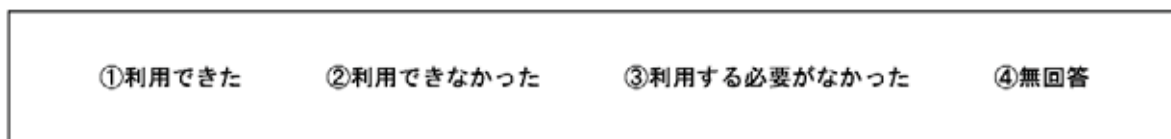
男女ともに「利用できた」が最も高く、男性が50.0%、女性が40.3%となっている。「利用できなかった」は女性が30.3%と男性の18.3%と比較し高い。

【年代別】

20～50歳代の年代で「利用できた」が最も高く、「利用できなかった」は20歳代で33.3%、30歳代で28.8%となっている。

【居住区別】

「利用できた」は東区が63.6%と最も高く、次いで厚別区が58.8%、豊平区が56.3%となっている。「利用できなかった」は手稲区が46.2%と、他の居住区と比較して高い。「利用する必要がなかった」は中央区が42.9%、清田区が41.7%と他の居住区と比較し高い。

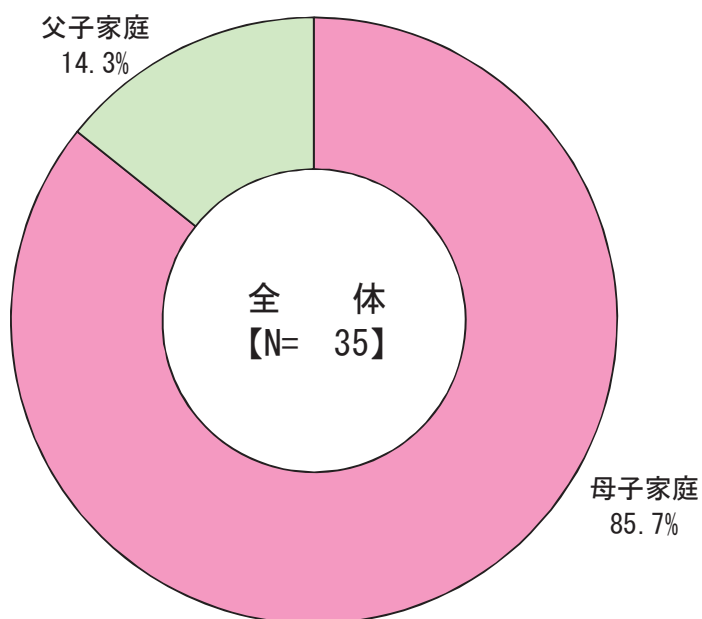


・ ひとり親家庭の生活に対する不安

【問6】 この設問は 20歳未満のお子さんがいるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

(1) 母子家庭または父子家庭のどちらですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

ひとり親家庭については、「母子家庭」が85.7%と全体の約9割を占めている。

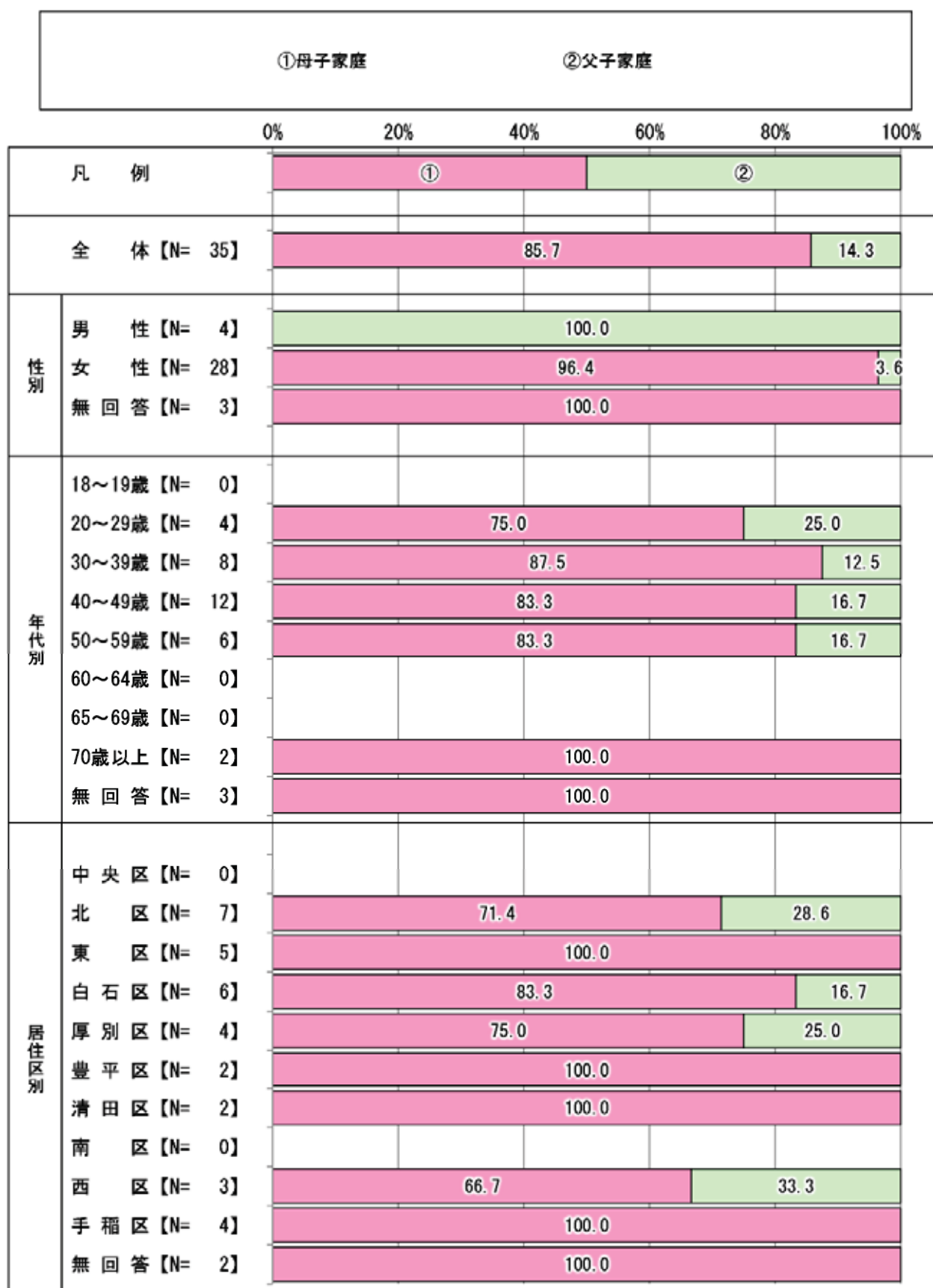


【対象者全体】

ひとり親家庭については、「母子家庭」が85.7%、「父子家庭」が14.3%となっている。

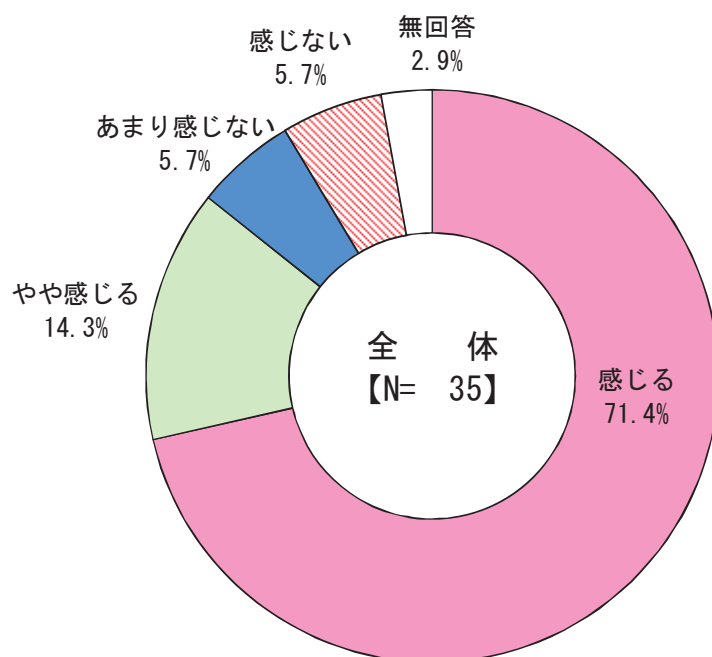
【年代別】

全年代で「母子家庭」の割合が高くなっている。



(2) 今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

今後の生活に対する不安については、「感じる」(71.4%)が最も高く、7割を超えている。



【対象者全体】

今後の生活に対する不安については、「感じる」が 71.4%と最も高く、次いで「やや感じる」が 14.3%、「あまり感じない」と「感じない」が 5.7%となっている。

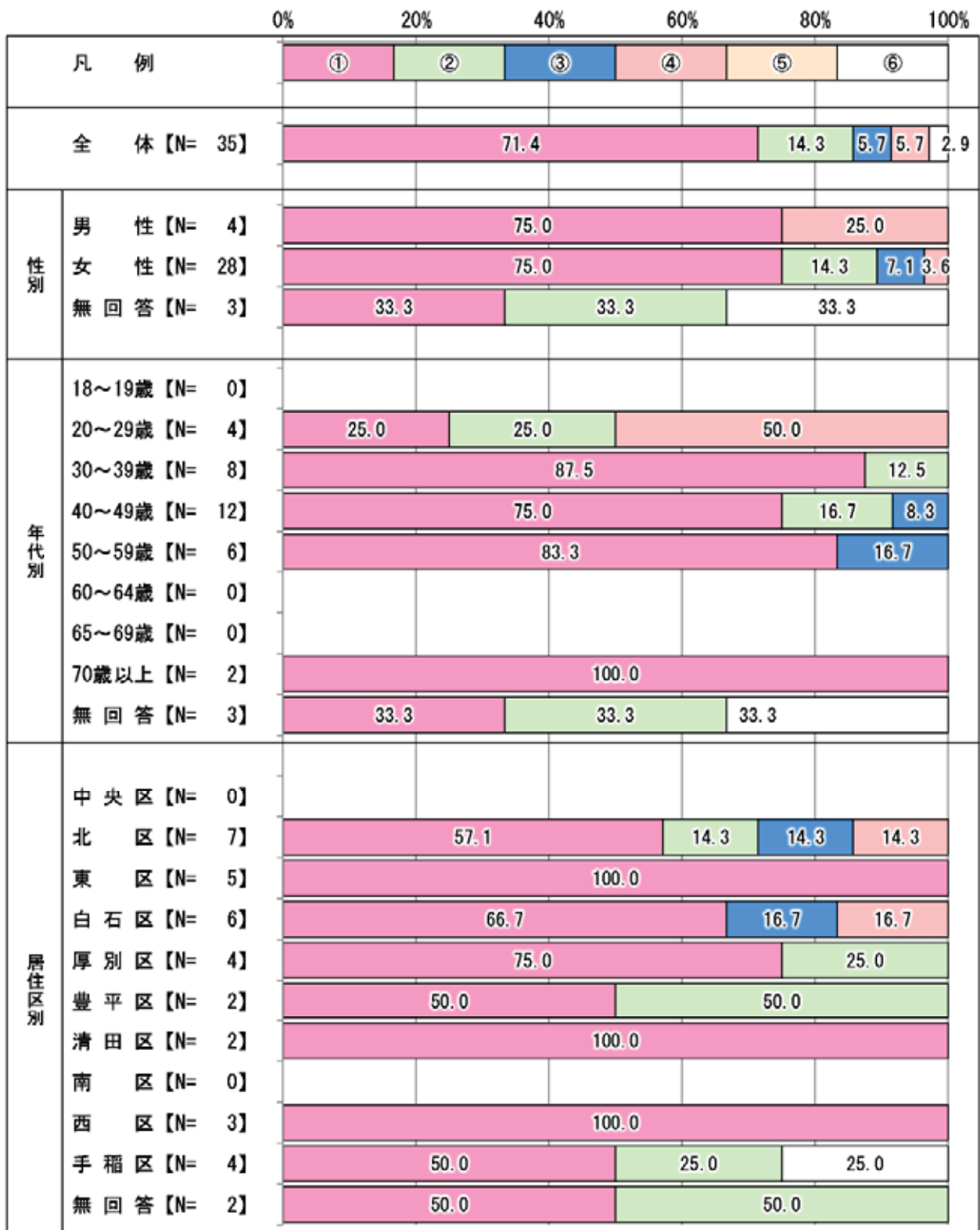
【性別】

男女とも「感じる」が 75.0%と最も高くなっている。次いで女性では、「やや感じる」が 14.3%、「あまり感じない」が 7.1%、「感じない」が 3.6%となっているが、男性では「感じない」が 25.0%となっている。

【年代別】

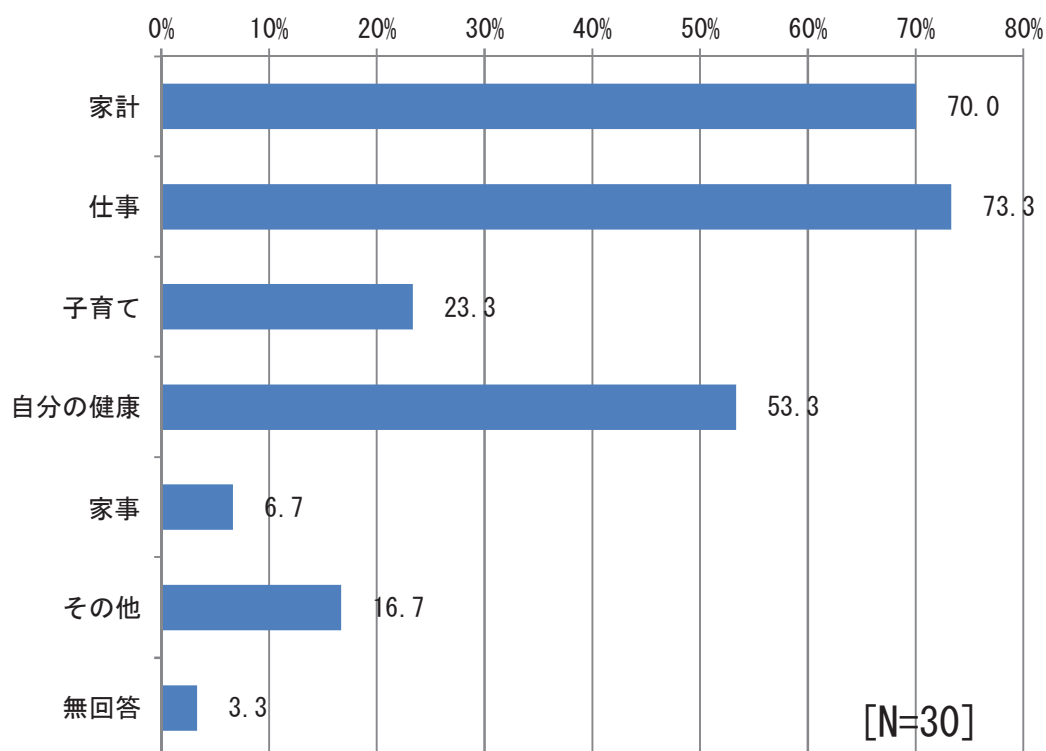
20 歳代では「感じない」が 50.0%と最も高いが、回答があった他の世代では「感じる」が最も高く、70 歳以上は 100.0%、30 歳代が 87.5%となっている。

①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



(3) (2)で「1. 感じる」または「2. やや感じる」を回答した方のみにお聞きします。具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

今後の生活に関する不安を感じる要因については、「仕事」(73.3%)、「家計」(70.0%)が高く、7割を超えている。



【対象者全体】

今後の生活に関する不安を感じる要因については、「仕事」が 73.3%と最も高く、次いで「家計」が 70.0%、「自分の健康」が 53.3%となっている。

【性別】

男性は「仕事」が 100.0%と女性の 72.0%と比較し高い。女性は「家計」が 76.0%と男性の 33.3%と比較し高い。

【年代別】

20 歳代では「家計」と「自分の健康」が 100.0%、30 歳代では「家計」と「仕事」が 87.5%、50 歳代では「仕事」が100.0%となっている。

(単位：%)

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答	計
全体		30	70.0	73.3	23.3	53.3	6.7	16.7	3.3	246.7
性別	男性	3	33.3	100.0	33.3	33.3	-	-	-	200.0
	女性	25	76.0	72.0	20.0	56.0	8.0	20.0	4.0	256.0
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	200.0
年代別	18～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	2	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	400.0
	30～39歳	8	87.5	87.5	62.5	37.5	12.5	12.5	-	300.0
	40～49歳	11	63.6	63.6	-	54.5	-	27.3	-	209.1
	50～59歳	5	80.0	100.0	-	80.0	-	-	-	260.0
	60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳以上	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	100.0
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	200.0
居住区別	中央区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北区	5	80.0	60.0	40.0	40.0	-	20.0	-	240.0
	東区	5	100.0	80.0	-	40.0	20.0	20.0	-	260.0
	白石区	4	50.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-	200.0
	厚別区	4	50.0	75.0	-	50.0	-	25.0	-	200.0
	豊平区	2	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	250.0
	清田区	2	100.0	100.0	50.0	100.0	-	-	-	350.0
	南区	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西区	3	33.3	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	200.0
	手稲区	3	66.7	100.0	33.3	100.0	33.3	33.3	-	366.7
	無回答	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	200.0

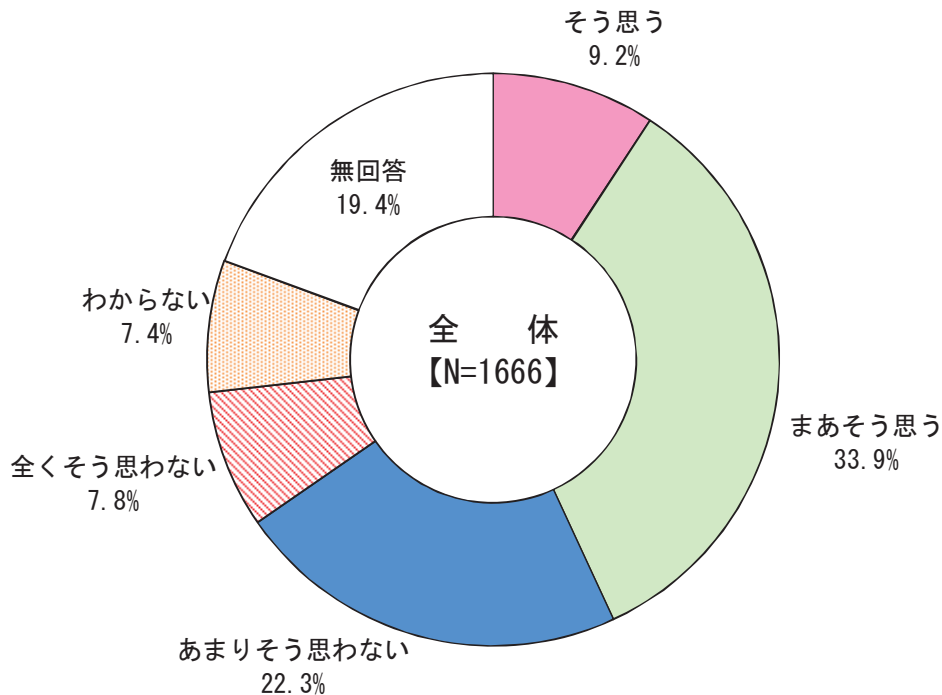
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 仕事と家庭との調和

【問7】 あなたは、「仕事」と「家事（育児）、プライベートなどの生活」の調和がとれていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

仕事と家庭との調和については、「まあそう思う」が 33.9%で最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 22.3%となっている。



【対象者全体】

仕事と家庭との調和については、「まあそう思う」が 33.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 22.3%、「そう思う」が 9.2%、「全くそう思わない」が 7.8%、「わからない」が 7.4%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が 38.1%、女性が 31.5%となっている。「あまりそう思わない」は、男性が 22.9%、女性が 21.8%となっている。

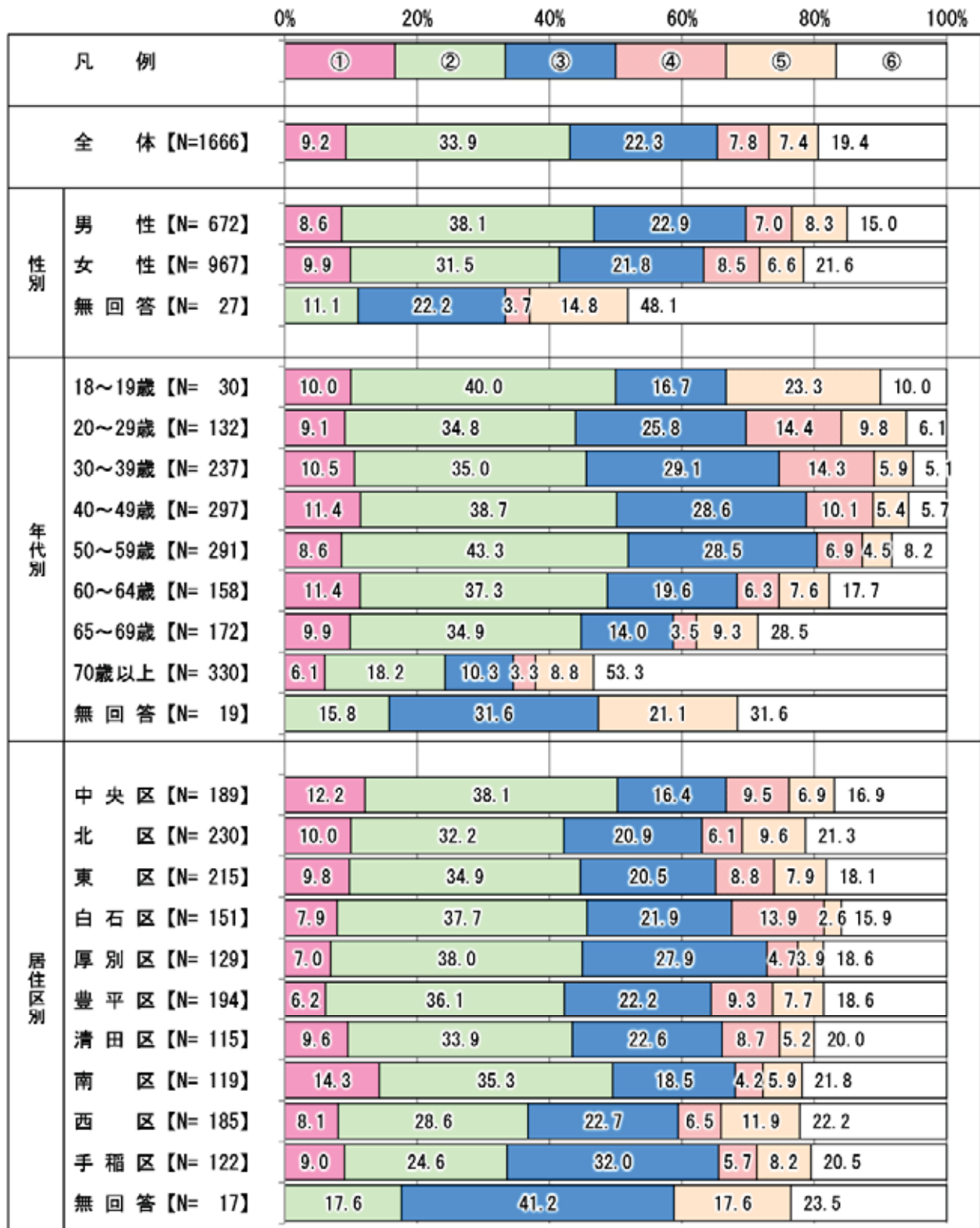
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、50歳代では 43.3%と4割を超えている。20歳代～50歳代にかけては、「あまりそう思わない」が2割を超えている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、3割程度となっている。中央区、南区では「そう思う」が1割を超えている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

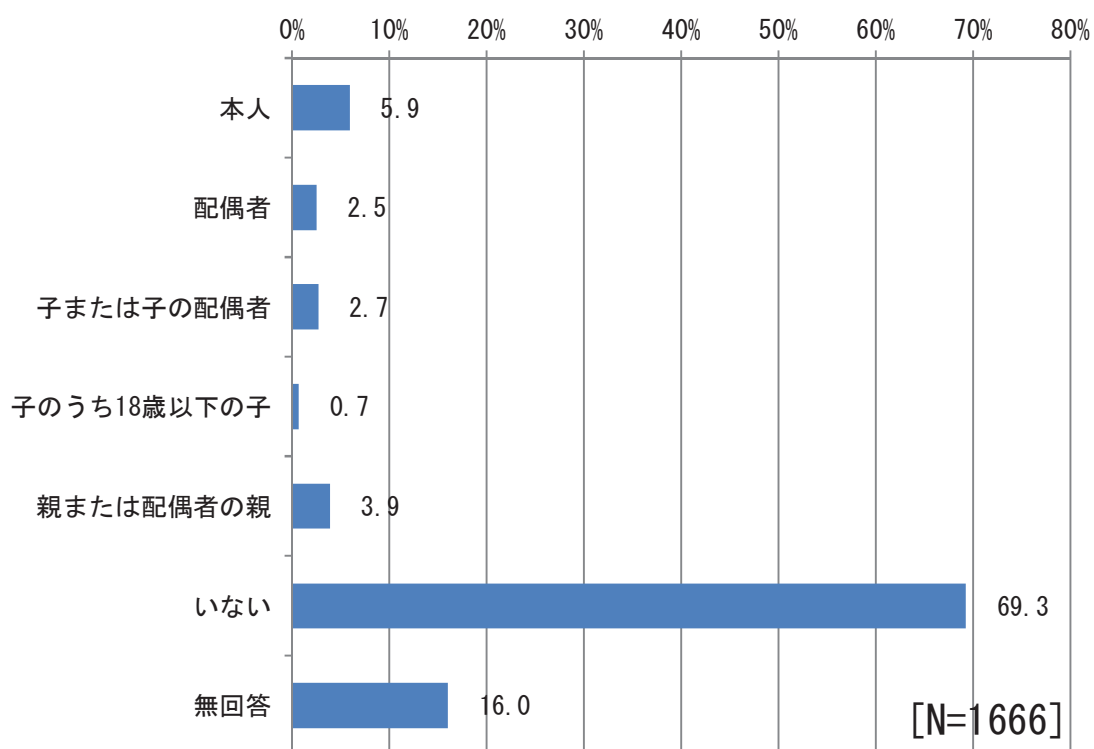


・ 障がい者の暮らしやすさ

【問8】 障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、または同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

障がい者との同居については、「いない」が 69.3%と全体の約 7 割を占めている。



【対象者全体】

障がい者との同居については、「いない」が 69.3%と最も高く、次いで「本人」が 5.9%となっている。

【性別】

男女ともに「いない」が最も高く、男性で 70.5%、女性で 68.9%となっている。「本人」は男性が 7.7%と、女性の 4.8%と比較して高い。

【年代別】

全年代で「いない」が最も高く、18～19 歳では 96.7%と 9 割を超えている。

【居住区別】

全居住区で「いない」が最も高く、中央区では 75.7%、北区では 70.9%、東区では 72.1%、豊平区では 72.7%と 7 割を超えている。

(単位：%)

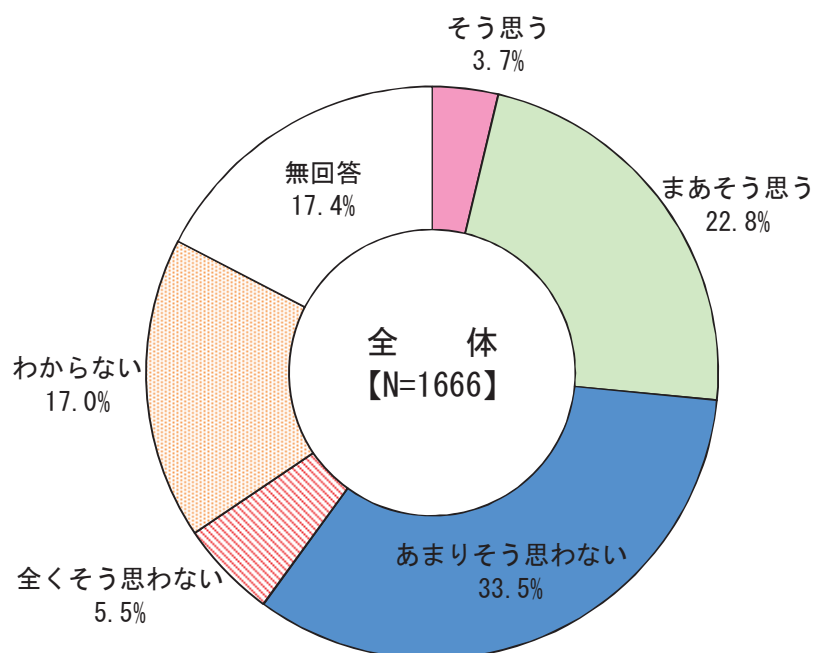
		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	子のうち18歳以下の子	親または配偶者の親	いない	無回答	計
全体		1,666	5.9	2.5	2.7	0.7	3.9	69.3	16.0	101.1
性別	男性	672	7.7	3.0	2.7	0.3	4.2	70.5	12.6	101.0
	女性	967	4.8	2.2	2.7	1.0	3.8	68.9	17.8	101.1
	無回答	27	3.7	3.7	3.7	-	-	51.9	37.0	100.0
年代別	18～19歳	30	-	-	-	-	3.3	96.7	-	100.0
	20～29歳	132	3.0	-	-	0.8	5.3	83.3	7.6	100.0
	30～39歳	237	3.8	0.8	0.4	1.3	3.8	79.7	11.0	100.8
	40～49歳	297	3.4	-	3.0	2.4	5.4	79.5	7.4	101.0
	50～59歳	291	5.2	2.1	5.2	0.3	6.5	73.2	8.6	101.0
	60～64歳	158	6.3	5.7	2.5	-	3.8	64.6	19.6	102.5
	65～69歳	172	7.0	2.9	4.1	-	1.7	68.0	17.4	101.2
	70歳以上	330	11.8	6.1	2.4	-	0.9	44.5	35.5	101.2
	無回答	19	-	-	5.3	-	5.3	57.9	31.6	100.0
居住区別	中央区	189	4.2	2.6	1.1	1.1	2.6	75.7	12.7	100.0
	北区	230	4.3	3.0	2.6	-	3.9	70.9	16.5	101.3
	東区	215	5.1	3.7	0.5	0.5	4.7	72.1	15.3	101.9
	白石区	151	8.6	4.0	4.0	1.3	3.3	58.3	21.9	101.3
	厚別区	129	7.8	0.8	1.6	0.8	4.7	62.8	21.7	100.0
	豊平区	194	6.2	3.1	2.1	0.5	3.6	72.7	12.4	100.5
	清田区	115	8.7	1.7	2.6	0.9	5.2	67.8	13.9	100.9
	南区	119	7.6	-	4.2	-	3.4	68.9	16.8	100.8
	西区	185	4.3	1.6	4.3	0.5	3.8	69.2	17.3	101.1
	手稲区	122	6.6	3.3	6.6	1.6	4.9	68.9	11.5	103.3
	無回答	17	-	-	-	5.9	-	64.7	29.4	100.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) 札幌市は、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がい者にとって暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」が 33.5%、「まあそう思う」が 22.8%となっている。



【対象者全体】

障がい者にとって暮らしやすいまちであるかについては、「あまりそう思わない」が 33.5%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 22.8%、「わからない」が 17.0%となっている。

【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性は 33.6%、女性は 33.9%となっている。「そう思う」は、男性が 5.1%で女性の 2.8%と比較し高い。

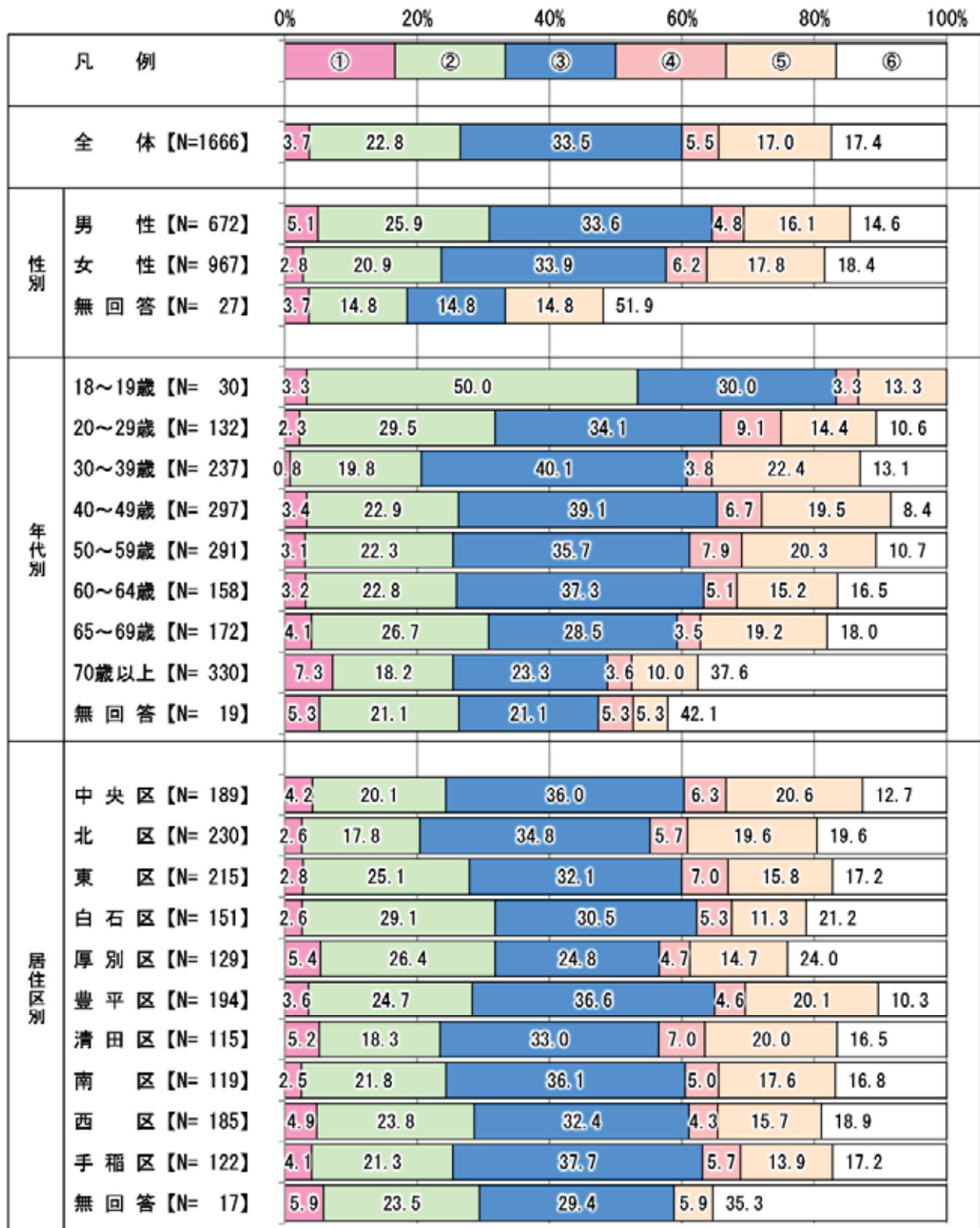
【年代別】

18～19歳は「まあそう思う」が 50.0%と最も高い。20～70歳以上は「あまりそう思わない」が最も高くなっており、30歳代は 40.1%と4割を超えている。

【居住区別】

全居住区とも「あまりそう思わない」が最も高く、豊平区では 36.6%、南区では 36.1%、手稲区では 37.7%となっている。

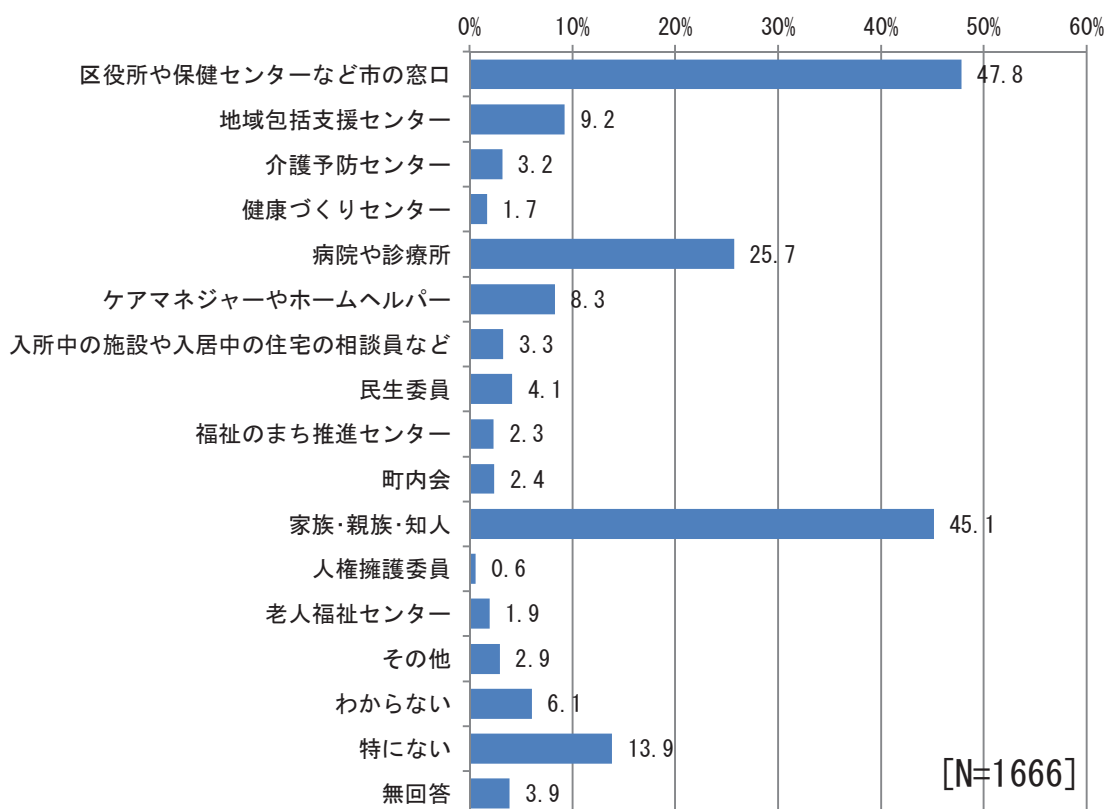
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 生活や健康福祉の相談先

【問9】 あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保健センターなど市の窓口」が 47.8%と最も高く、次いで「家族・親族・知人」の 45.1%となっている。



【対象者全体】

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保健センターなど市の窓口」が 47.8%と最も高く、次いで「家族・親族・知人」の 45.1%、「病院や診療所」が 25.7%となっている。

【性別】

男性は「区役所や保健センターなど市の窓口」が 46.0%と最も高く、女性は「家族・親族・知人」が 51.1%と最も高くなっている。

【年代別】

18～19 歳、20～40 歳代では「家族・親族・知人」が最も高く、18～19 歳で 46.7%、20 歳代で 43.9%、30 歳代で 54.0%、40 歳代で 53.9%となっている。50～70 歳以上では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、50 歳代で 54.0%、60～64 歳で 54.4%、65～69 歳で 50.6%、70 歳以上で 43.0%となっている。

【居住区別】

手稲区では「区役所や保健センターなど市の窓口」が最も高く、53.3%となっている。厚別区では「家族・親族・知人」が最も高く、50.4%となっている。

単位：%

	回答者数	窓口 区役所や保健センターなど市の	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院や診療所	パッケージマネジャーやホームヘルパー	入所中の施設や入居中の住宅の相談員など	民生委員	
全体	1,666	47.8	9.2	3.2	1.7	25.7	8.3	3.3	4.1	
性別	男性	672	46.0	8.2	3.0	1.6	26.5	6.4	2.5	5.1
	女性	967	49.3	9.9	3.3	1.8	25.3	9.4	3.9	3.5
	無回答	27	40.7	11.1	3.7	-	18.5	14.8	-	3.7
年代別	18～19歳	30	20.0	-	-	3.3	33.3	-	-	-
	20～29歳	132	40.2	5.3	0.8	1.5	23.5	4.5	2.3	0.8
	30～39歳	237	50.6	2.5	1.3	0.8	22.4	4.2	1.7	-
	40～49歳	297	46.8	4.4	1.7	1.0	21.2	7.1	1.7	2.0
	50～59歳	291	54.0	7.9	1.7	1.7	27.5	10.0	4.5	1.7
	60～64歳	158	54.4	12.0	5.1	2.5	26.6	13.3	4.4	5.7
	65～69歳	172	50.6	12.2	4.7	2.9	27.3	11.0	3.5	3.5
	70歳以上	330	43.0	18.8	7.0	1.8	30.6	8.8	5.2	12.1
無回答	19	36.8	15.8	-	-	5.3	15.8	-	10.5	
居住区別	中央区	189	48.1	9.0	2.1	1.6	28.0	5.8	2.1	4.8
	北区	230	46.1	10.0	2.2	2.2	27.8	7.8	3.9	3.9
	東区	215	48.4	10.7	3.7	3.7	24.7	7.9	2.3	1.9
	白石区	151	47.7	7.3	4.6	-	25.2	7.3	4.6	2.0
	厚別区	129	45.0	6.2	1.6	0.8	24.8	10.9	4.7	3.9
	豊平区	194	42.8	8.8	3.6	2.1	29.9	6.2	2.6	2.6
	清田区	115	51.3	8.7	4.3	0.9	18.3	13.0	4.3	6.1
	南区	119	48.7	8.4	5.0	-	23.5	8.4	5.0	6.7
	西区	185	50.8	10.3	3.2	2.7	30.3	8.6	3.2	5.9
	手稲区	122	53.3	10.7	2.5	0.8	20.5	9.0	1.6	6.6
	無回答	17	41.2	17.6	-	-	-	17.6	-	-

単位：%

		福祉のまち推進センター	町内会	家族・親族・知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	わからない	特にない	無回答	計
全体		2.3	2.4	45.1	0.6	1.9	2.9	6.1	13.9	3.9	182.5
性別	男性	2.4	3.0	37.2	0.6	1.6	3.4	5.8	17.9	2.5	173.7
	女性	2.4	2.1	51.1	0.6	2.1	2.5	6.3	10.9	4.8	189.1
	無回答	-	-	29.6	-	3.7	7.4	3.7	22.2	7.4	166.7
年代別	18～19歳	3.3	-	46.7	-	-	-	16.7	26.7	-	150.0
	20～29歳	1.5	1.5	43.9	-	-	3.8	9.8	23.5	0.8	163.6
	30～39歳	0.4	1.3	54.0	-	-	2.5	7.6	13.1	1.7	164.1
	40～49歳	-	0.7	53.9	-	2.0	3.4	9.4	14.5	0.7	170.4
	50～59歳	2.7	1.7	42.3	1.0	1.7	4.1	4.5	13.4	2.7	183.2
	60～64歳	1.3	1.9	47.5	1.9	2.5	2.5	2.5	12.0	3.2	199.4
	65～69歳	3.8	5.1	46.2	1.3	3.2	2.5	5.1	15.2	6.3	212.7
	70歳以上	5.8	5.2	34.8	0.6	3.6	2.1	3.3	9.4	10.3	202.4
無回答		-	-	31.6	-	-	5.3	5.3	26.3	5.3	157.9
居住区別	中央区	1.1	1.6	48.7	0.5	-	2.6	5.3	11.6	0.5	173.5
	北区	1.3	2.2	44.3	0.4	1.7	4.3	7.8	12.6	1.7	180.4
	東区	2.3	2.8	47.4	-	2.3	2.8	6.0	14.0	5.6	186.5
	白石区	2.6	1.3	39.1	0.7	4.0	2.0	6.0	14.6	4.6	173.5
	厚別区	2.3	3.1	50.4	-	2.3	3.1	8.5	7.8	6.2	181.4
	豊平区	2.1	1.5	46.9	1.5	2.6	4.1	4.1	17.0	4.1	182.5
	清田区	4.3	4.3	41.7	2.6	3.5	1.7	5.2	16.5	3.5	190.4
	南区	5.0	5.0	44.5	-	0.8	1.7	3.4	16.8	2.5	185.7
	西区	2.7	1.6	46.5	0.5	-	3.2	7.6	14.6	2.7	194.6
	手稲区	1.6	2.5	40.2	-	3.3	1.6	5.7	11.5	5.7	177.0
	無回答		-	-	29.4	-	-	5.9	5.9	29.4	35.3

対象者全体の値と比較し10%以上高い

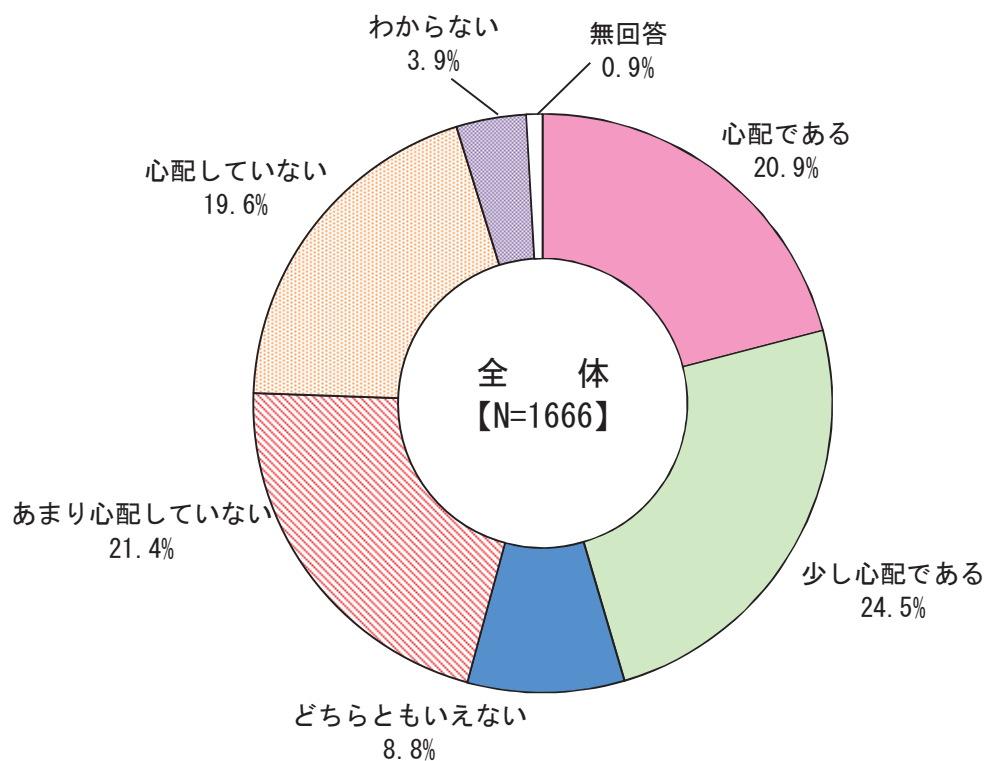
対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 孤立死の心配

【問10】 近年、孤立死*が大きな問題となっていますが、あなたは、孤立死について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

孤立死の心配については、「少し心配である」が 24.5%、「あまり心配していない」が 21.4%を占めている。



【対象者全体】

孤立死の心配については、「少し心配である」が 24.5%と最も高く、次いで「あまり心配していない」が 21.4%、「心配である」が 20.9%、「心配していない」が 19.6%、「わからない」が 3.9%となっている。

【性別】

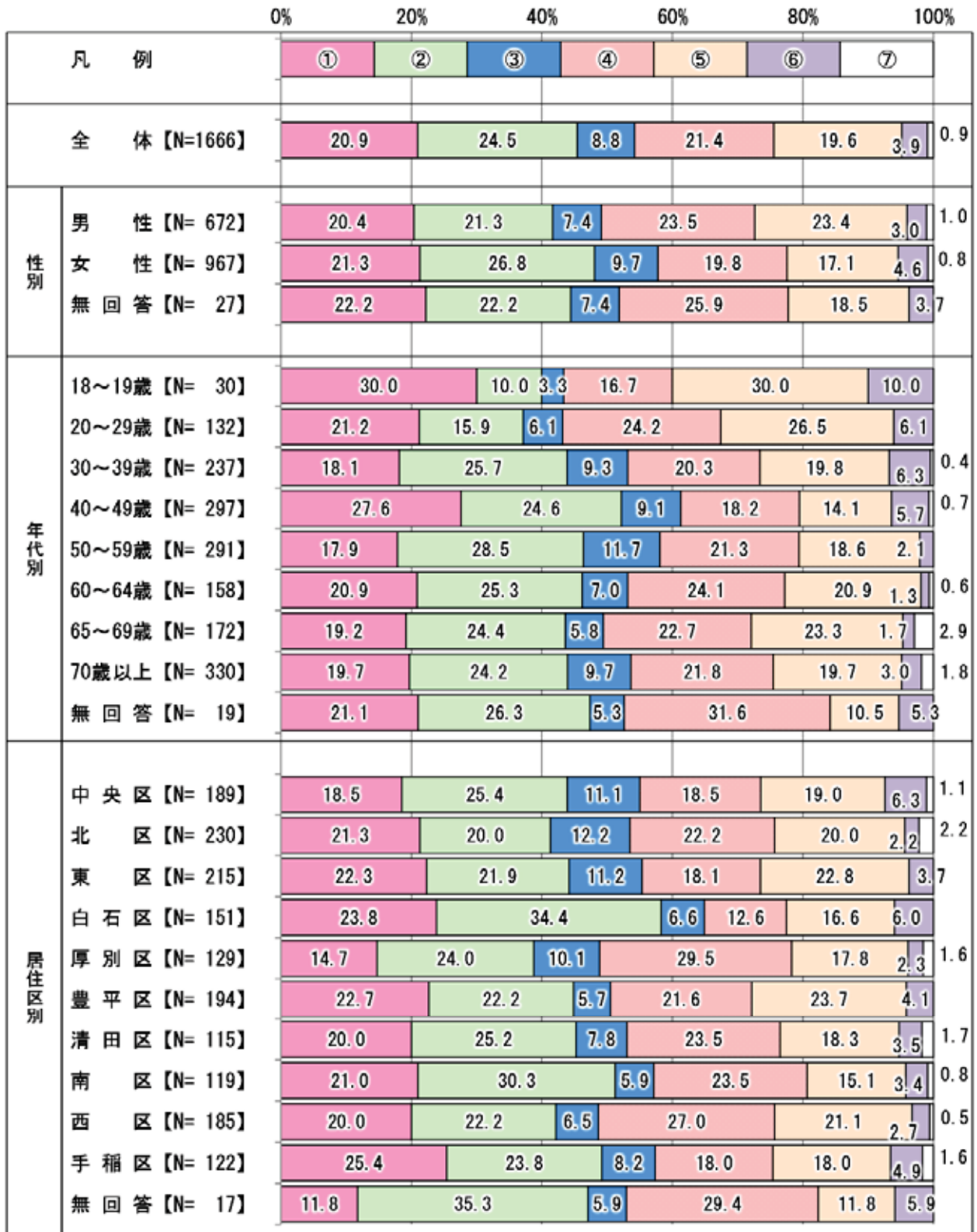
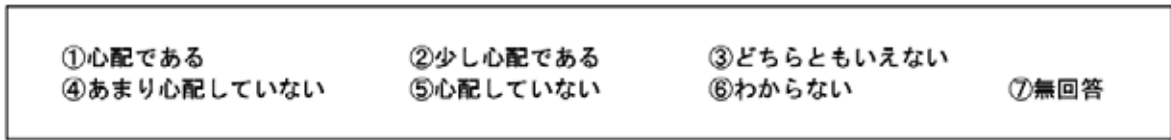
男性は「あまり心配していない」、「心配していない」がそれぞれ 23.5%、23.4%となっており、女性は「心配である」、「少し心配である」がそれぞれ 21.3%、26.8%となっている。

【年代別】

18～19 歳では「心配である」、「心配していない」が最も高く、ともに 30.0%となっている。40 歳代では「心配である」(27.6%)と「少し心配である」(24.6%)を合わせた割合が 5 割を超えている。

【居住区別】

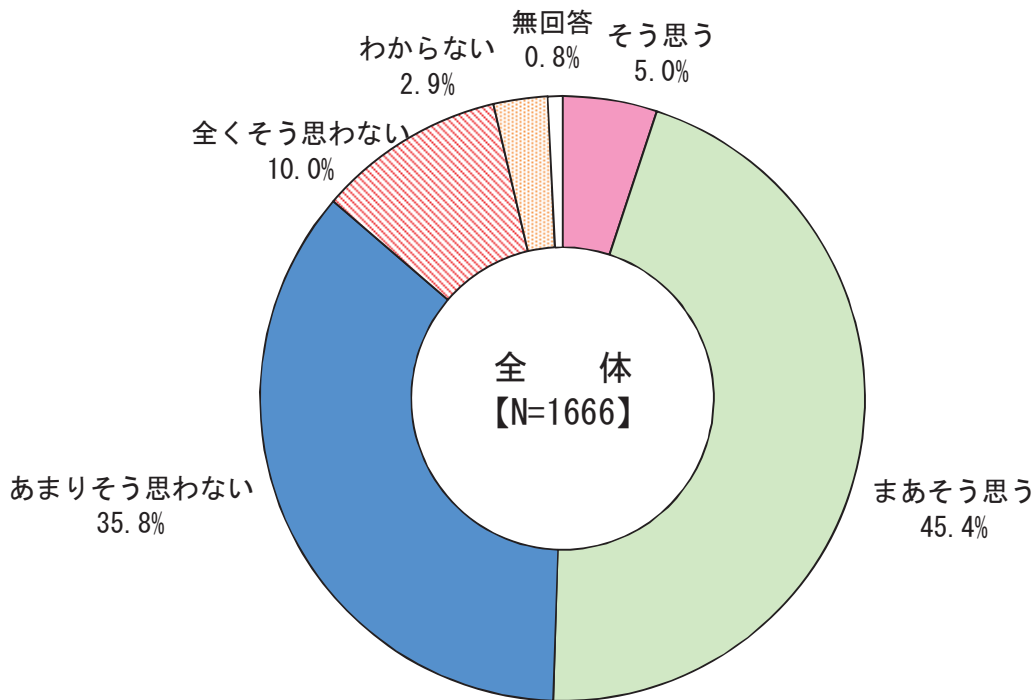
白石区では「心配である」(23.8%)と「少し心配である」(34.4%)を合わせた割合が 6 割近くを占めており、他の居住区と比較して高くなっている。



・ 犯罪のない安全に安心して暮らせるまち

【問11】札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

犯罪のない安全に安心して暮らせるまちについては、「そう思う」(5.0%)と「まあそう思う」(45.4%)を合わせた割合が約5割を占めている。



【対象者全体】

犯罪のない安全に安心して暮らせるまちについては、「まあそう思う」が 45.4%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 35.8%、「全くそう思わない」が 10.0%、「そう思う」が 5.0%、「わからない」が 2.9%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高いが、男性は 52.8%で女性の 40.6%と比較して高くなっている。

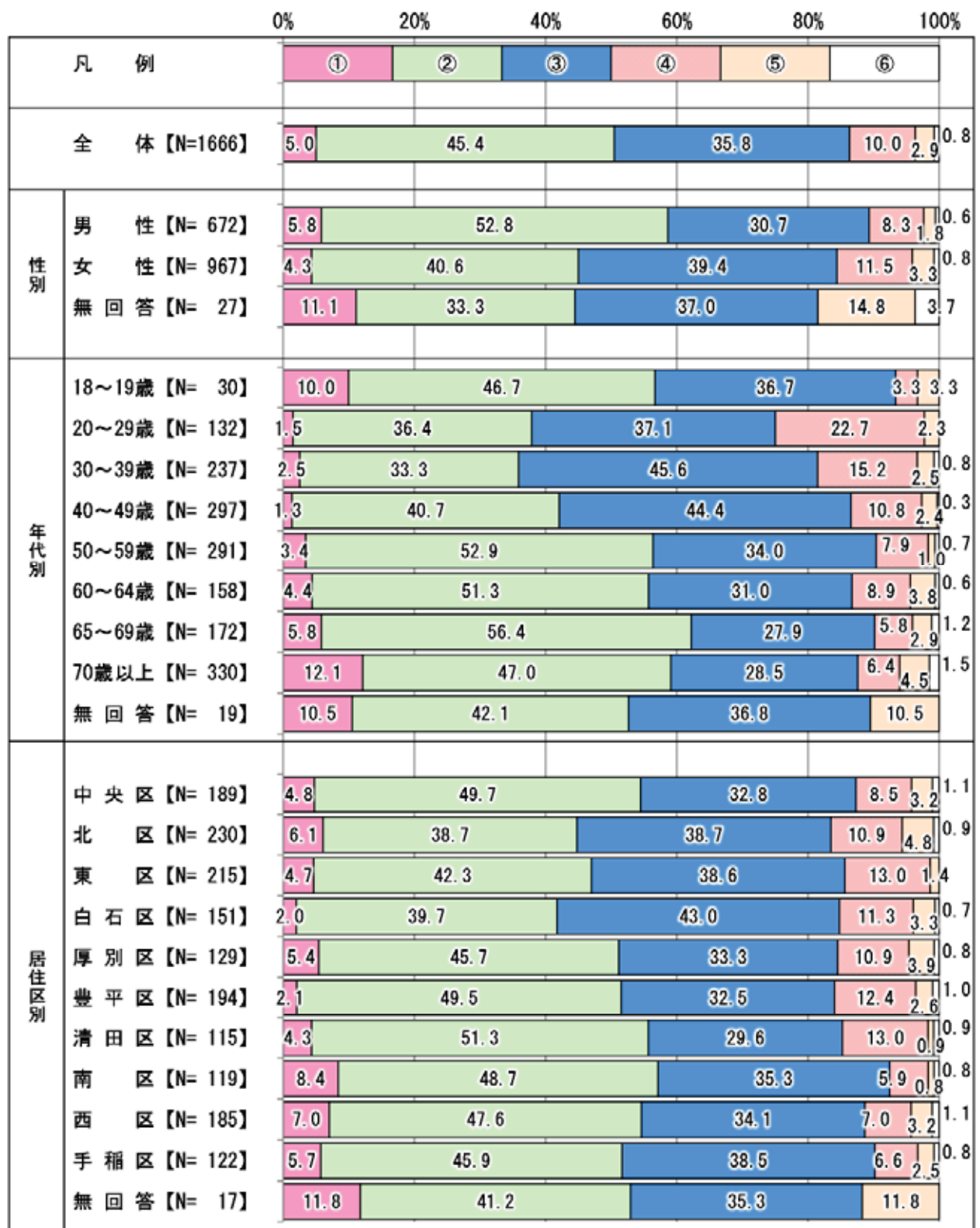
【年代別】

18～19 歳、50～70 歳代以上では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合が 5 割を超えている。特に 18～19 歳は 56.7%、65～69 歳は 62.2%、70 歳以上は 59.1%と、他の年代と比較して高い。20 歳代は「全くそう思わない」が 22.7%と他の年代と比較して高い。

【居住区別】

中央区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合が 5 割を超えている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

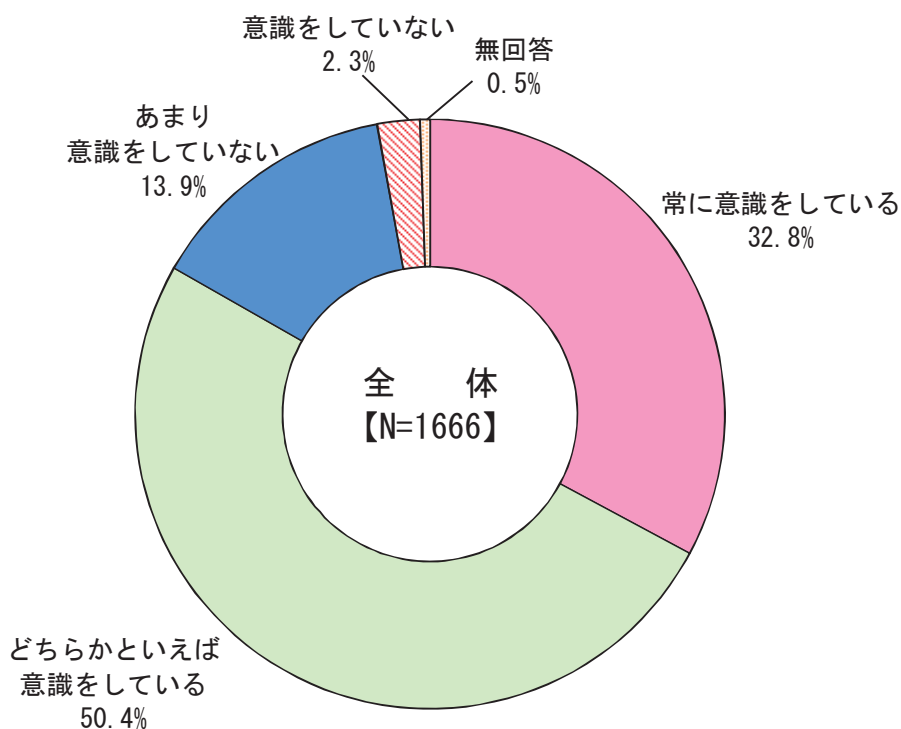


・ 防犯の意識

【問12】あなたは、日頃から犯罪に遭わないための対策*を講じるなど、防犯の意識をもって暮らしていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「犯罪に遭わないための対策」とは、「短時間の外出でも必ず施錠をする」「個人情報が含まれているごみを出さない」「人気のない道や暗い道は避けて歩く」などのことです。

防犯の意識については、「常に意識をしている」(32.8%)と「どちらかといえば意識をしている」(50.4%)を合わせた割合が8割を超えている。



【対象者全体】

防犯の意識については、「どちらかといえば意識をしている」が50.4%と最も高く、次いで「常に意識をしている」が32.8%、「あまり意識をしていない」が13.9%、「意識をしていない」が2.3%となっている。

【性別】

男女ともに「常に意識をしている」と「どちらかといえば意識をしている」を合わせた割合が8割を超えている。特に女性は「常に意識をしている」が35.4%で、男性の29.8%と比較して高くなっている。

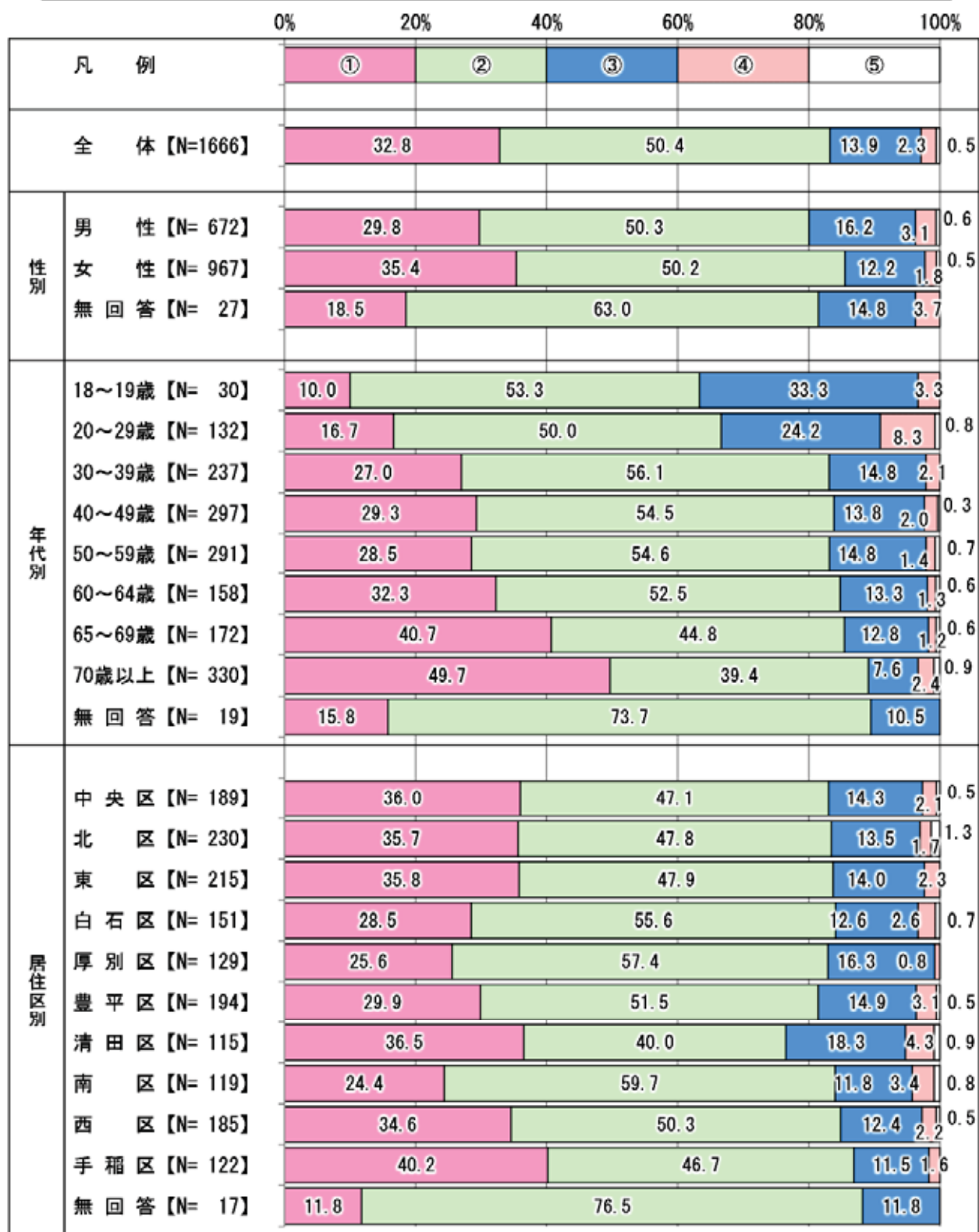
【年代別】

年代が高くなるにつれ、「常に意識している」の割合が高くなる傾向がある。特に70歳以上では49.7%と約5割を占めている。

【居住区別】

清田区以外の居住区では、「常に意識をしている」と「どちらかといえば意識をしている」を合わせた割合が8割を超えている。清田区でも、「常に意識をしている」と「どちらかといえば意識をしている」を合わせた割合は76.5%で、約8割を占めている。

- ①常に意識をしている ②どちらかといえば意識をしている ③あまり意識をしていない
 ④意識をしていない ⑤無回答

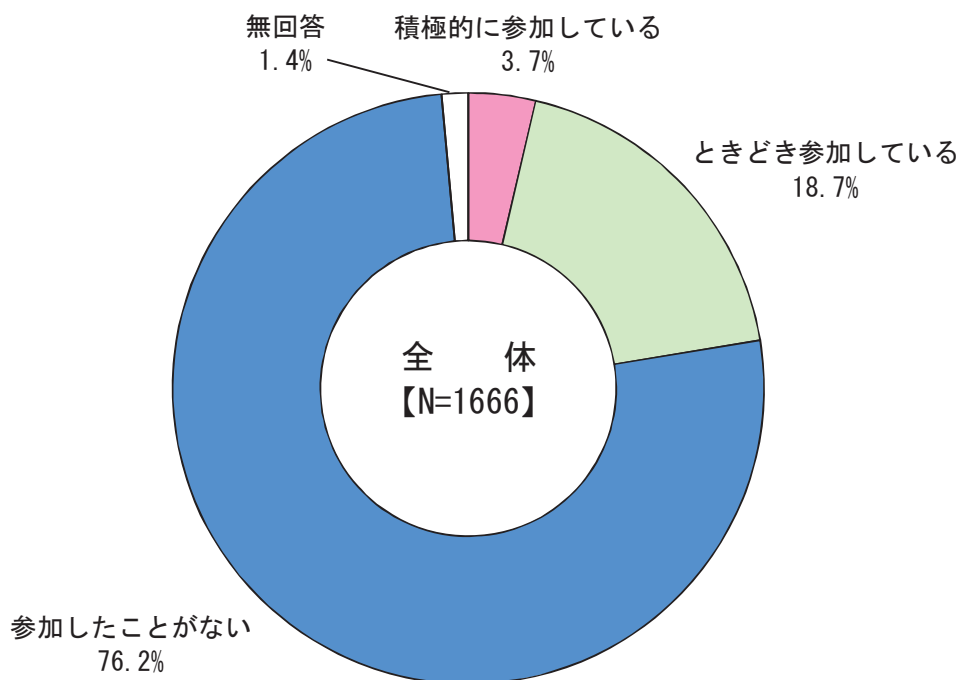


・ 防犯活動への参加

【問13】 あなたは、地域などの自主的な防犯活動*に参加していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども110番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

防犯活動への参加については、「参加したことがない」が76.2%となっている。



【対象者全体】

防犯活動への参加については、「参加したことがない」が76.2%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が18.7%、「積極的に参加をしている」が3.7%となっている。

【性別】

男女ともに「参加したことがない」が最も高く、男性が78.9%、女性が74.6%となっている。「時々参加している」は女性が20.8%で、男性の15.9%と比較して高い。

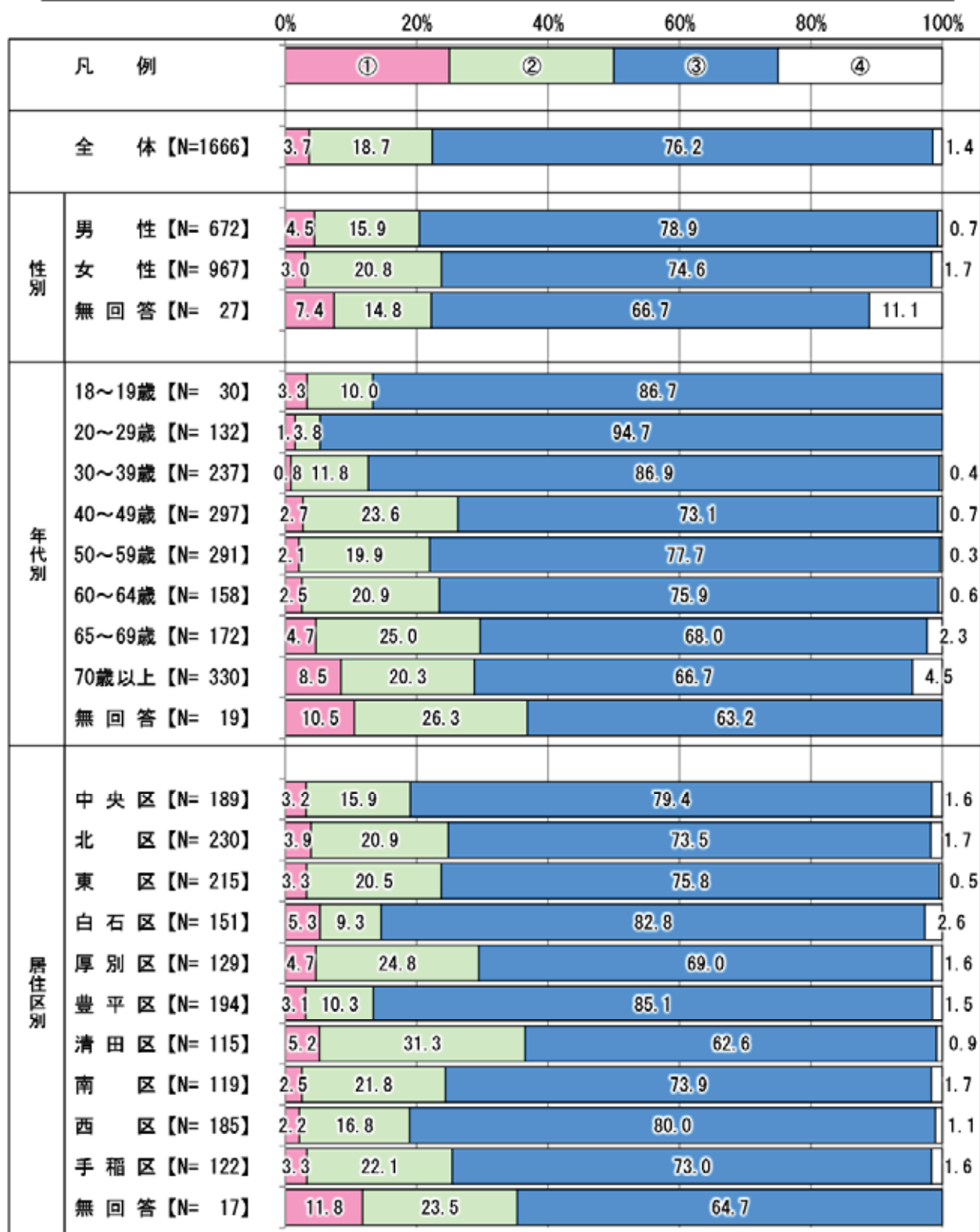
【年代別】

30歳代以下の年代では「参加したことがない」が8割を超えている。特に20歳代では94.7%と他の年代と比べて高い。40歳代以上では、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合が2割を超えている。特に65～69歳では、29.7%と約3割を占めている。

【居住区別】

白石区、豊平区、西区では、「参加したことがない」が8割以上である。清田区では、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合が36.5%と3割を超えている。

①積極的に参加している ②ときどき参加している ③参加したことがない ④無回答

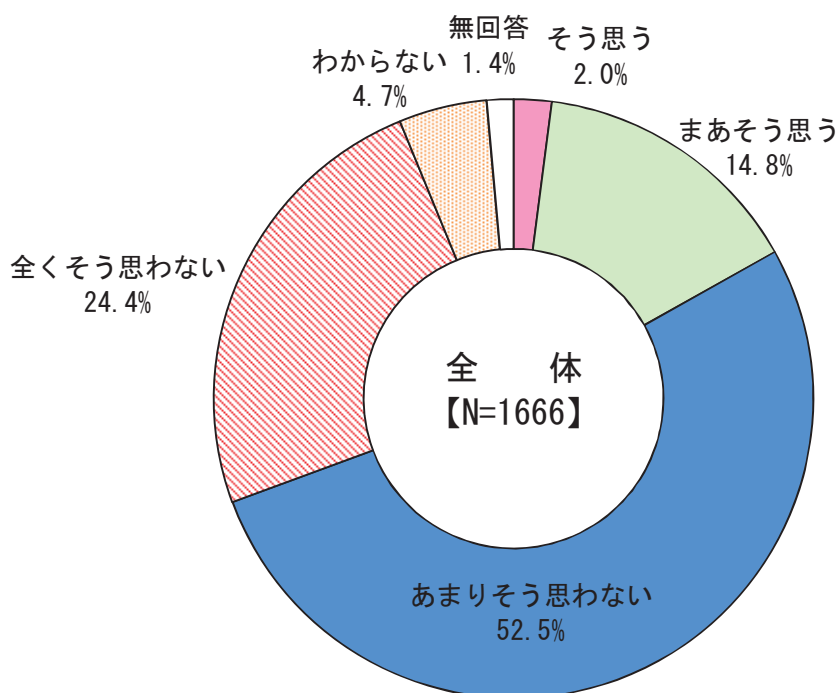


・ 自転車のルールやマナーの遵守

【問14】札幌市は、「自転車のルールやマナー※が守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

自転車のルールやマナーの遵守については、「あまりそう思わない」が 52.5%となっている。



【対象者全体】

自転車のルールやマナーの遵守については、「あまりそう思わない」が 52.5%と最も高く、次いで「全くそう思わない」が 24.4%、「まあそう思う」が 14.8%となっている。

【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性が 52.8%、女性が 52.1%となっている。

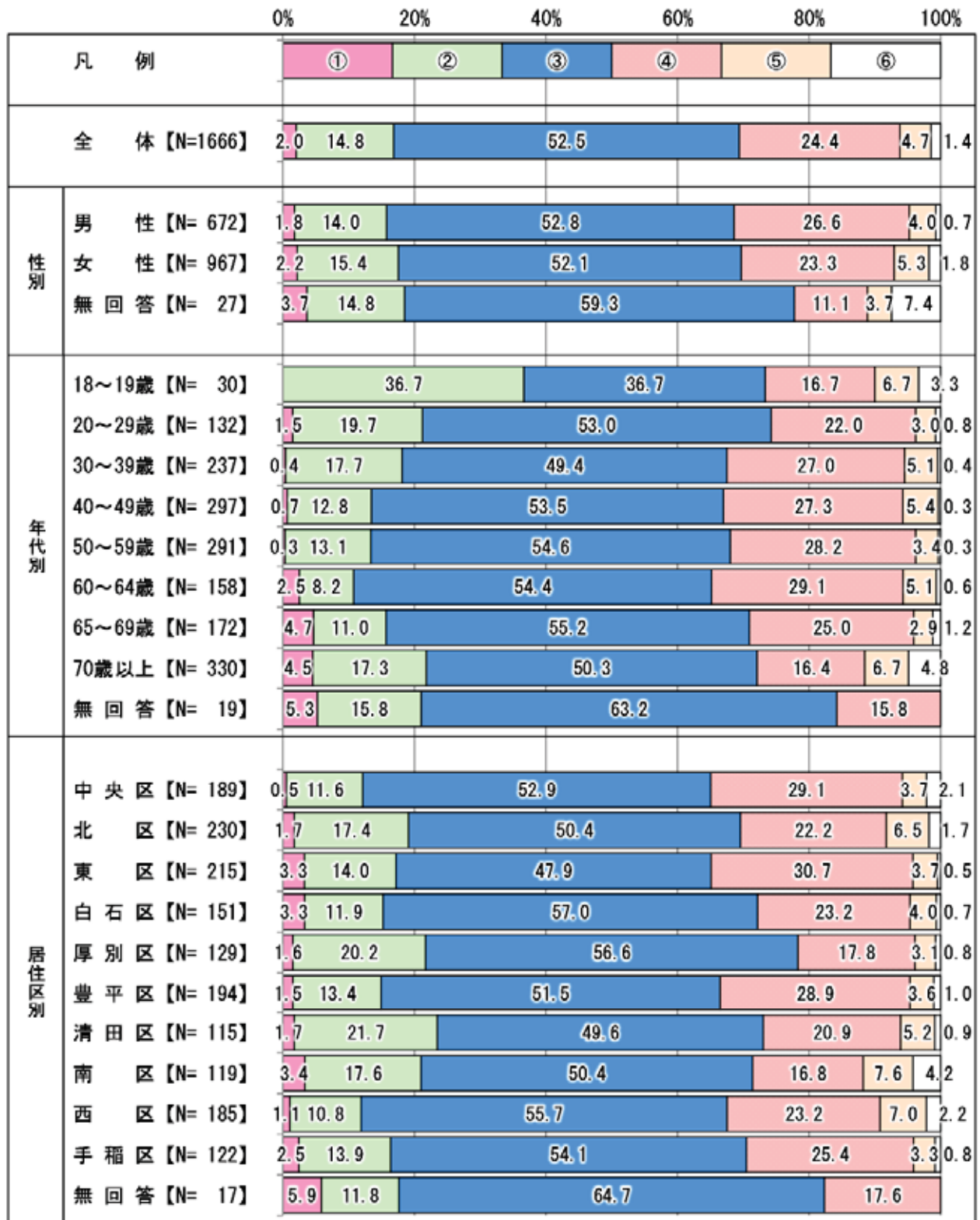
【年代別】

18～19 歳では、「まあそう思う」と「あまりそう思わない」が 36.7%と最も高い。他の年代では、「あまりそう思わない」が最も高く、特に 65～69 歳では 55.2%となっている。

【居住区別】

全居住区で、「あまりそう思わない」が最も高く、特に白石区が 57.0%となっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

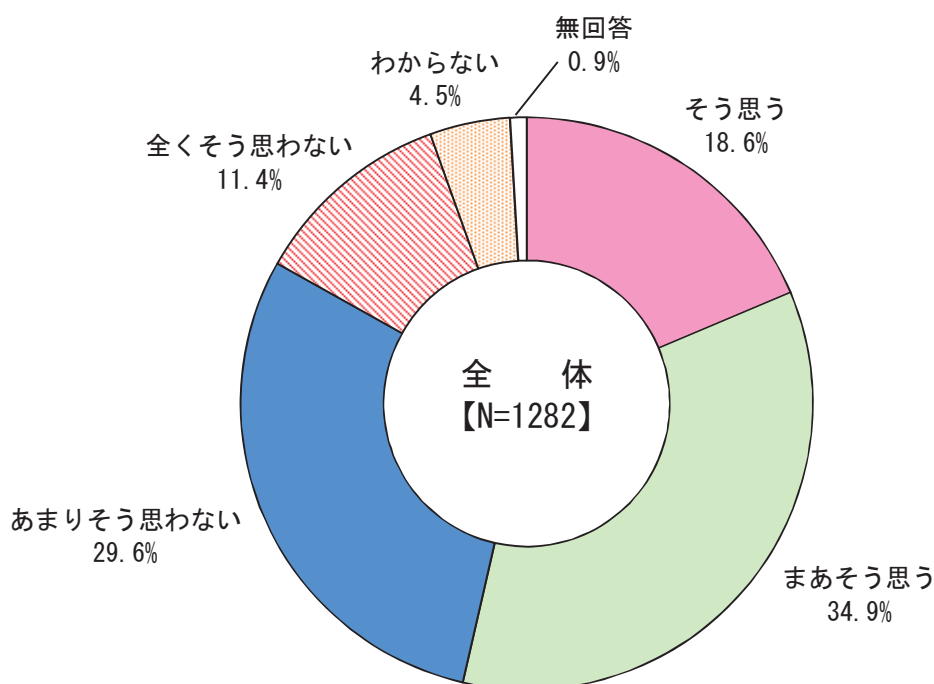


・ 自転車のルールやマナーの意識向上

<この設問は問14で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

【問15】あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの1年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自転車のルールやマナーの意識向上については、「そう思う」(18.6%)と「まあそう思う」(34.9%)を合わせた割合が5割(53.5%)を超えている。



【対象者全体】

自転車のルールやマナーの意識向上については、「まあそう思う」が34.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が29.6%、「そう思う」が18.6%、「全くそう思わない」が11.4%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、女性は38.5%で、男性の29.6%と比較して高い。

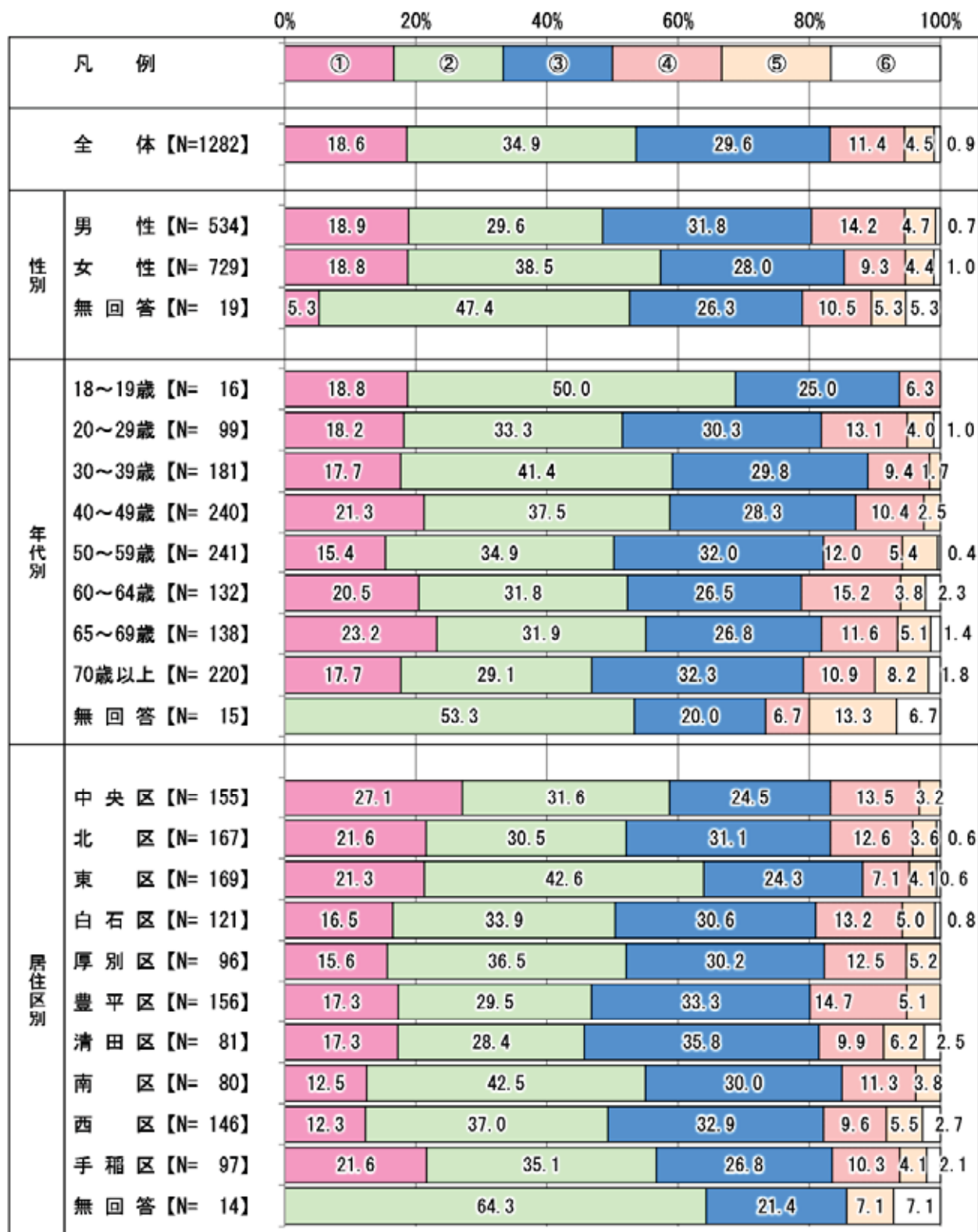
【年代別】

70歳以上を除く全ての年代で「まあそう思う」が最も高く、18～19歳では50.0%、30歳代では41.4%となっている。

【居住区別】

豊平区、清田区、西区を除く居住区で、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた割合が5割を超えている。「そう思う」は中央区で27.1%と、他の居住区と比較して高い。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

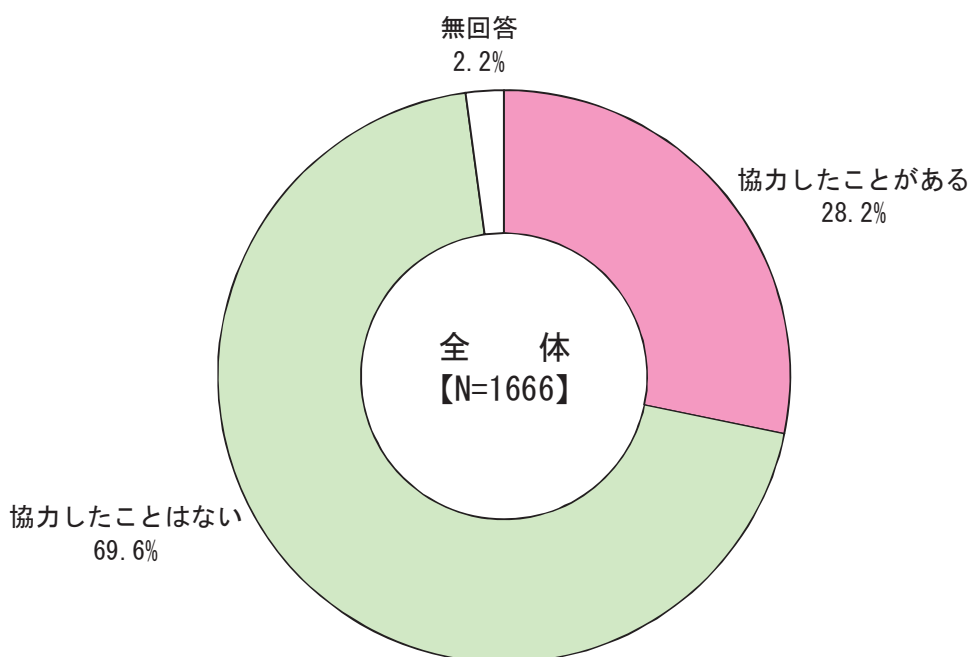


・ 雪置き場の利用と協力

【問16】 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園[※]などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※町内会と札幌市がルールなどの覚書を交わした場合に限り、公園の一部を雪置き場として利用できます。

雪置き場の利用と協力については、「協力したことはない」が 69.6%となっている。



【対象者全体】

雪置き場の利用と協力については、「協力したことはない」が 69.6%と最も高く、次いで「協力したことがある」が 28.2%となっている。

【性別】

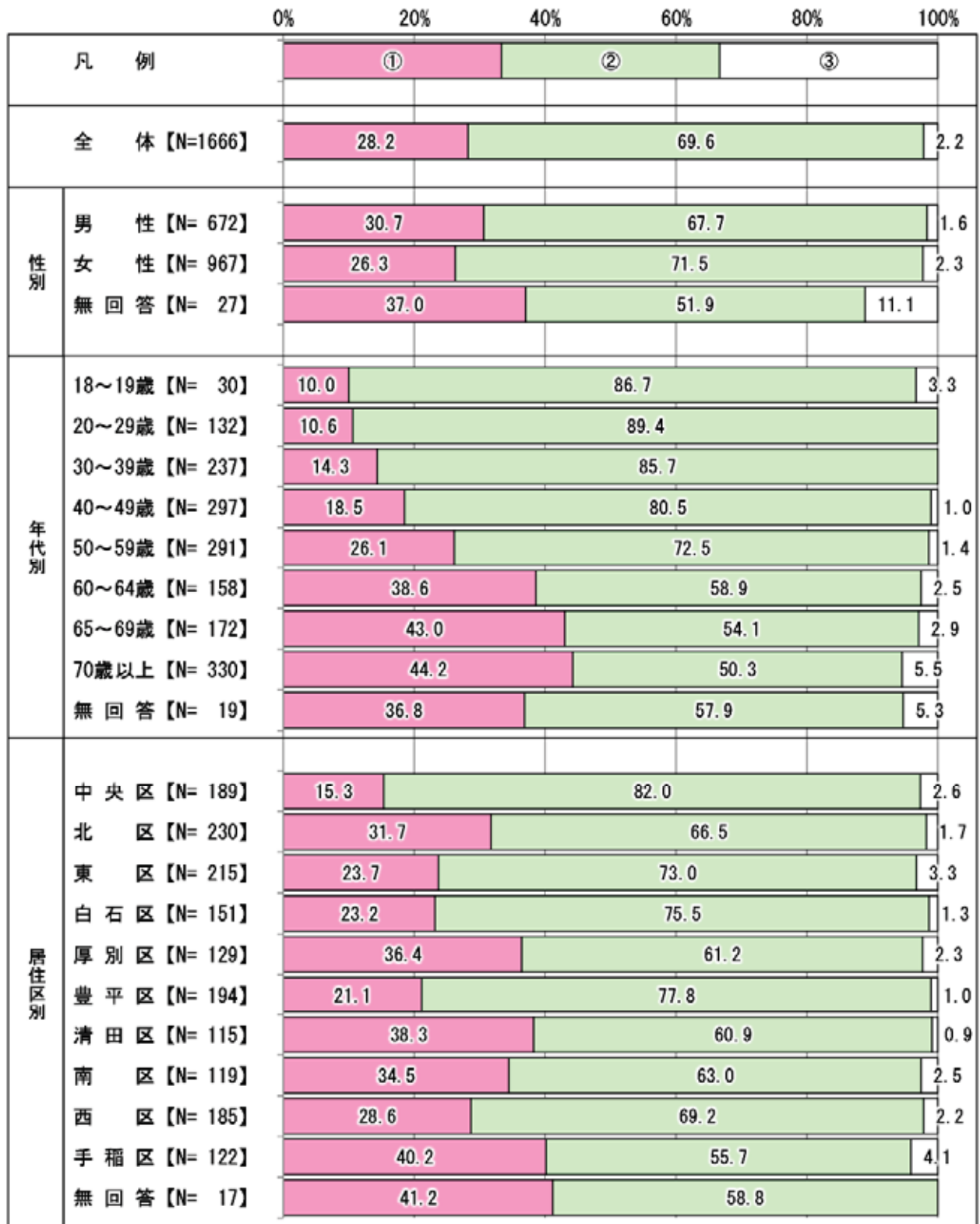
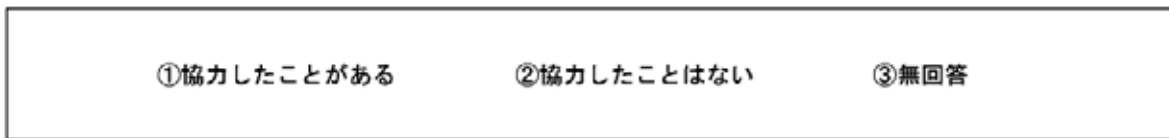
男女ともに「協力したことはない」が最も高く、男性が 67.7%、女性が 71.5%となっている。

【年代別】

「協力したことがある」は、18～19 歳では、10.0%であるものが、70 歳以上では 44.2%と、年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。

【居住区別】

全居住区で、「協力したことはない」が最も高く、特に中央区は 82.0%と 8 割を超えている。

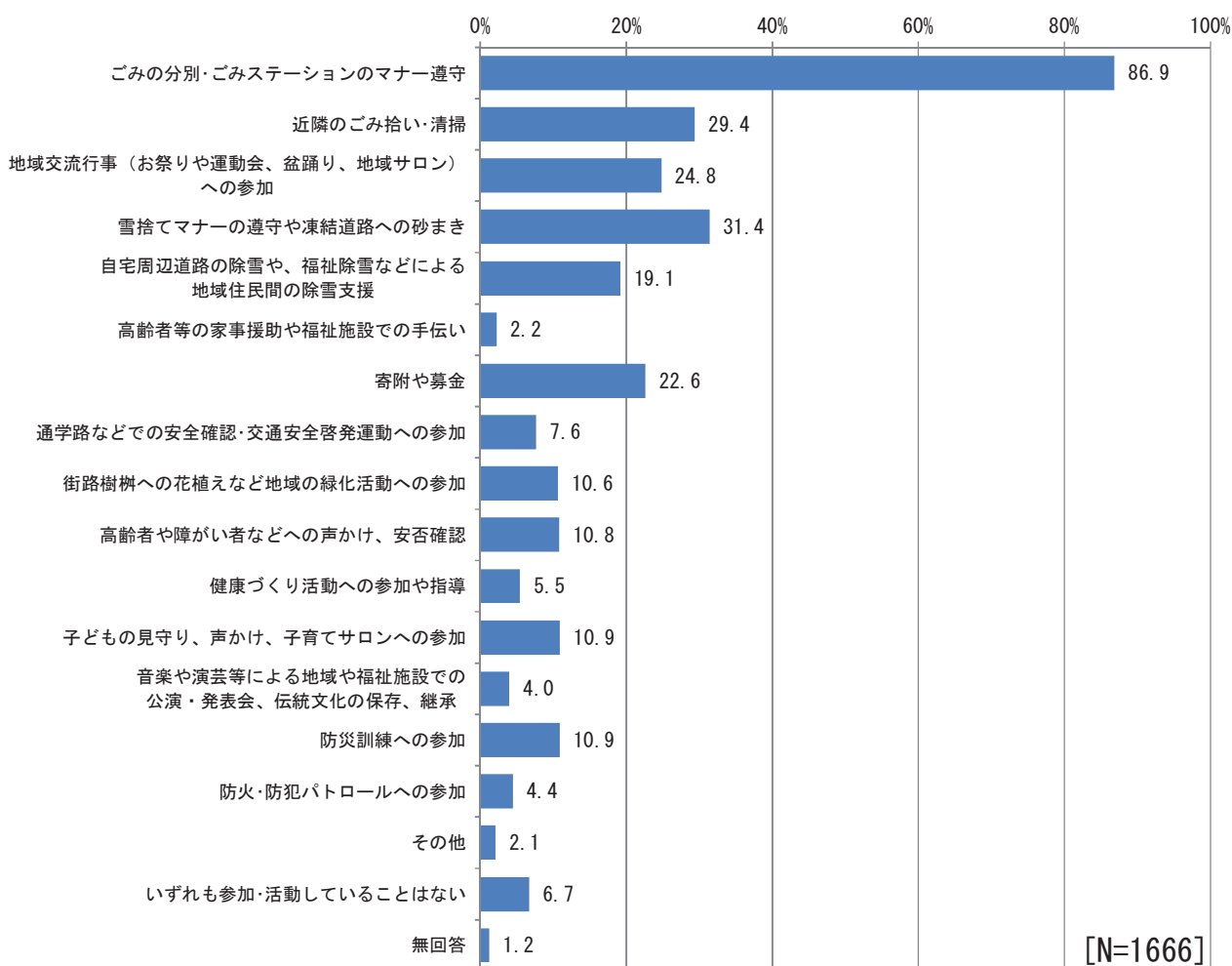


・ 継続的に行っているまちづくり活動

【問17】 次にあげるまちづくり活動*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※まちづくり活動ー地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹柵への花植え等の活動を行ったりすること。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が86.9%、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が31.4%となっている。



【対象者全体】

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が86.9%と最も高く、次いで「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が31.4%となっている。

【性別】

男女ともに「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、男性が86.6%、女性が87.3%となっている。

【年代別】

全年代で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、特に60～64歳では、93.7%となっている。「近隣のごみ拾い・清掃」は、60～64歳で39.9%、65～69歳で47.1%、70歳以上が44.8%と他の年代と比較して高い。「いずれも参加・活動していることはない」は、18～19歳で26.7%、20歳代で22.0%と他の年代と比較して高い。

【居住区別】

全居住区で、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、特に手稲区は 90.2%と 9 割を超えている。

単位：%

	回答者数	ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守	近隣のごみ拾い・清掃	地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援	高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加	街路樹への花植えなど地域の緑化活動への参加	
全体	1,666	86.9	29.4	24.8	31.4	19.1	2.2	22.6	7.6	10.6	
性別	男性	672	86.6	30.4	24.1	33.9	21.7	1.3	19.5	6.4	12.5
	女性	967	87.3	28.6	25.4	29.7	17.2	2.8	24.7	8.4	9.3
	無回答	27	77.8	29.6	18.5	29.6	25.9	3.7	25.9	11.1	11.1
年代別	18～19歳	30	66.7	10.0	30.0	20.0	3.3	-	10.0	-	-
	20～29歳	132	71.2	3.8	9.1	16.7	9.1	0.8	8.3	0.8	2.3
	30～39歳	237	84.0	14.3	30.8	24.9	13.9	-	12.7	7.6	1.3
	40～49歳	297	87.9	21.5	27.6	34.0	13.5	0.7	17.5	14.8	5.4
	50～59歳	291	90.4	28.9	16.2	33.0	17.5	3.4	26.5	4.8	8.6
	60～64歳	158	93.7	39.9	22.8	34.8	20.9	1.3	27.2	2.5	16.5
	65～69歳	172	90.1	47.1	33.1	40.1	27.9	5.2	34.3	8.1	17.4
	70歳以上	330	88.2	44.8	28.8	32.7	29.1	3.9	30.0	9.1	21.2
無回答	19	84.2	36.8	10.5	36.8	26.3	-	15.8	10.5	21.1	
居住区別	中央区	189	85.7	14.3	14.3	29.1	10.6	2.1	23.8	6.3	9.5
	北区	230	84.8	33.9	26.5	24.3	18.3	1.7	19.6	5.7	9.1
	東区	215	87.4	22.8	21.9	29.3	18.6	1.4	13.5	9.3	13.0
	白石区	151	86.1	27.8	23.8	28.5	20.5	3.3	26.5	7.3	9.3
	厚別区	129	88.4	38.8	31.8	30.2	19.4	1.6	20.9	10.9	14.7
	豊平区	194	86.6	21.1	19.6	32.5	12.4	2.1	22.2	6.2	8.2
	清田区	115	85.2	34.8	36.5	33.9	24.3	2.6	34.8	7.8	10.4
	南区	119	88.2	42.0	32.8	41.2	25.2	3.4	26.9	7.6	10.9
	西区	185	87.6	28.6	20.0	25.9	20.5	0.5	22.7	9.2	3.8
	手稲区	122	90.2	44.3	35.2	50.8	30.3	5.7	25.4	6.6	22.1
無回答	17	88.2	29.4	11.8	35.3	23.5	-	17.6	11.8	11.8	

単位：%

		高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加や指導	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加	音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承	防災訓練への参加	防火・防犯パトロールへの参加	その他	いずれも参加・活動していない	無回答	計
全体		10.8	5.5	10.9	4.0	10.9	4.4	2.1	6.7	1.2	291.1
性別	男性	9.1	6.0	7.6	1.8	12.2	6.4	1.6	7.1	1.0	289.3
	女性	12.0	5.2	13.2	5.5	9.7	3.0	2.5	6.3	1.1	291.9
	無回答	11.1	3.7	11.1	3.7	18.5	7.4	-	7.4	7.4	303.7
年代別	18～19歳	3.3	-	-	6.7	6.7	-	-	26.7	-	183.3
	20～29歳	5.3	2.3	6.8	2.3	4.5	2.3	0.8	22.0	-	168.2
	30～39歳	6.8	0.8	19.0	2.5	2.1	1.3	0.8	8.4	1.3	232.5
	40～49歳	6.7	2.4	13.8	2.4	5.1	2.4	1.7	5.4	1.0	263.6
	50～59歳	10.0	3.1	8.6	2.4	7.6	3.1	2.7	3.8	0.3	270.8
	60～64歳	10.5	5.2	5.8	4.1	14.0	4.1	0.6	1.7	1.2	350.6
	65～69歳	9.4	6.4	5.2	6.1	10.9	4.8	1.2	1.8	1.2	334.8
	70歳以上	17.3	11.8	9.7	4.2	20.3	8.5	4.2	4.8	1.8	370.6
無回答		5.3	5.3	15.8	-	21.1	5.3	-	10.5	5.3	310.5
居住区別	中央区	10.6	4.8	10.6	6.3	11.1	2.1	1.6	7.4	1.1	251.3
	北区	13.0	4.3	10.0	4.8	7.8	5.2	2.6	7.4	0.9	280.0
	東区	8.4	5.6	11.2	2.3	8.8	7.0	1.4	9.3	0.9	272.1
	白石区	9.9	4.0	11.9	6.6	9.9	1.3	2.0	7.3	0.7	286.8
	厚別区	8.5	8.5	14.7	3.1	12.4	3.1	3.1	6.2	0.8	317.1
	豊平区	10.3	2.6	7.2	2.1	7.7	1.5	3.1	6.2	2.1	253.6
	清田区	12.2	6.1	10.4	2.6	16.5	10.4	0.9	5.2	1.7	336.5
	南区	13.4	5.9	7.6	5.0	7.6	2.5	1.7	3.4	1.7	326.9
	西区	9.7	8.6	12.4	2.7	13.0	3.8	3.2	6.5	1.1	280.0
	手稲区	13.9	6.6	14.8	4.9	17.2	8.2	0.8	4.1	1.6	382.8
無回答		5.9	-	11.8	-	23.5	11.8	-	11.8	-	294.1

対象者全体の値と比較し10%以上高い

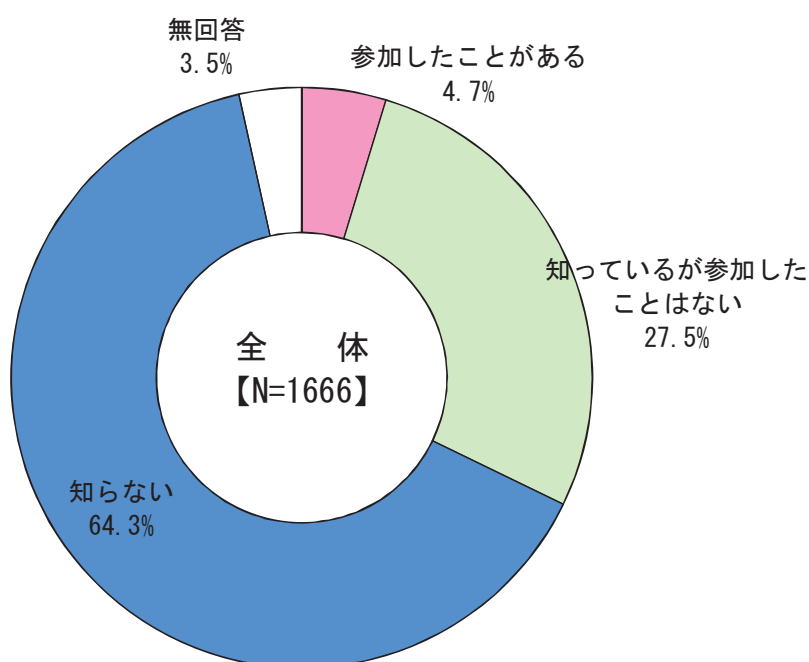
対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 市民参加の機会

【問18】札幌市では、市の事業や施策（市政）を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆さまに参加していただけるように努めているところです。札幌市が次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会を設けていることに対して、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆さまに集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）。

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が64.3%と全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が64.3%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が27.5%、「参加したことがある」が4.7%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性で62.4%、女性で66.2%となっている。「参加したことがある」は男性が6.1%と、女性の3.5%と比較して高い。

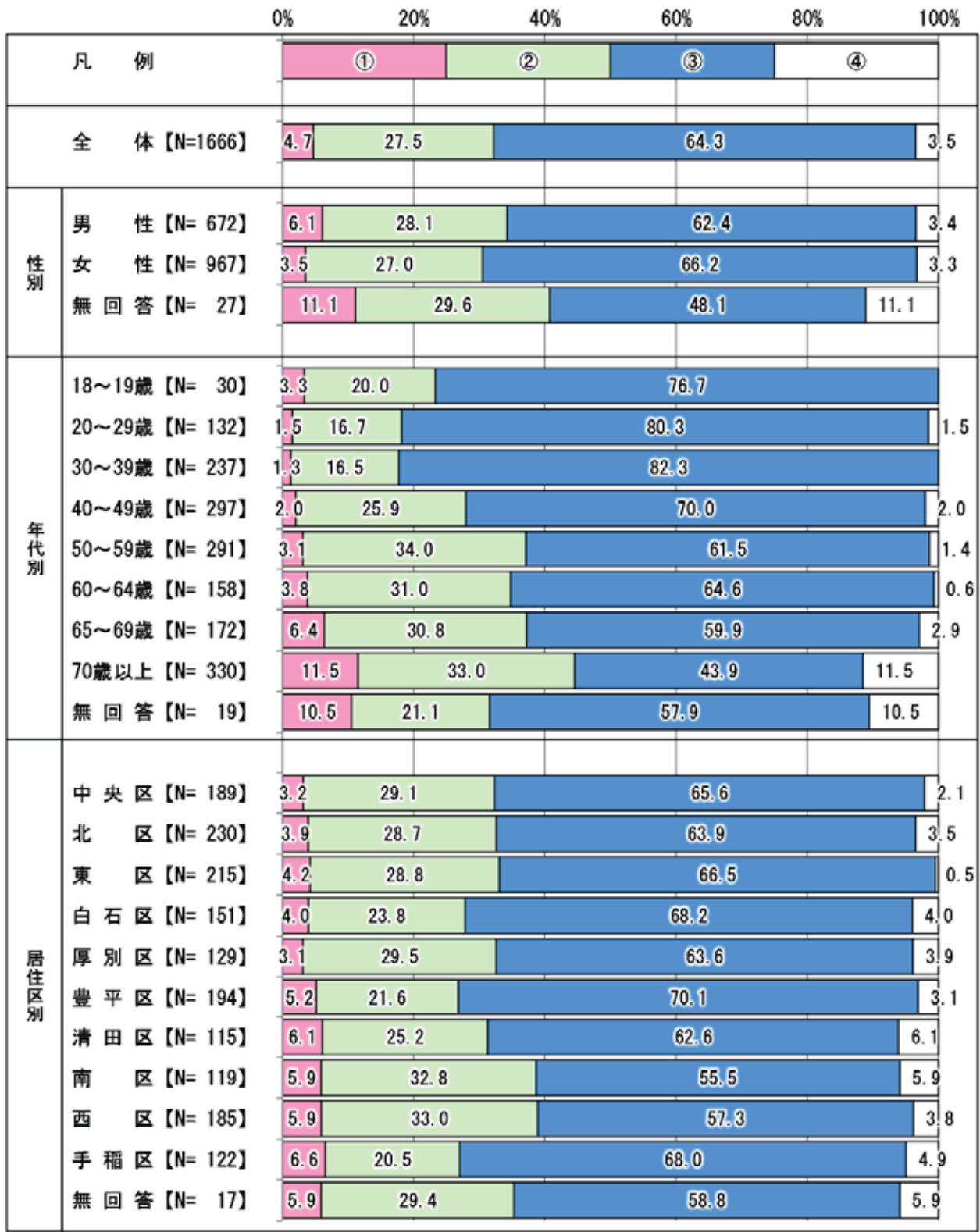
【年代別】

全年代で「知らない」が最も高く、特に20歳代は80.3%、30歳代は82.3%となっている。

【居住区別】

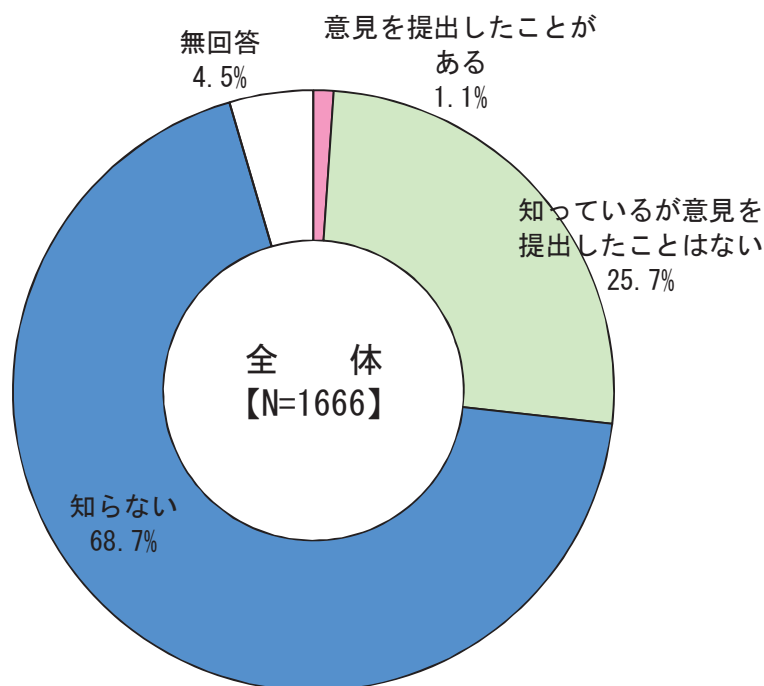
全居住区で「知らない」が最も高く、豊平区では70.1%、白石区では68.2%となっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆さまから意見をいただくもの）

パブリックコメントの提出については、「知らない」が 68.7%、「知っているが意見を提出したことはない」が 25.7%となっている。



【対象者全体】

パブリックコメントの提出については、「知らない」が 68.7%と最も高く、次いで「知っているが意見を提出したことはない」が 25.7%、「意見を提出したことがある」が 1.1%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性は 63.1%、女性は 72.7%となっている。「意見を提出したことがある」は、男性は 1.0%、女性は 1.1%とともに低い。

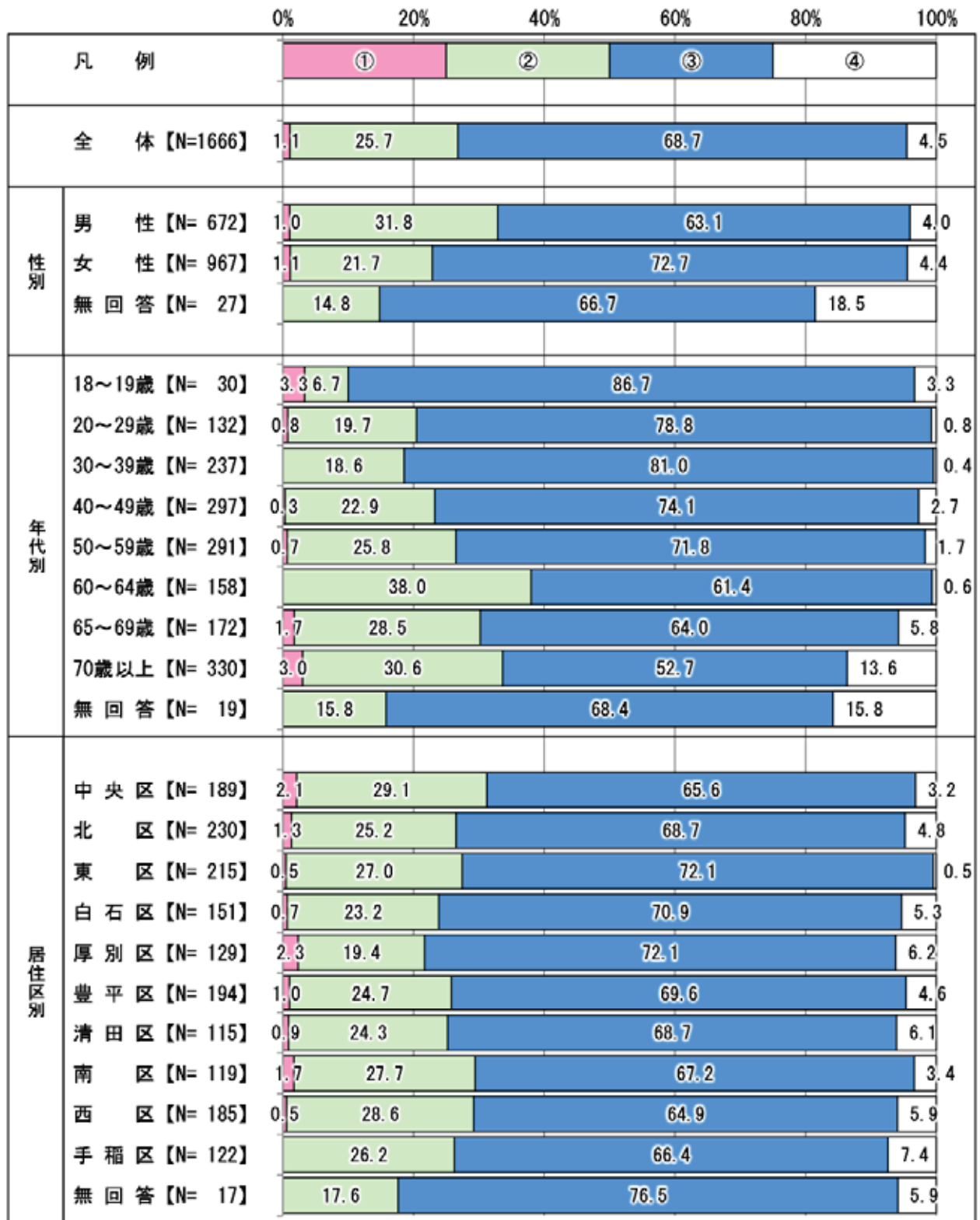
【年代別】

全年代ともに「知らない」が最も高く、18～19歳では 86.7%と約 9割を占めている。年代が高いほど割合が低くなる傾向にある。

【居住区別】

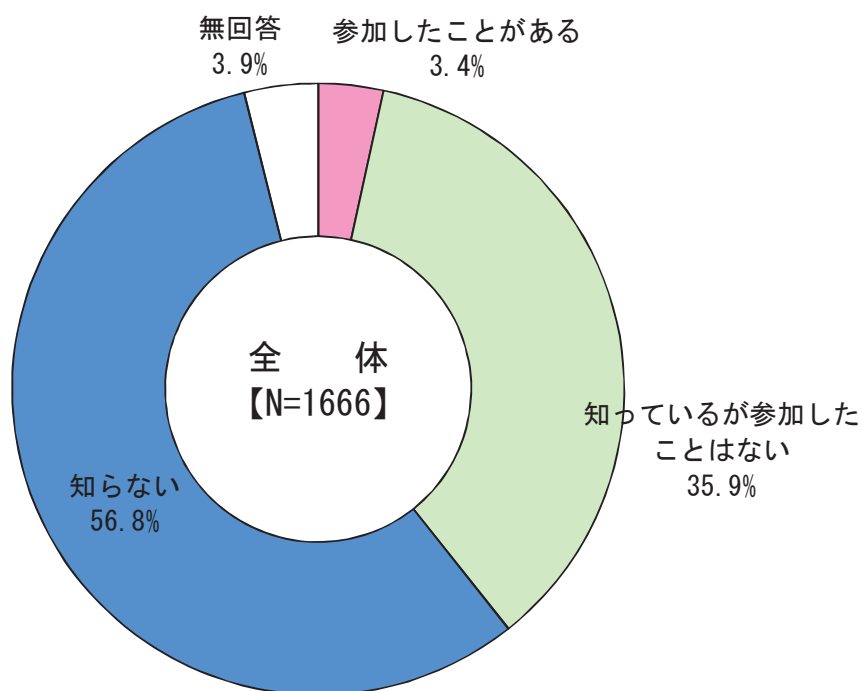
全居住区とも「知らない」が最も高く、東区(72.1%)、白石区(70.9%)、厚別区(72.1%)では 7割を超えている。

①意見を提出したことがある ②知っているが意見を提出したことはない ③知らない ④無回答



(3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が 56.8%、「知っているが参加したことはない」が 35.9%となっている。



【対象者全体】

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が 56.8%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が 35.9%、「参加したことがある」が 3.4%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性は 55.5%、女性は 57.8%となっている。

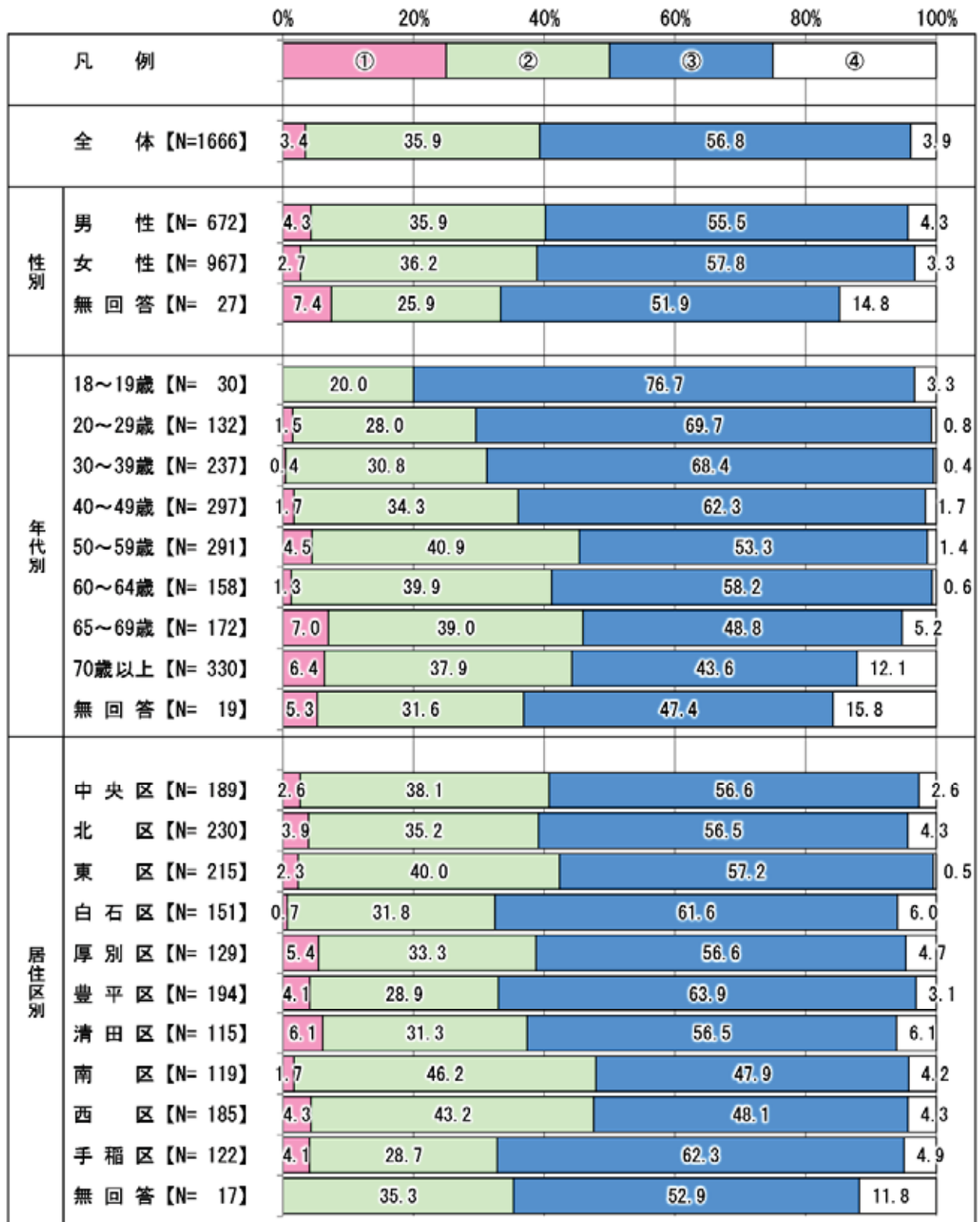
【年代別】

全年代ともに「知らない」が最も高く、18～19歳では 76.7%と約8割を占めている。年代が高いほど割合が低くなる傾向にある。

【居住区別】

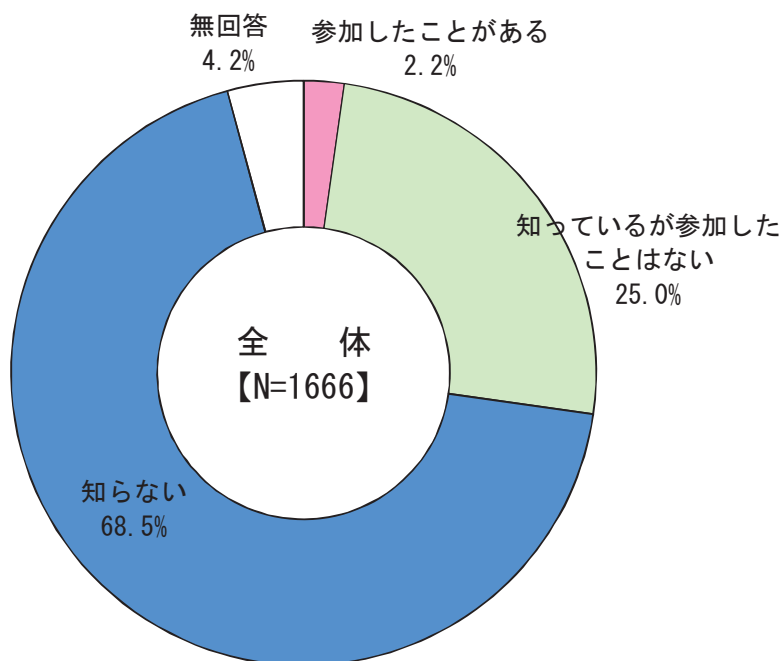
全居住区とも「知らない」が最も高く、白石区(61.6%)、豊平区(63.9%)、手稲区(62.3%)では6割を超えている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



- (4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）

ワークショップの参加については、「知らない」が 68.5%、「知っているが参加したことはない」が 25.0%となっている。



【対象者全体】

ワークショップの参加については、「知らない」が 68.5%と最も高く、次いで「知っているが参加したことはない」が 25.0%、「参加したことがある」が 2.2%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性は 68.3%、女性は 68.9%となっている。

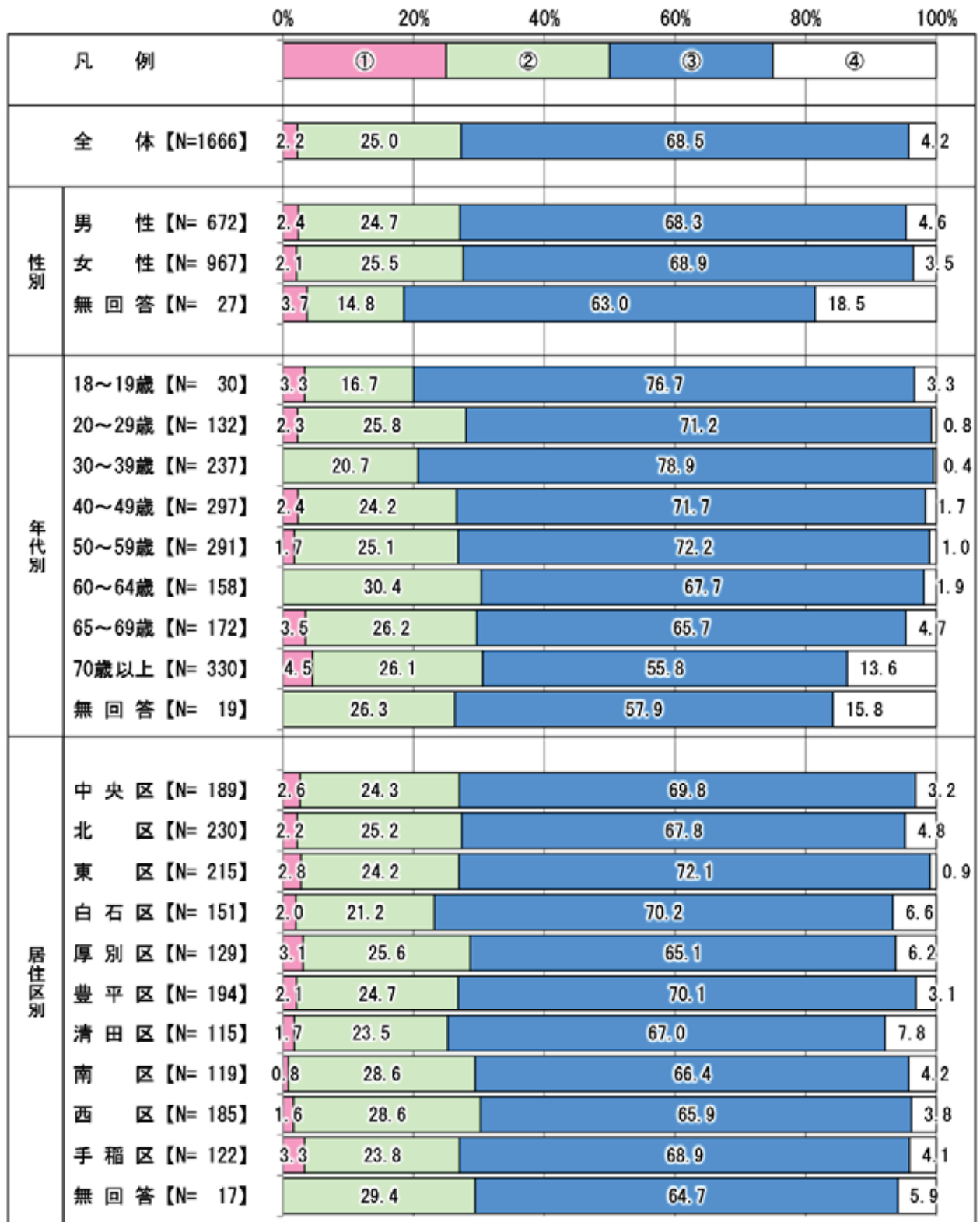
【年代別】

全年代ともに「知らない」が最も高く、30 歳代では 78.9%と約 8 割を占めている。年代が高いほど割合が低くなる傾向にある。

【居住区別】

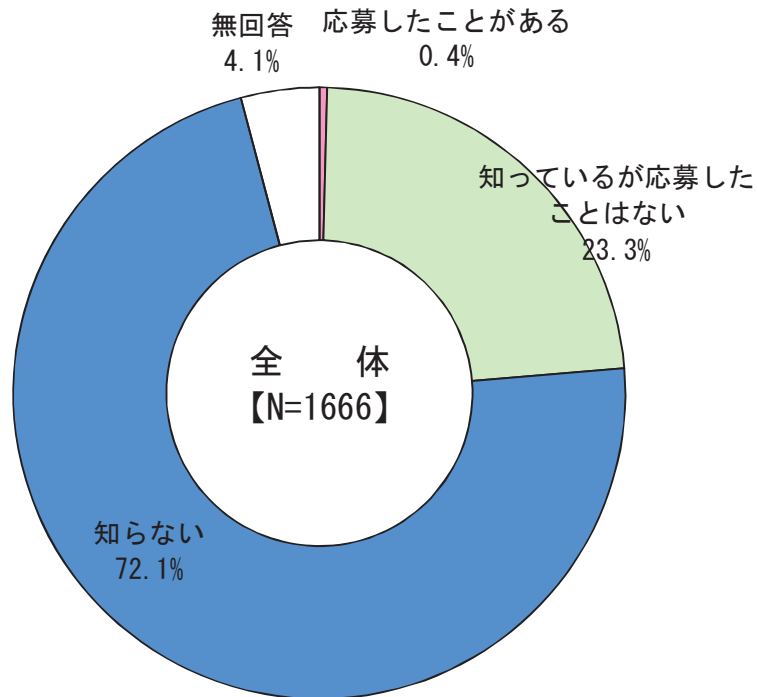
全居住区とも「知らない」が最も高く、東区(72.1%)、白石区(70.2%)、豊平区(70.1%)では 7 割を超えている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募

市民委員の公募については、「知らない」が 72.1%、「知っているが応募したことはない」が 23.3%となっている。



【対象者全体】

市民委員の公募については、「知らない」が 72.1%と最も高く、次いで「知っているが応募したことはない」が 23.3%、「応募したことがある」が 0.4%となっている。

【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性は 68.5%、女性は 74.8%となっている。「応募したことがある」は、男性は 0.4%、女性は 0.3%とともに低い。

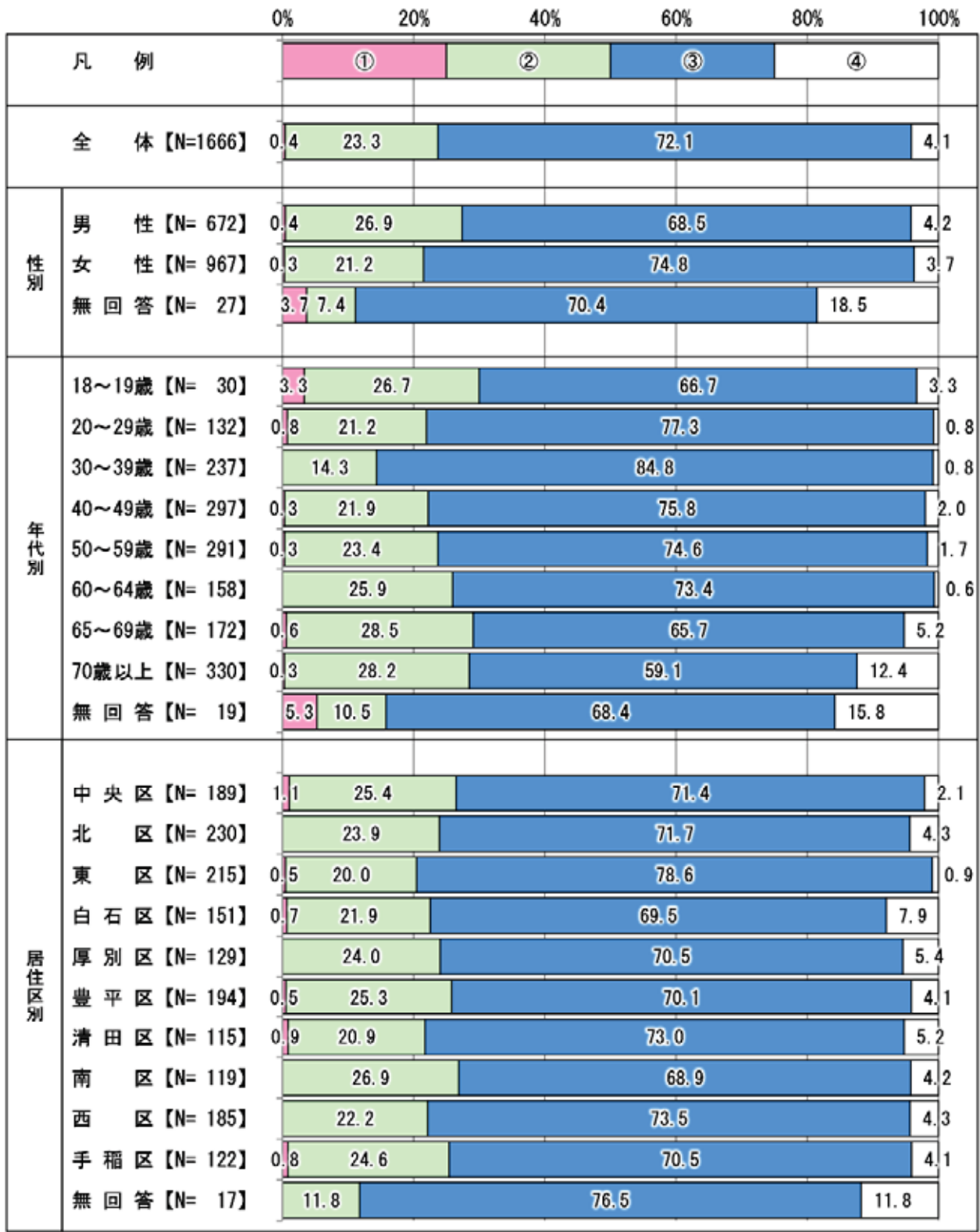
【年代別】

全年代ともに「知らない」が最も高く、30歳代では 84.8%と 8割を超えている。「応募したことがある」は、18～19歳が 3.3%と、他の年代と比較して高い。

【居住区別】

全居住区とも「知らない」が最も高く、東区は 78.6%と約 8割を占めている。

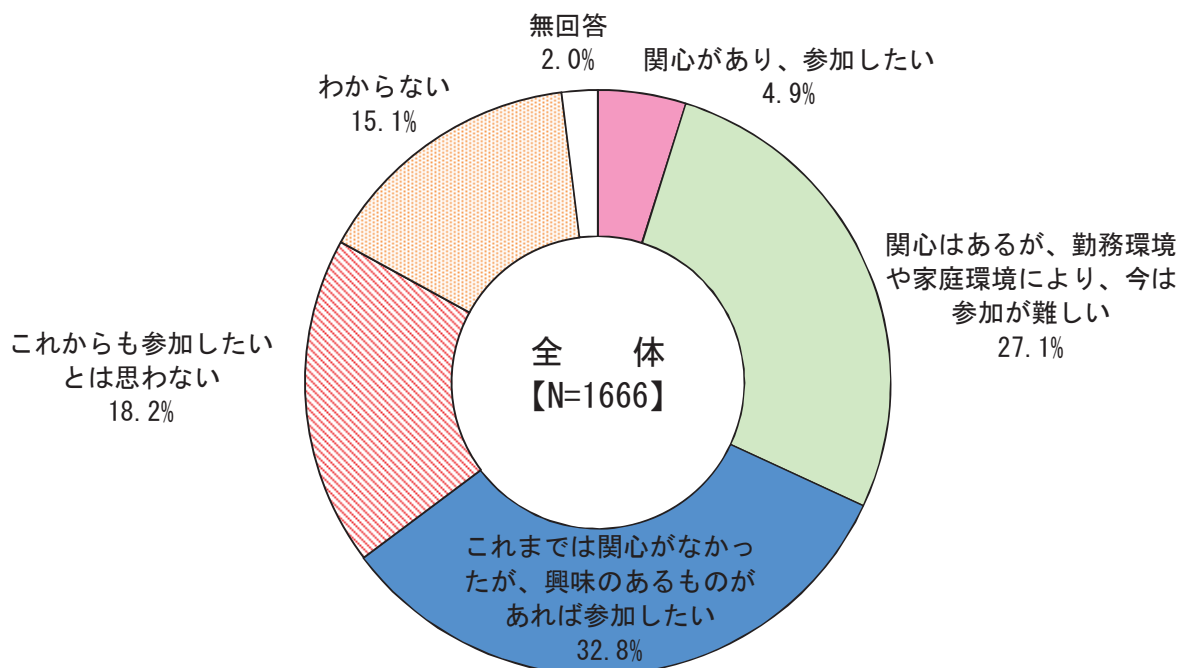
①応募したことがある ②知っているが応募したことはない ③知らない ④無回答



・ 市政への関心や参加

【問19】 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への関心や参加については、「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が 32.8%、「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が 27.1%となっている。



【対象者全体】

市政への関心や参加については、「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が 32.8%と最も高く、次いで「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」が 27.1%となっている。

【性別】

男女ともに「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が最も高く、男性が 32.4%、女性が 33.3%となっている。「関心があり、参加したい」は男性が 6.7%で、女性の 3.6%と比較して高い。

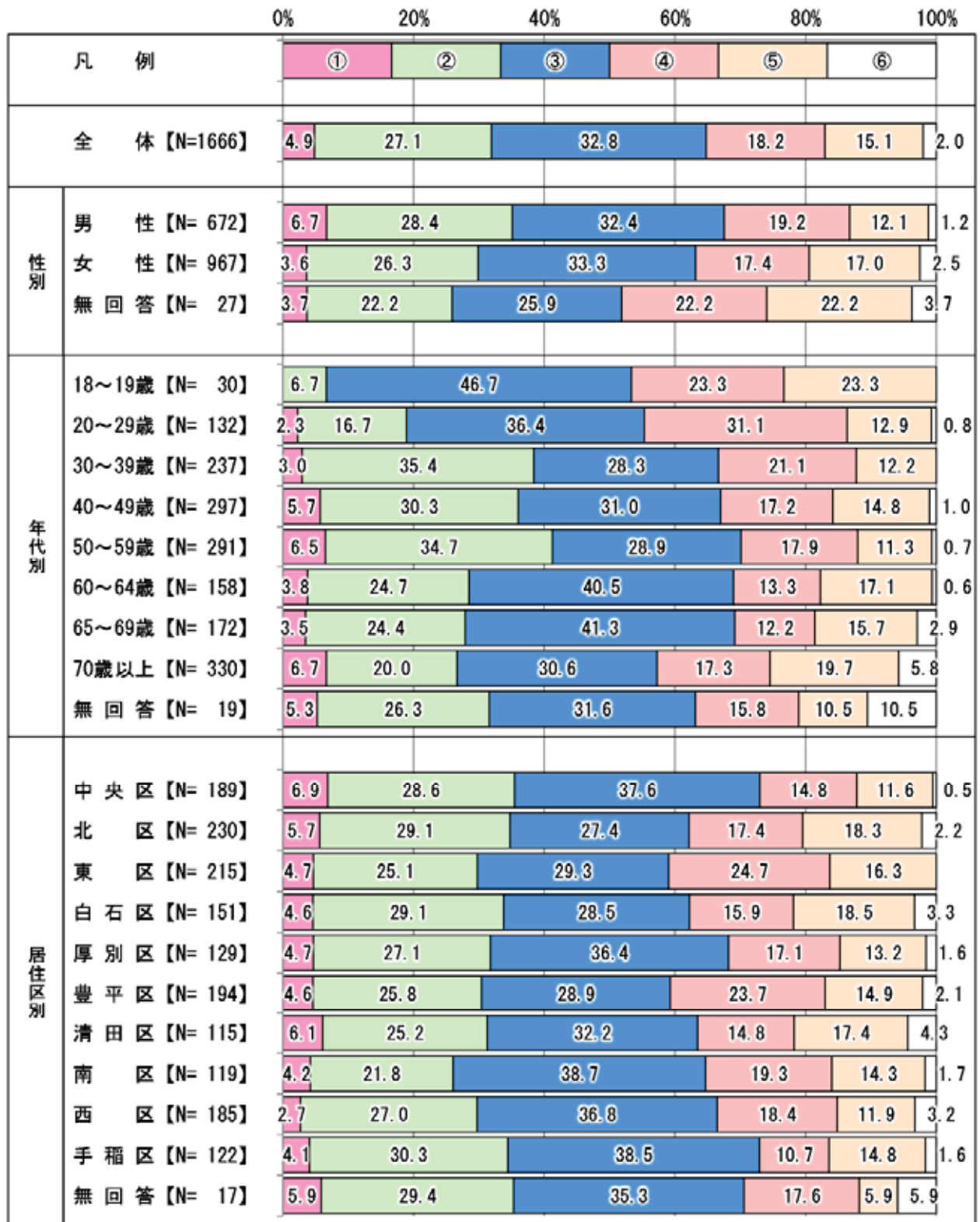
【年代別】

「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」は 18～19 歳では 46.7%と、他の年代と比べて高い。「関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい」は 30～50 歳代で 3 割を超えており、他の年代と比較して高い。「これからも参加したいとは思わない」は 20 歳代で 31.1%と、他の年代と比較して高い。

【居住区別】

北区を除く居住区で、「これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい」が最も高く、中央区(37.6%)、厚別区(36.4%)、清田区(32.2%)、南区(38.7%)、西区(36.8%)、手稲区(38.5%)と 3 割を超えている。

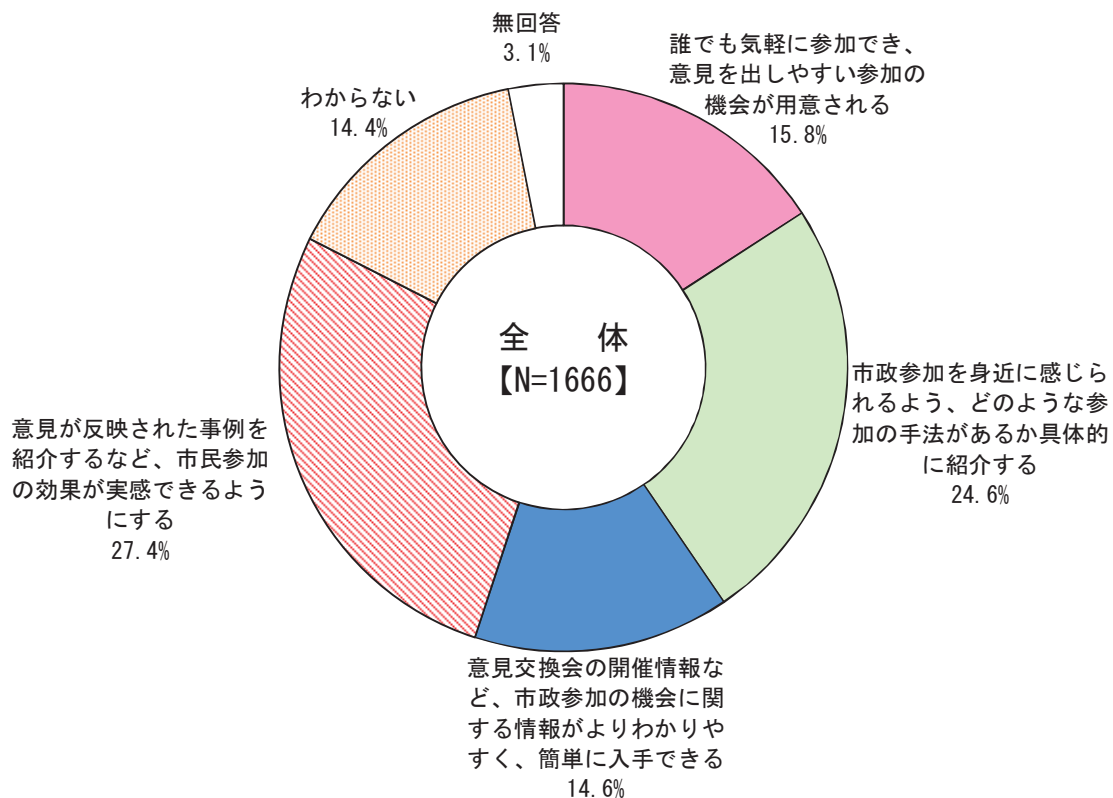
- ①関心があり、参加したい ②関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい
 ③これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい
 ④これからも参加したいとは思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ 市政への参加しやすさに必要な事柄

【問20】 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が 27.4%、「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が 24.6%となっている。



【対象者全体】

市政への参加しやすさに必要な事柄については、「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が 27.4%と最も高く、次いで「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」が 24.6%となっている。

【性別】

男女ともに「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、男性が 27.2%、女性が 27.9%となっている。

【年代別】

40 歳代、50 歳代を除く年代で「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、特に 60～64 歳では 36.7%となっている。「市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する」は 40 歳代と 50 歳代で最も高く、約 3 割となっている。「わからない」は 70 歳以上で 22.7%と、他の年代と比較して高い。

【居住区別】

豊平区を除く居住区で、「意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする」が最も高く、中央区で 31.2%と 3 割を超えている。「誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される」は厚別区で 23.3%と、他の居住区と比較して高い。

- ①誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される
 ②市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する
 ③意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる
 ④意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする ⑤わからない ⑥無回答

		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
凡 例		①	②	③	④	⑤	⑥	
全 体 【N=1666】		15.8	24.6	14.6	27.4	14.4	3.1	
性別	男 性 【N= 672】	17.0	25.9	15.0	27.2	12.6	2.2	
	女 性 【N= 967】	15.2	23.9	14.5	27.9	15.1	3.4	
	無 回 答 【N= 27】	11.1	18.5	7.4	14.8	33.3	14.8	
年 代 別	18～19歳 【N= 30】	16.7	23.3	20.0	33.3	6.7		
	20～29歳 【N= 132】	16.7	22.7	16.7	25.8	17.4	0.8	
	30～39歳 【N= 237】	15.6	24.9	18.6	29.1	11.8		
	40～49歳 【N= 297】	15.8	30.0	13.8	27.6	10.8	2.0	
	50～59歳 【N= 291】	16.5	29.9	13.7	26.5	12.0	1.4	
	60～64歳 【N= 158】	13.3	25.9	12.7	36.7	9.5	1.9	
	65～69歳 【N= 172】	16.9	20.9	16.9	27.3	15.1	2.9	
	70歳以上 【N= 330】	15.8	17.3	12.1	23.3	22.7	8.8	
	無 回 答 【N= 19】	15.8	21.1	5.3	15.8	21.1	21.1	
居 住 区 別	中 央 区 【N= 189】	14.3	30.2	13.8	31.2	10.1	0.5	
	北 区 【N= 230】	17.4	21.7	13.5	26.5	17.0	3.9	
	東 区 【N= 215】	14.9	24.2	15.8	27.9	16.7	0.5	
	白 石 区 【N= 151】	15.9	21.2	13.9	28.5	15.2	5.3	
	厚 別 区 【N= 129】	23.3	24.0	13.2	27.1	10.1	2.3	
	豊 平 区 【N= 194】	11.3	28.9	16.0	25.8	15.5	2.6	
	清 田 区 【N= 115】	17.4	28.7	7.8	28.7	13.0	4.3	
	南 区 【N= 119】	17.6	17.6	19.3	26.9	15.1	3.4	
	西 区 【N= 185】	13.0	25.9	15.1	26.5	15.1	4.3	
	手 稲 区 【N= 122】	18.0	21.3	17.2	26.2	12.3	4.9	
	無 回 答 【N= 17】	11.8	23.5	11.8	17.6	23.5	11.8	

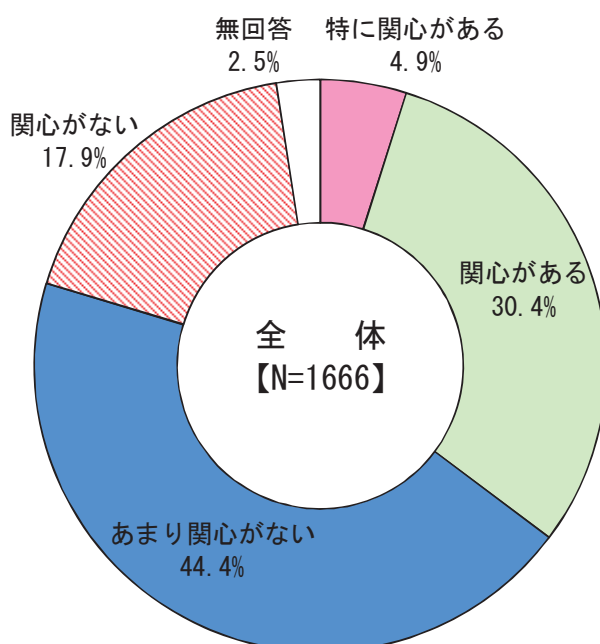
・ 海外交流への関心

【問21】 あなたは、姉妹・友好都市^{※1}をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流^{※2}に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、文化芸術（芸術作品の創作・鑑賞等）、スポーツ（青少年スポーツ交流等）、観光（外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等）、教育（語学、留学等）、経済（企業の進出・誘致、流通の拡大等）など様々な分野における交流を指します。

海外交流への関心については、「あまり関心がない」(44.4%)と「関心がない」(17.9%)を合わせた割合が6割(62.3%)を超えている。「関心がある」は30.4%となっている。



【対象者全体】

海外交流への関心については、「あまり関心がない」が44.4%と最も高く、次いで「関心がある」が30.4%、「関心がない」が17.9%、「特に関心がある」が4.9%となっている。

【性別】

男女ともに「あまり関心がない」が最も高く、男性が47.2%、女性が42.1%となっている。

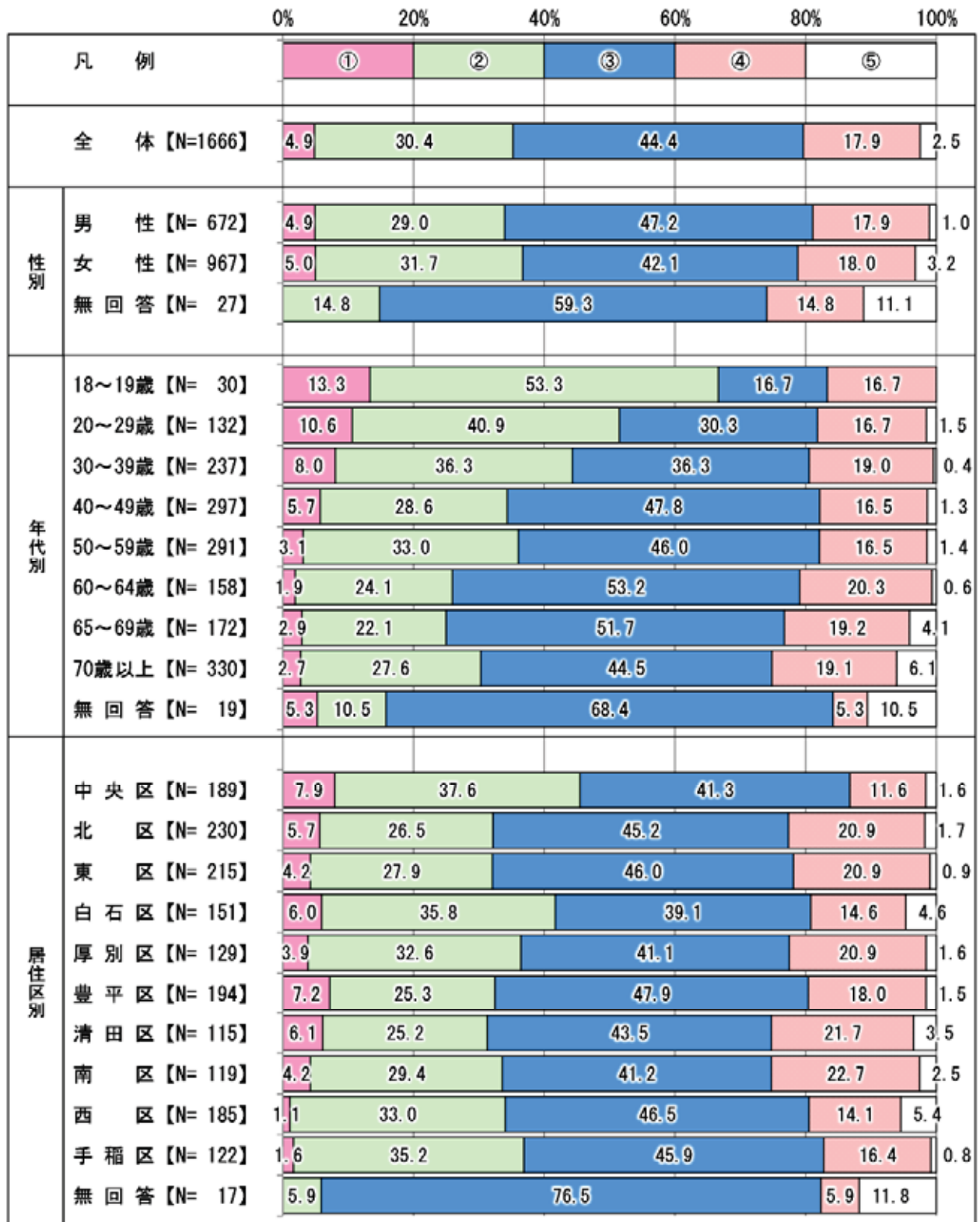
【年代別】

「特に関心がある」と「関心がある」を合わせた割合は18～19歳では、66.6%と6割を超えているが、年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にあり、65～69歳では25.0%となっている。

【居住区別】

全居住区で、「あまり関心がない」が最も高く、特に豊平区は47.9%となっている。中央区と白石区では、「特に関心がある」と「関心がある」を合わせた割合が4割を超えている。

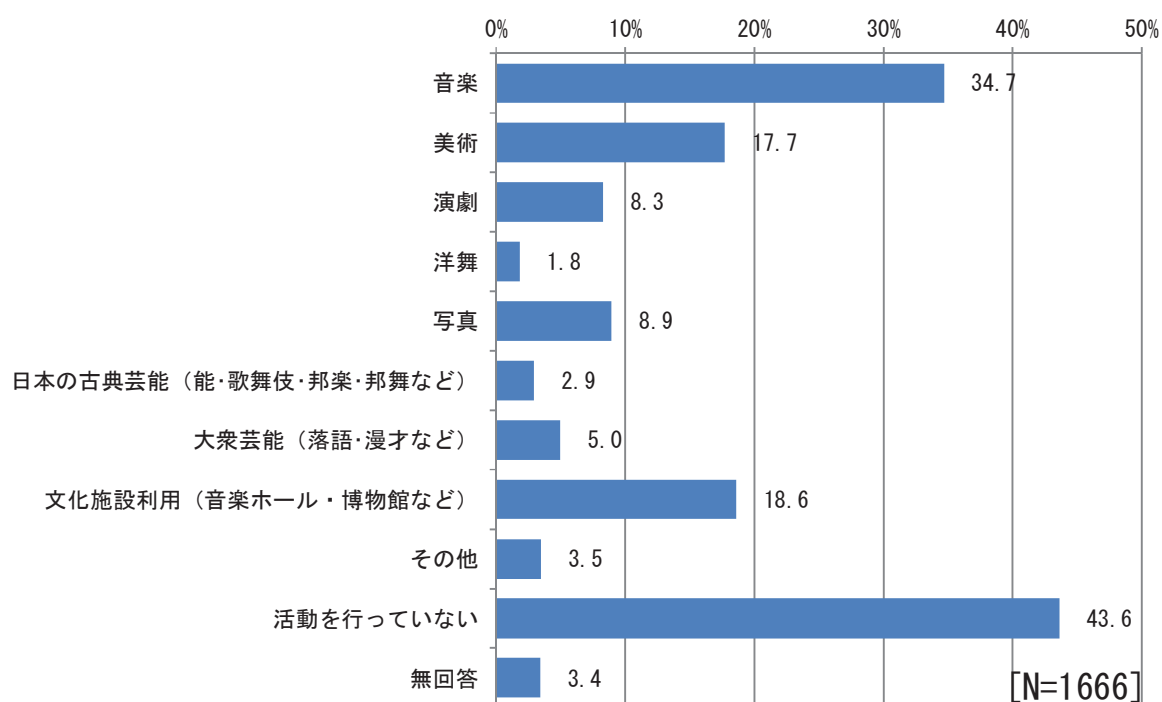
①特に関心がある ②関心がある ③あまり関心がない ④関心がない ⑤無回答



・ 趣味などで行った文化芸術活動

【問22】あなたが、この1年間に、趣味などで行った文化芸術活動（実践及び鑑賞）は何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

趣味などで行った文化芸術活動については、「活動を行っていない」が 43.6%、「音楽」が 34.7%となっている。



【対象者全体】

趣味などで行った文化芸術活動については、「活動を行っていない」が 43.6%と最も高く、次いで「音楽」が 34.7%、「文化施設利用（音楽ホール・博物館など）」が 18.6%、「美術」が 17.7%となっている。

【性別】

男性は「活動を行っていない」が 50.9%と最も高く、女性は「音楽」が 40.1%と最も高い。

【年代別】

18～19歳、20歳代では「音楽」他の年代と比較して高く、特に18～19歳は53.3%と5割を超えている。さらに18～19歳は「演劇」が26.7%と他の年代と比較して高く、「活動を行っていない」が20.0%と他の年代と比較して低い。

【居住区別】

中央区では「音楽」が46.6%と、他の居住区と比較して高い。北区では「活動を行っていない」が51.7%で、唯一5割を超えている居住区となっている。


		回答者数	音楽	美術	演劇	洋舞	写真	日本の古典芸能（能・歌舞伎・邦楽・邦舞など）
全体		1,666	34.7	17.7	8.3	1.8	8.9	2.9
性別	男性	672	27.5	15.2	4.0	0.7	9.5	2.7
	女性	967	40.1	19.9	11.3	2.6	8.6	3.2
	無回答	27	18.5	3.7	7.4	-	7.4	-
年代別	18～19歳	30	53.3	20.0	26.7	-	13.3	6.7
	20～29歳	132	48.5	15.2	11.4	2.3	13.6	2.3
	30～39歳	237	38.0	15.6	9.7	1.3	10.1	1.3
	40～49歳	297	36.4	18.5	10.4	2.0	6.7	2.4
	50～59歳	291	36.1	22.3	8.2	2.1	9.6	3.4
	60～64歳	158	36.7	24.7	7.0	2.5	10.1	3.8
	65～69歳	172	29.7	16.9	8.7	2.3	7.6	5.2
	70歳以上	330	24.8	12.7	2.7	1.2	7.6	2.7
	無回答	19	21.1	10.5	10.5	-	5.3	-
居住区別	中央区	189	46.6	27.0	13.2	3.2	14.3	4.2
	北区	230	30.0	16.1	3.9	2.2	10.4	3.5
	東区	215	36.3	15.3	8.4	0.9	9.8	2.8
	白石区	151	43.0	17.2	8.6	2.6	5.3	2.0
	厚別区	129	37.2	21.7	7.0	1.6	7.8	3.1
	豊平区	194	29.9	16.5	10.3	2.6	9.3	2.6
	清田区	115	33.9	12.2	6.1	-	10.4	2.6
	南区	119	31.1	19.3	5.9	0.8	5.0	4.2
	西区	185	30.8	18.9	10.3	1.6	6.5	1.6
	手稲区	122	29.5	12.3	8.2	1.6	7.4	3.3
	無回答	17	17.6	5.9	5.9	-	11.8	-


■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い

■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

		回答者数	大衆芸能 (落語・漫才など)	文化施設利用 (音楽ホール・博物館など)	その他	活動を行っていない	無回答	計
全体		1,666	5.0	18.6	3.5	43.6	3.4	148.5
性別	男性	672	5.7	15.9	3.7	50.9	2.1	137.9
	女性	967	4.6	20.9	3.2	38.2	4.2	156.7
	無回答	27	3.7	3.7	7.4	59.3	7.4	118.5
年代別	18～19歳	30	10.0	20.0	-	20.0	-	170.0
	20～29歳	132	5.3	15.2	1.5	39.4	0.8	155.3
	30～39歳	237	2.5	16.9	1.7	47.3	-	144.3
	40～49歳	297	3.0	17.2	2.4	44.1	1.7	144.8
	50～59歳	291	7.6	23.7	2.7	40.9	1.7	158.4
	60～64歳	158	7.6	22.8	1.3	42.4	1.9	160.8
	65～69歳	172	5.8	18.0	5.2	45.3	7.0	151.7
	70歳以上	330	3.9	16.4	7.6	46.1	9.1	134.8
	無回答	19	5.3	15.8	5.3	52.6	5.3	131.6
居住区別	中央区	189	6.3	25.4	2.1	35.4	1.6	179.4
	北区	230	3.9	16.1	2.2	51.7	4.8	144.8
	東区	215	5.1	20.0	0.5	42.3	0.9	142.3
	白石区	151	5.3	15.9	5.3	40.4	4.0	149.7
	厚別区	129	4.7	18.6	4.7	39.5	2.3	148.1
	豊平区	194	5.7	19.6	3.1	42.8	3.1	145.4
	清田区	115	5.2	13.0	2.6	44.3	6.1	136.5
	南区	119	5.9	19.3	3.4	48.7	1.7	145.4
	西区	185	3.8	18.4	4.9	44.9	5.4	147.0
	手稲区	122	4.1	18.9	9.0	43.4	4.9	142.6
	無回答	17	5.9	5.9	5.9	58.8	5.9	123.5

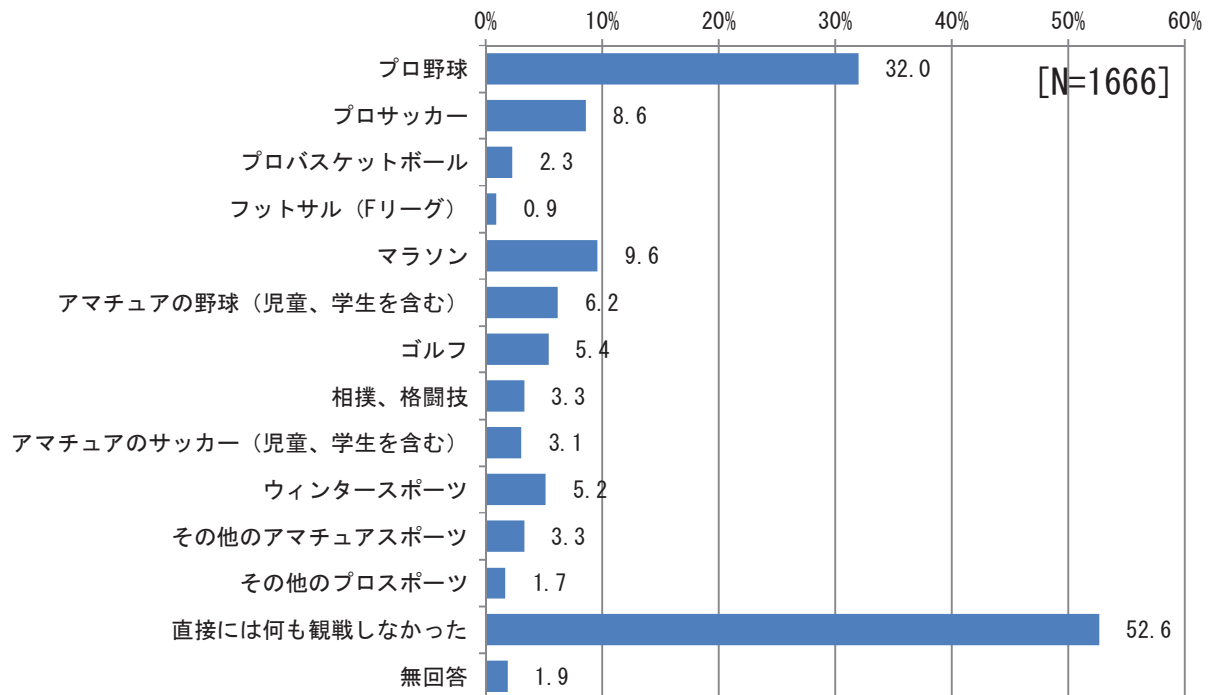
 対象者全体の値と比較し10%以上高い

 対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ スポーツの直接観戦

【問23】 あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「13」だけに○をつけてください。

スポーツの直接観戦については、「直接には何も観戦しなかった」が52.6%、「プロ野球」が32.0%、「マラソン」が9.6%となっている。



【対象者全体】

スポーツの直接観戦については、「直接には何も観戦しなかった」が52.6%と最も高く、次いで「プロ野球」が32.0%、「マラソン」が9.6%、「プロサッカー」が8.6%となっている。

【性別】

男女ともに「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、男性で47.2%、女性で55.8%となっている。

【年代別】

全年代において「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、特に20歳代で57.6%と約6割を占めている。

【居住区別】

全居住区において「直接には何も観戦しなかった」が最も高く、東区で59.1%となっている。


		回答者数	プロ野球	プロサッカー	プロバスケットボール	フットサル（フリーグ）	マラソン	アマチュアの野球（児童、学生を含む）	ゴルフ
全体		1,666	32.0	8.6	2.3	0.9	9.6	6.2	5.4
性別	男性	672	36.9	10.6	2.7	0.7	10.6	9.8	9.4
	女性	967	29.0	7.2	2.1	1.0	9.2	3.7	2.7
	無回答	27	18.5	7.4	-	-	-	3.7	3.7
年代別	18～19歳	30	16.7	3.3	6.7	-	3.3	13.3	-
	20～29歳	132	22.7	10.6	3.8	-	4.5	5.3	1.5
	30～39歳	237	30.4	9.3	2.5	1.3	7.6	3.4	1.7
	40～49歳	297	29.6	10.1	3.4	2.7	8.1	7.4	3.0
	50～59歳	291	36.1	8.6	1.7	1.0	9.3	5.5	6.2
	60～64歳	158	38.6	7.0	3.2	0.6	9.5	6.3	6.3
	65～69歳	172	33.7	8.1	0.6	-	14.0	9.9	5.8
	70歳以上	330	33.6	7.6	1.2	-	13.6	5.8	11.2
	無回答	19	15.8	5.3	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	189	31.2	10.1	2.6	0.5	13.2	6.3	5.3
	北区	230	27.0	7.8	2.2	0.9	12.6	4.3	6.5
	東区	215	27.9	5.6	0.9	1.4	6.0	6.5	4.2
	白石区	151	33.1	7.9	1.3	0.7	5.3	6.0	5.3
	厚別区	129	39.5	9.3	2.3	2.3	3.9	9.3	7.0
	豊平区	194	34.5	10.3	5.7	1.5	14.9	5.2	5.7
	清田区	115	37.4	13.9	4.3	1.7	5.2	4.3	7.8
	南区	119	36.1	3.4	0.8	-	5.9	5.0	4.2
	西区	185	28.1	8.1	1.6	-	12.4	7.0	4.3
	手稲区	122	36.1	11.5	0.8	-	12.3	9.8	4.9
	無回答	17	11.8	5.9	-	-	-	-	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

		回答者数	相撲、格闘技	アマチュアのサッカー（児童、学生を含む）	ウィンタースポーツ	その他のアマチュアスポーツ	その他のプロスポーツ	直接には何も観戦しなかった	無回答	計
全体		1,666	3.3	3.1	5.2	3.3	1.7	52.6	1.9	136.0
性別	男性	672	4.3	3.9	7.4	2.7	1.6	47.2	1.5	149.3
	女性	967	2.6	2.5	3.6	3.7	1.7	55.8	2.1	126.9
	無回答	27	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	74.1	3.7	129.6
年代別	18～19歳	30	-	6.7	3.3	3.3	3.3	56.7	-	116.7
	20～29歳	132	2.3	3.0	5.3	2.3	1.5	57.6	0.8	121.2
	30～39歳	237	1.7	3.4	4.2	3.8	0.8	55.3	0.8	126.2
	40～49歳	297	1.7	7.4	4.0	8.4	1.7	48.1	1.3	137.0
	50～59歳	291	2.7	1.7	6.5	3.4	2.4	53.3	0.7	139.2
	60～64歳	158	4.4	1.3	5.7	0.6	1.9	50.0	0.6	136.1
	65～69歳	172	2.9	2.3	3.5	-	1.7	50.6	3.5	136.6
	70歳以上	330	7.0	1.2	6.4	1.5	1.5	53.3	3.9	147.9
	無回答	19	-	-	5.3	5.3	-	68.4	10.5	110.5
居住区別	中央区	189	3.2	2.1	5.3	3.7	1.6	55.0	1.6	141.8
	北区	230	5.7	3.0	5.2	4.3	1.3	57.0	2.6	140.4
	東区	215	3.3	5.1	4.2	1.9	2.3	59.1	0.5	128.8
	白石区	151	2.0	2.0	4.6	2.6	2.6	54.3	4.0	131.8
	厚別区	129	2.3	7.0	4.7	6.2	0.8	41.9	1.6	138.0
	豊平区	194	2.6	2.1	7.2	1.5	0.5	47.4	1.5	140.7
	清田区	115	3.5	2.6	4.3	4.3	4.3	50.4	1.7	146.1
	南区	119	2.5	1.7	2.5	-	-	52.1	1.7	116.0
	西区	185	4.3	3.2	6.5	3.2	2.7	53.0	2.2	136.8
	手稲区	122	2.5	1.6	6.6	5.7	0.8	45.1	0.8	138.5
	無回答	17	-	-	-	5.9	-	82.4	5.9	111.8

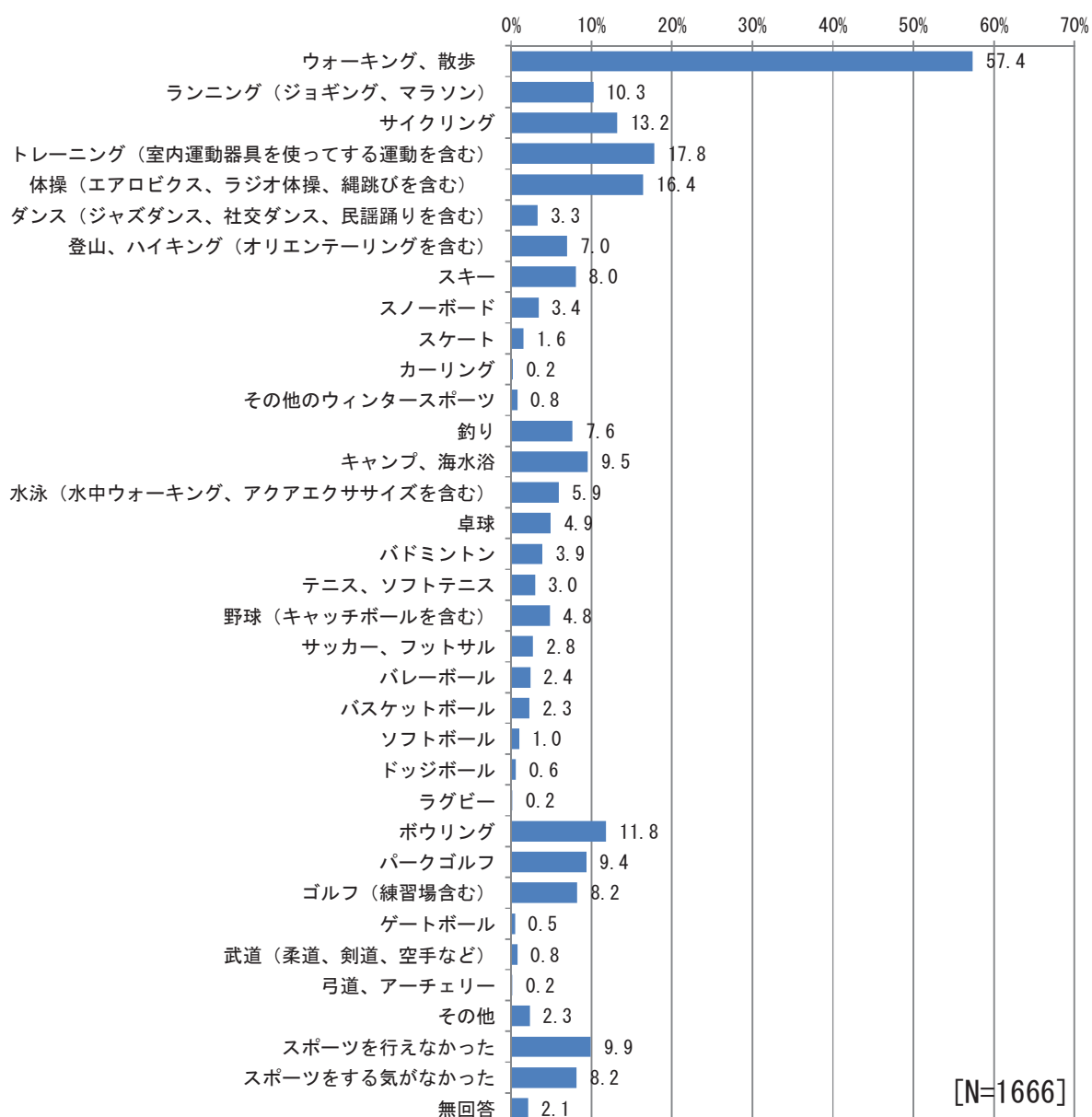
 対象者全体の値と比較し10%以上高い

 対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 行ったスポーツ（運動）

【問24】あなたは、この1年間にスポーツ（運動）を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、スポーツ（運動）には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます（部活動は含まれます）。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」が 57.4%、「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」が 17.8%、「体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」が 16.4%となっている。



【対象者全体】

行ったスポーツ(運動)については、「ウォーキング、散歩」が57.4%と最も高く、次いで「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」が 17.8%、「体操(エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む)」が 16.4%、「サイクリング」が 13.2%となっている。「スポーツを行えなかった」と「スポーツをする気がなかった」は、合わせて 18.1%である。

【性別】

男女ともに「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性で 57.3%、女性で 57.8%となっている。

【年代別】

18～19 歳を除く全年代において「ウォーキング、散歩」が最も高く、特に 60～64 歳で 68.4%、65～69 歳で 67.4%と他の年代と比較して高い。18～19 歳は、他の年代と比較して割合が高いスポーツが多く、特に「ボウリング」が 40.0%、「バトミントン」と「バスケットボール」が 33.3%、「サイクリング」と「トレーニング(室内運動器具を使ってする運動を含む)」が 30.0%である。70 歳以上では「パークゴルフ」が 22.4%と、他の年代と比較して高い。

【居住区別】

全居住区において「ウォーキング、散歩」が最も高く、中央区(60.3%)、白石区(63.6%)、厚別区(61.2%)で 6 割を超えている。

	回答者数	ウォーキング、散歩	ランニング（ジョギング、マラソン）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具を用いる運動を含む）	体操（エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	
全体	1,666	57.4	10.3	13.2	17.8	16.4	3.3	7.0	8.0	
性別	男性	672	57.3	16.4	16.8	22.9	10.7	1.0	8.9	11.5
	女性	967	57.8	6.3	10.9	14.6	20.8	4.9	5.7	5.8
	無回答	27	44.4	-	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7
年代別	18～19歳	30	30.0	23.3	30.0	30.0	13.3	16.7	6.7	16.7
	20～29歳	132	56.1	28.8	17.4	28.8	15.9	3.8	12.9	6.1
	30～39歳	237	54.0	16.0	16.0	15.6	14.8	3.4	8.0	9.7
	40～49歳	297	49.2	12.8	17.8	16.8	15.2	3.0	6.7	19.2
	50～59歳	291	55.0	6.5	10.3	19.2	15.8	1.0	4.5	5.5
	60～64歳	158	68.4	8.9	17.1	25.3	12.0	2.5	7.6	5.7
	65～69歳	172	67.4	6.4	11.6	13.4	22.7	4.1	10.5	5.2
	70歳以上	330	62.1	1.8	5.5	13.0	19.4	4.2	3.9	2.1
無回答	19	52.6	-	10.5	5.3	5.3	-	10.5	-	
居住区別	中央区	189	60.3	15.9	13.2	20.1	18.5	5.8	11.6	9.0
	北区	230	56.5	8.3	12.6	12.6	15.2	2.6	3.5	3.9
	東区	215	52.6	13.0	14.4	20.9	14.4	3.3	7.4	9.3
	白石区	151	63.6	6.0	16.6	13.2	20.5	4.6	6.6	6.0
	厚別区	129	61.2	9.3	20.9	14.7	17.1	1.6	7.8	12.4
	豊平区	194	51.5	12.9	13.4	20.1	11.9	3.1	6.7	7.2
	清田区	115	58.3	8.7	9.6	18.3	11.3	1.7	6.1	7.8
	南区	119	56.3	11.8	5.9	18.5	19.3	4.2	10.9	10.1
	西区	185	58.9	8.1	13.5	19.5	21.1	3.8	5.4	9.2
	手稲区	122	59.8	7.4	9.8	21.3	17.2	1.6	4.9	8.2
	無回答	17	47.1	-	11.8	11.8	5.9	-	5.9	5.9

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

	回答者数	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳（水中ウォーキング、アエクササイズを含む）	卓球	バドミントン	
全体	1,666	3.4	1.6	0.2	0.8	7.6	9.5	5.9	4.9	3.9	
性別	男性	672	4.6	1.5	0.6	0.9	14.6	11.5	4.8	5.5	4.6
	女性	967	2.7	1.7	-	0.7	2.9	8.4	6.9	4.4	3.5
	無回答	27	-	-	-	-	3.7	3.7	-	7.4	-
年代別	18～19歳	30	13.3	-	-	3.3	6.7	20.0	6.7	26.7	33.3
	20～29歳	132	16.7	3.8	-	-	6.1	15.2	13.6	12.1	8.3
	30～39歳	237	7.2	3.4	0.4	1.3	8.0	16.9	9.3	5.1	5.5
	40～49歳	297	3.7	3.0	0.7	0.3	8.1	17.5	6.7	5.7	6.4
	50～59歳	291	0.3	0.7	-	0.7	7.2	5.5	2.7	1.4	2.1
	60～64歳	158	1.3	0.6	-	0.6	8.9	5.7	8.2	6.3	1.9
	65～69歳	172	-	-	0.6	0.6	10.5	5.2	3.5	3.5	0.6
	70歳以上	330	-	0.3	-	1.2	6.1	1.8	3.0	2.1	0.6
	無回答	19	-	-	-	-	5.3	5.3	-	10.5	-
居住区別	中央区	189	3.2	3.2	-	1.1	7.9	7.9	6.3	5.3	5.3
	北区	230	0.4	0.9	0.4	0.9	6.1	6.5	5.2	3.5	4.3
	東区	215	6.0	1.9	0.5	-	7.4	13.0	7.0	7.0	3.7
	白石区	151	3.3	3.3	-	0.7	7.3	7.9	3.3	2.6	3.3
	厚別区	129	3.9	0.8	-	1.6	7.0	14.7	7.8	4.7	8.5
	豊平区	194	5.2	0.5	-	-	9.8	9.3	4.6	5.7	4.1
	清田区	115	2.6	0.9	-	0.9	12.2	9.6	7.0	2.6	3.5
	南区	119	4.2	0.8	0.8	-	7.6	10.9	10.1	6.7	3.4
	西区	185	3.2	1.6	-	2.2	5.9	6.5	5.9	6.5	1.6
	手稲区	122	2.5	1.6	-	0.8	6.6	12.3	4.1	2.5	1.6
	無回答	17	-	-	5.9	-	5.9	5.9	-	11.8	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

		テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング
全体		3.0	4.8	2.8	2.4	2.3	1.0	0.6	0.2	11.8
性別	男性	3.1	9.4	5.5	1.8	3.4	1.9	0.4	0.4	15.5
	女性	2.9	1.6	0.9	2.9	1.6	0.3	0.7	-	9.4
	無回答	3.7	7.4	-	-	-	3.7	-	-	7.4
年代別	18～19歳	20.0	23.3	16.7	26.7	33.3	13.3	3.3	-	40.0
	20～29歳	6.1	9.8	7.6	7.6	11.4	2.3	3.0	-	29.5
	30～39歳	3.8	7.2	5.5	2.1	2.1	1.7	0.4	-	14.3
	40～49歳	3.4	6.4	5.1	3.7	2.4	0.3	1.3	0.7	17.8
	50～59歳	2.4	2.1	0.3	1.4	0.3	0.3	-	-	8.2
	60～64歳	3.2	2.5	1.3	0.6	-	1.3	-	-	6.3
	65～69歳	1.7	1.7	-	-	-	0.6	-	-	5.8
	70歳以上	0.3	3.0	-	0.3	-	0.3	-	0.3	4.2
無回答	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	5.3	
居住区別	中央区	4.2	4.2	4.2	1.1	1.1	1.6	-	-	11.1
	北区	1.7	3.9	3.0	3.5	1.7	0.9	1.3	0.4	11.7
	東区	5.1	7.9	2.3	3.3	5.1	1.4	0.9	-	18.1
	白石区	1.3	2.0	2.0	-	0.7	-	0.7	-	9.9
	厚別区	3.1	4.7	4.7	4.7	1.6	0.8	0.8	-	11.6
	豊平区	4.1	6.7	3.1	4.6	4.1	2.6	1.0	-	10.8
	清田区	0.9	8.7	3.5	-	4.3	0.9	-	-	15.7
	南区	4.2	2.5	1.7	-	-	0.8	-	-	10.9
	西区	2.7	2.7	2.2	1.6	0.5	0.5	-	0.5	8.1
	手稲区	0.8	4.1	0.8	4.1	3.3	-	0.8	0.8	9.0
	無回答	5.9	5.9	-	-	-	-	-	-	11.8

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

		パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	スポーツを行えなかった	スポーツをする気がなかった	無回答	計
全体		9.4	8.2	0.5	0.8	0.2	2.3	9.9	8.2	2.1	241.8
性別	男性	13.1	16.8	0.4	1.2	-	1.0	7.9	7.3	0.7	284.1
	女性	6.4	2.4	0.5	0.5	0.3	3.3	11.4	8.7	2.5	214.2
	無回答	22.2	3.7	-	-	-	-	7.4	11.1	22.2	177.8
年代別	18～19歳	6.7	3.3	-	3.3	-	3.3	-	6.7	-	476.7
	20～29歳	3.0	3.8	-	0.8	-	3.8	5.3	6.8	-	346.2
	30～39歳	5.1	5.5	0.4	0.4	0.4	3.8	10.5	8.9	0.4	267.1
	40～49歳	3.4	11.4	-	1.3	0.3	3.4	10.8	7.4	1.0	273.1
	50～59歳	3.1	7.9	-	-	-	1.4	13.4	9.6	1.0	190.0
	60～64歳	10.1	10.1	-	1.3	0.6	2.5	7.6	10.1	1.3	239.9
	65～69歳	14.5	11.0	1.2	-	-	1.2	3.5	7.0	4.7	218.6
	70歳以上	22.4	7.6	1.5	1.2	-	1.2	12.7	7.3	4.2	193.9
	無回答	21.1	5.3	-	-	-	-	10.5	10.5	21.1	189.5
居住区別	中央区	4.8	10.6	-	0.5	1.1	3.2	9.0	5.3	1.6	258.2
	北区	13.5	7.0	-	1.3	-	3.5	12.6	9.1	1.7	220.4
	東区	9.8	8.4	0.5	0.9	-	0.5	7.4	13.0	0.9	267.4
	白石区	8.6	7.9	1.3	2.0	-	1.3	14.6	3.3	2.0	226.5
	厚別区	10.1	9.3	-	0.8	-	3.1	12.4	6.2	1.6	269.0
	豊平区	7.2	9.3	-	1.0	-	3.1	8.8	9.8	1.5	243.8
	清田区	8.7	14.8	1.7	-	-	0.9	7.8	11.3	1.7	241.7
	南区	6.7	6.7	0.8	-	0.8	0.8	9.2	8.4	2.5	237.8
	西区	7.6	5.4	1.1	0.5	-	4.3	6.5	9.2	3.2	229.7
	手稲区	15.6	4.1	-	-	-	1.6	11.5	2.5	3.3	224.6
	無回答	23.5	5.9	-	-	-	-	11.8	11.8	17.6	211.8

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い

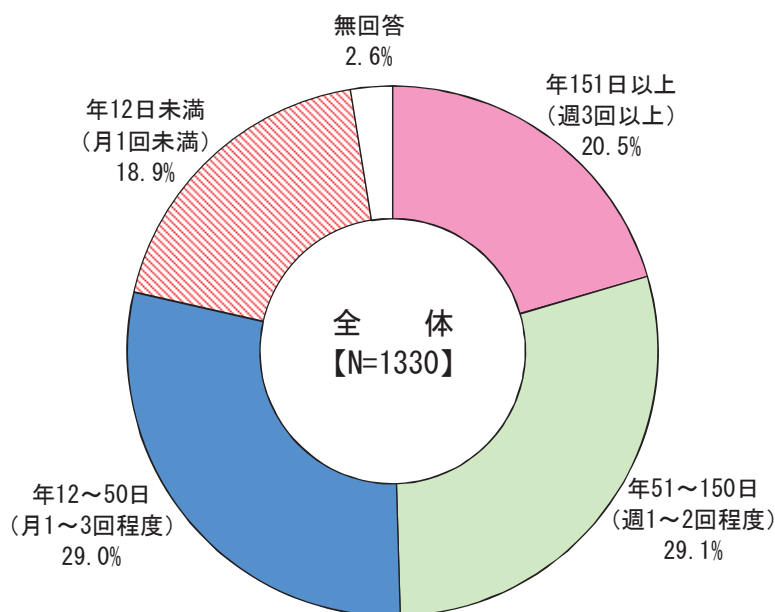
■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ **スポーツを行った日数**

＜この設問は、問24で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。＞

【問25】あなたが、問24で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

スポーツを行った日数については、「年51～150日(週1～2回程度)」が29.1%、「年12～50日(月1～3回程度)」が29.0%となっている。



【対象者全体】

スポーツを行った日数については、「年51～150日(週1～2回程度)」が29.1%と最も高く、次いで「年12～50日(月1～3回程度)」が29.0%、「年151日以上(週3回以上)」が20.5%となっている。

【性別】

男性は「年12～50日(月1～3回程度)」が32.4%と最も高く、女性は「年51～150日(週1～2回程度)」が31.1%と最も高い。

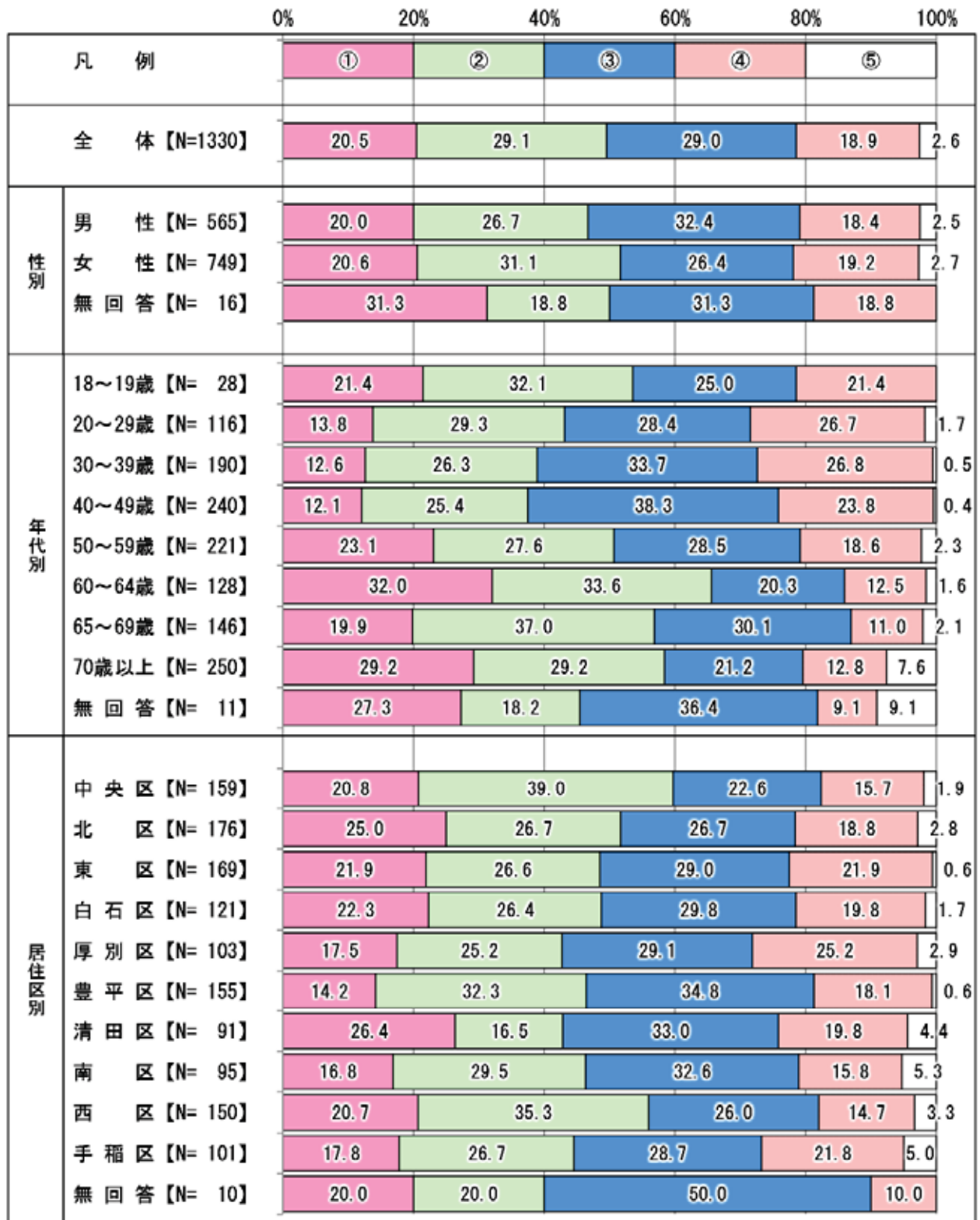
【年代別】

「年51～150日(週1～2回程度)」が最も高い年代は65～69歳で、37.0%である。「年12～50日(月1～3回程度)」が最も高い年代は40歳代で、38.8%である。「年151日以上(週3回以上)」が最も高い年代は60～64歳で、32.0%である。「年12日未満(月1回未満)」が最も高い年代は30歳代で、26.8%である。

【居住区別】

「年51～150日(週1～2回程度)」が最も高い居住区は中央区で、39.0%である。「年12～50日(月1～3回程度)」が最も高い居住区は豊平区で、34.8%である。「年151日以上(週3回以上)」が最も高い居住区は清田区で、26.4%である。「年12日未満(月1回未満)」が最も高い居住区は厚別区で、25.2%である。

①年151日以上（週3回以上） ②年51～150日（週1～2回程度） ③年12～50日（月1～3回程度）
 ④年12日未満（月1回未満） ⑤無回答

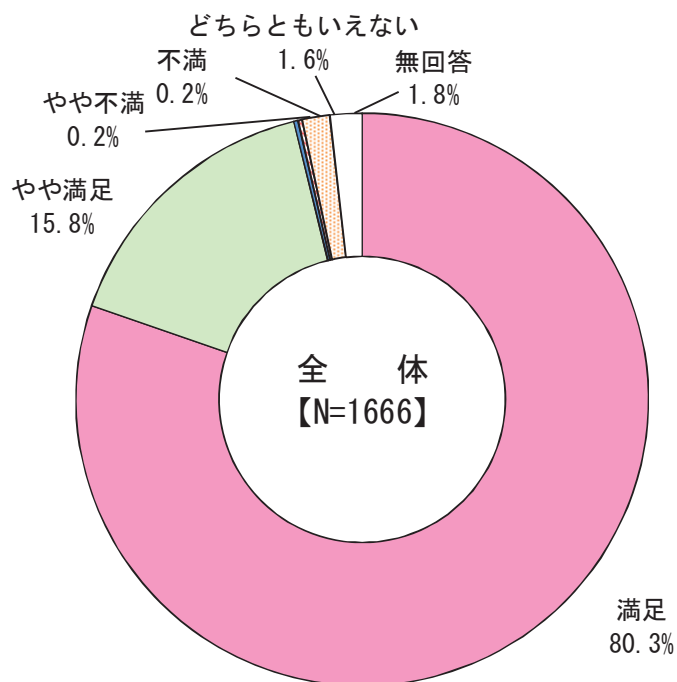


・ 札幌の水道

【問26】 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、3. やや不満、4. 不満に○を付けた方は、具体的な理由をお書きください。

(1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること（事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く）

水道水の安定供給については、「満足」(80.3%)と「やや満足」(15.8%)を合わせた割合が、9割(96.1%)を超えている。



【対象者全体】

水道水の安定供給については、「満足」が 80.3%と最も高く、次いで「やや満足」が 15.8%である。「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 96.1%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性は 80.7%、女性は 80.2%である。

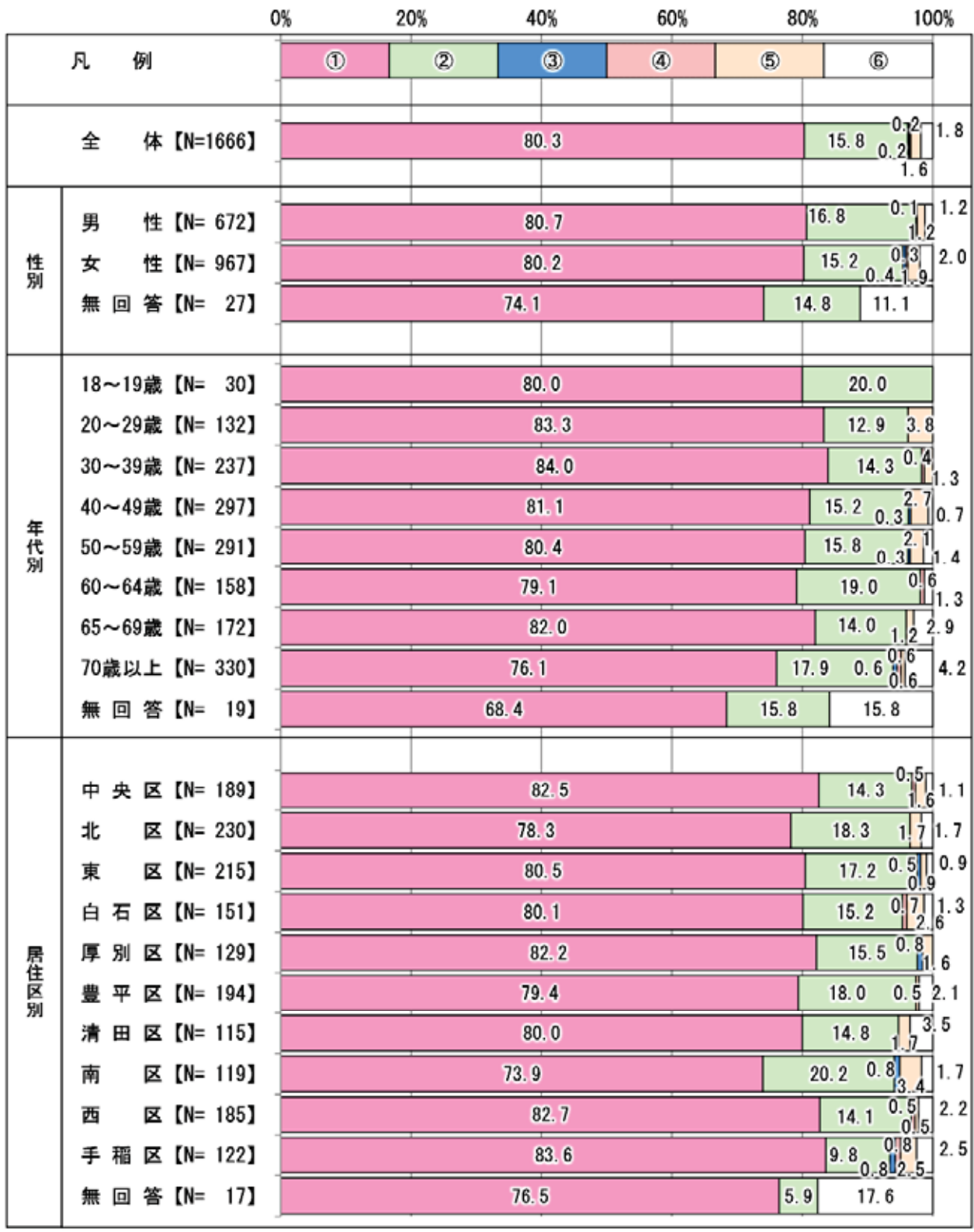
【年代別】

全年代で「満足」が最も高く、60～64歳と70歳以上を除く年代で8割を超えている。

【居住区別】

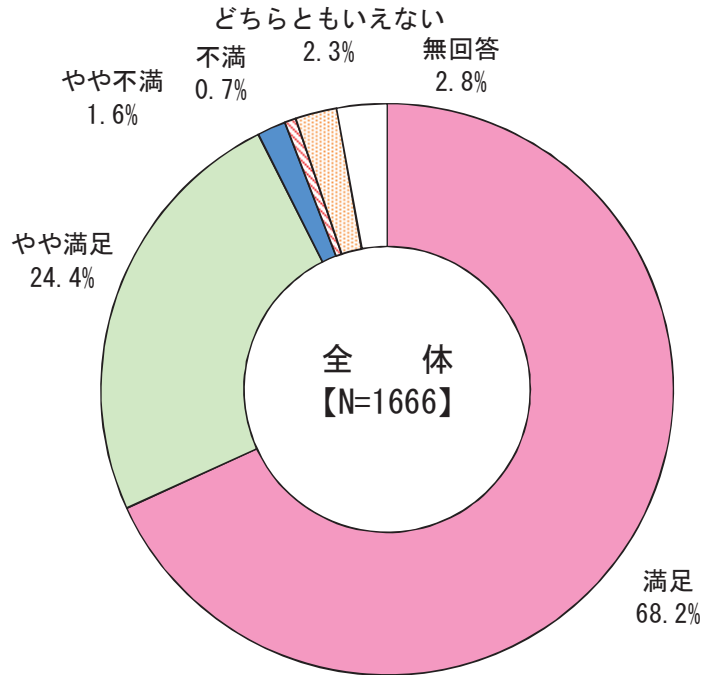
全居住区で「満足」が最も高い。手稲区は 83.6%と最も高いのに対し、南区は 73.9%と最も低い。

①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



(2) 安全で良質な水道水をお届けすること

安全で良質な水道水の供給については、「満足」(68.2%)と「やや満足」(24.4%)を合わせた割合が 9 割 (92.6%)を超えている。



【対象者全体】

安全で良質な水道水の供給については、「満足」が68.2%と最も高く、次いで「やや満足」が24.4%、「やや不満」が1.6%となっている。

【性別】

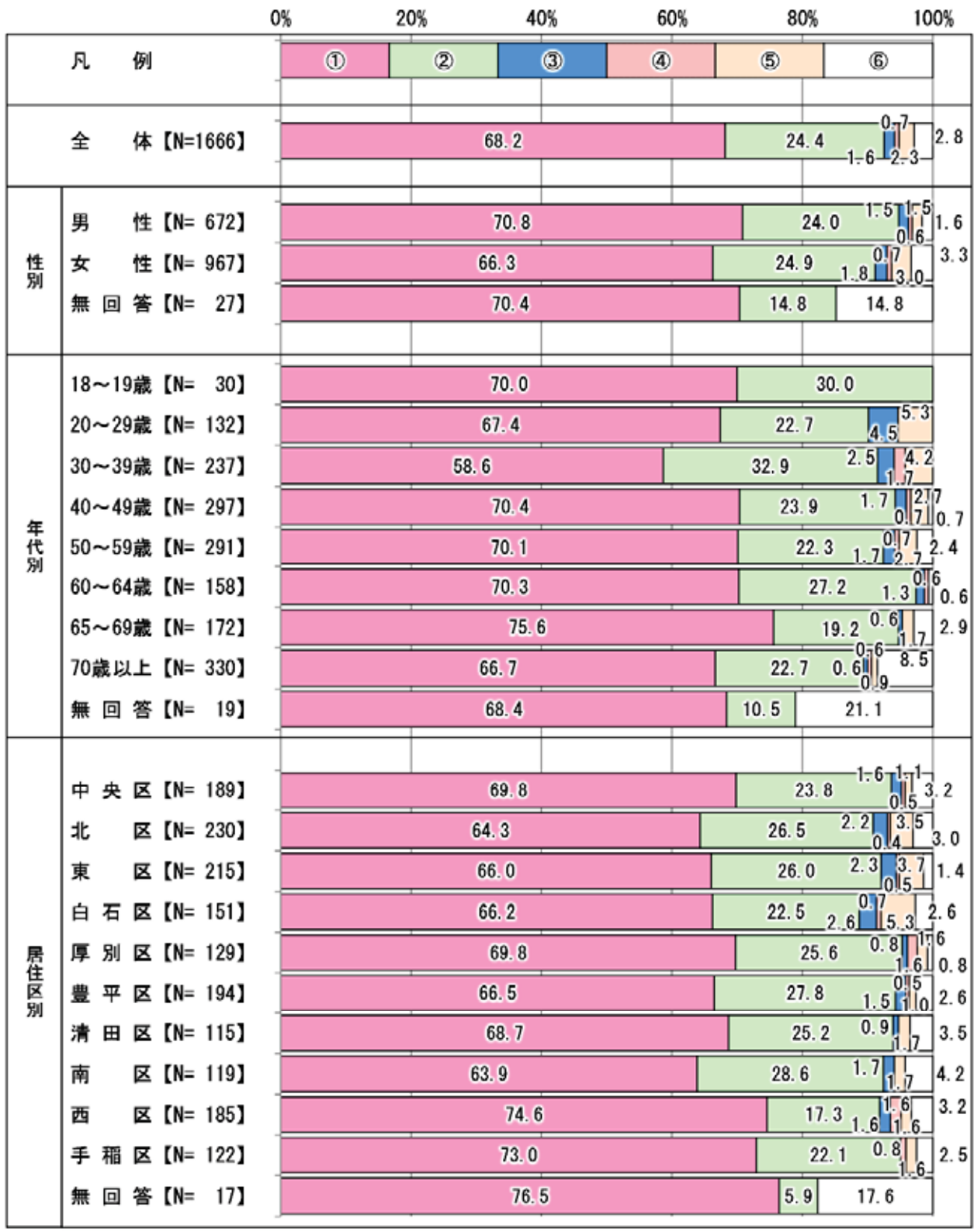
男女ともに「満足」が最も高く、男性は70.8%、女性は66.3%となっている。「やや満足」は、男性は24.0%、女性は24.9%である。

【年代別】

全年代で「満足」が最も高い。65～69歳は75.6%と最も高いのに対し、30歳代では58.6%と最も低い。

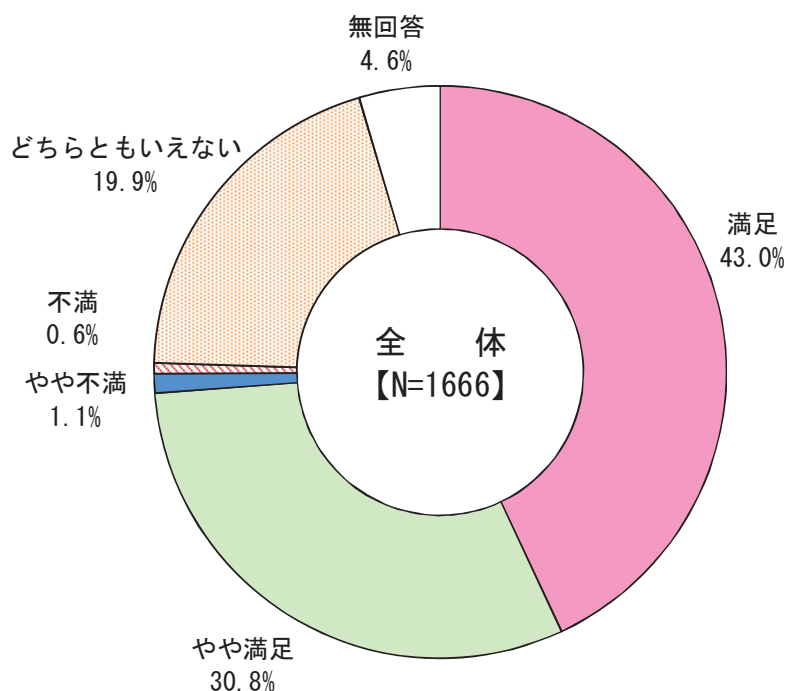
【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高く、西区(74.6%)、手稲区(73.0%)は7割を超えている。



(3) お客さまサービス（問い合わせ対応・広報）

お客さまサービスについては、「満足」が 43.0%、「やや満足」が 30.8%、「どちらともいえない」が 19.9%である。



【対象者全体】

お客さまサービスについては、「満足」が 43.0%と最も高く、次いで「やや満足」が 30.8%、「どちらともいえない」が 19.9%となっている。

【性別】

男女ともに「満足」が最も高く、男性は 40.9%、女性は 44.3%となっている。「やや満足」は、男性は 34.7%、女性は 28.9%である。

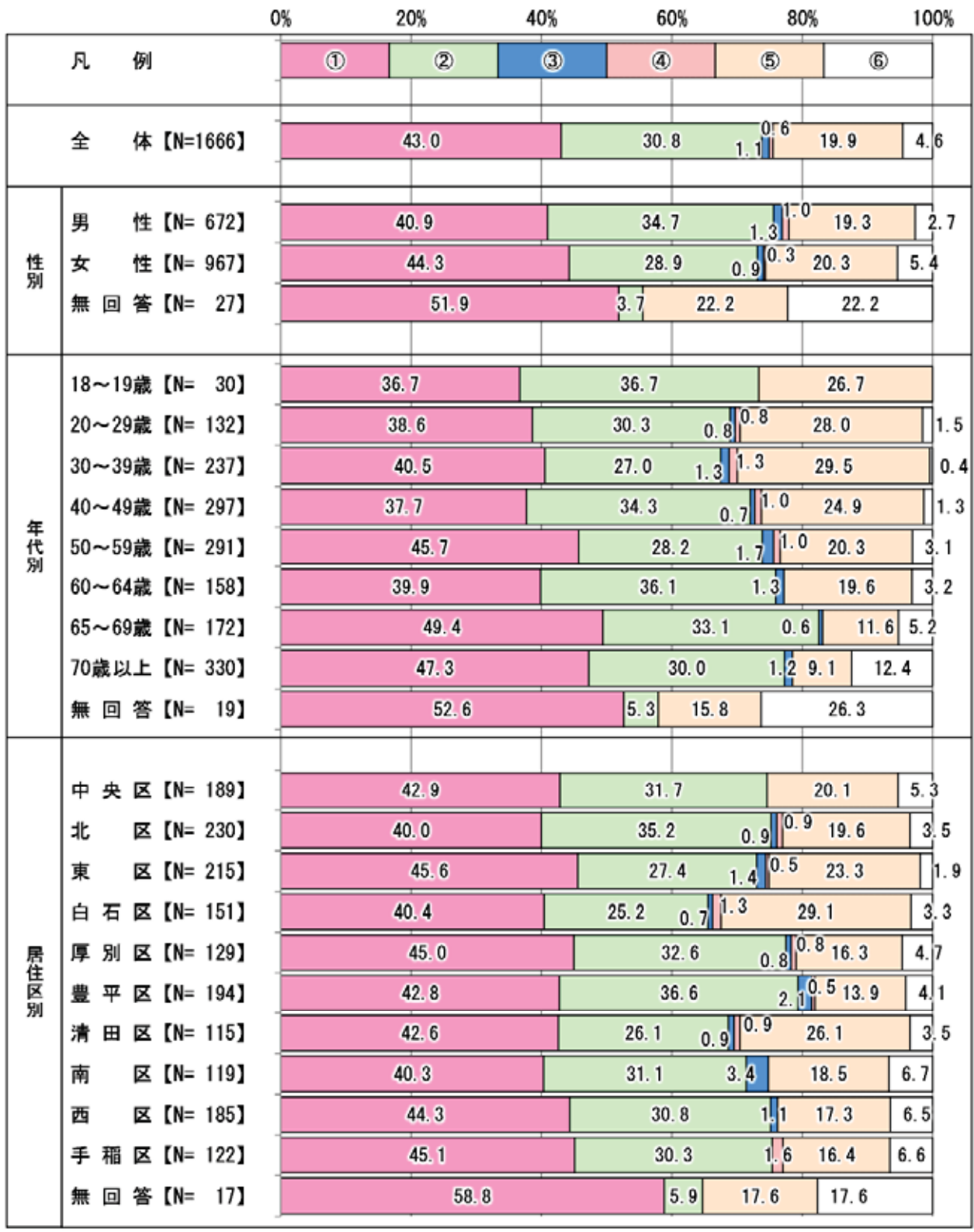
【年代別】

18～19 歳を除く年代で「満足」が最も高く、特に 65～69 歳は 49.4%と最も高い。18～19 歳は、「満足」と「やや満足」がともに 36.7%である。

【居住区別】

全居住区で「満足」が最も高く、東区は 45.6%である。「どちらともいえない」は白石区が最も高く、29.1%である。

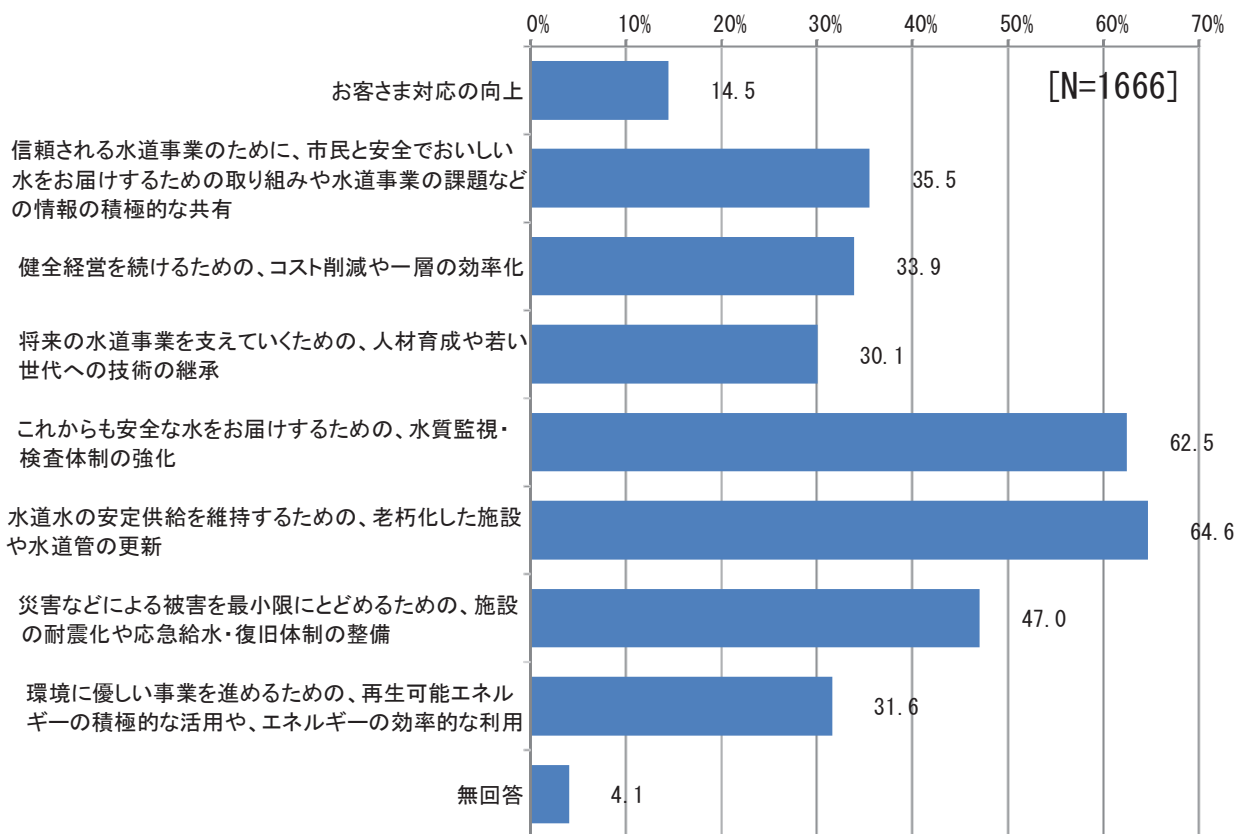
①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満 ⑤どちらともいえない ⑥無回答



・ 水道に関する取り組み

【問27】 あなたは札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。
あてはまるものすべてに○を付けてください。

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が64.6%、「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が62.5%となっている。



【対象者全体】

水道に関する取り組みについては、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が 64.6%と最も高く、次いで「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が 62.5%、「災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備」が 47.0%となっている。

【性別】

男女ともに「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、男性で 65.3%、女性で 64.5%となっている。

【年代別】

18～19 歳 (50.0%)、20 歳代 (58.3%)、30 歳代 (63.7%)、60～64 歳 (70.3%)は「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」が最も高い。40 歳代以降は、「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」が最も高く、特に 65～69 歳で 70.9%となっている。

【居住区別】

「水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新」は、清田区が 72.2%と最も高く、北区が 60.0%と最も低い。「これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化」は、豊平区が 66.5%と最も高く、東区が 56.7%と最も低い。

(単位：%)

		回答者数	お客さま対応の向上	信頼される水道事業のために、市民と安 全でおいしい水をお届けするための取 組みや水道事業の課題などの情報の積 極的な共有	健全経営を続けるための、コスト 削減や一層の効率化	の、人材育成や若い世代への技術 の継承	化、水の安全な水をお届けする ため、水質監視・検査体制の強 化	新水道水の安定供給を維持するた め、老朽化した施設や水道管の更 新	水害などによる被害を最小限にとど めるための、施設の耐震化や応急給 水・復旧体制の整備	や、エネルギーの効率的な利用 や、エネルギーの進められた活用 、再生可能エネルギーの積極的な活用	無回答	計
全体		1,666	14.5	35.5	33.9	30.1	62.5	64.6	47.0	31.6	4.1	323.8
性別	男性	672	16.5	36.8	39.4	33.3	60.3	65.3	42.4	29.0	2.4	325.4
	女性	967	13.1	35.2	29.7	27.9	64.3	64.5	50.5	33.4	4.8	323.4
	無回答	27	11.1	18.5	48.1	25.9	51.9	51.9	37.0	29.6	22.2	296.3
年代別	18～19歳	30	10.0	26.7	20.0	33.3	50.0	36.7	53.3	20.0	-	250.0
	20～29歳	132	25.0	37.1	31.8	19.7	58.3	48.5	46.2	31.1	3.0	300.8
	30～39歳	237	13.5	30.8	30.4	25.3	63.7	61.6	47.3	31.6	1.7	305.9
	40～49歳	297	7.7	29.3	30.0	23.6	58.2	66.7	45.5	31.0	2.4	294.3
	50～59歳	291	13.7	34.4	33.0	31.3	62.5	65.3	44.7	30.2	1.4	316.5
	60～64歳	158	12.0	36.1	39.9	30.4	70.3	70.3	54.4	38.0	4.4	355.7
	65～69歳	172	15.1	41.9	42.4	38.4	65.7	70.9	52.3	35.5	6.4	368.6
	70歳以上	330	19.4	43.3	34.8	38.2	64.2	68.2	44.5	29.4	8.2	350.3
	無回答	19	5.3	15.8	47.4	21.1	36.8	52.6	31.6	31.6	21.1	263.2
居住区別	中央区	189	12.2	36.0	28.0	32.8	61.9	63.5	47.1	32.8	1.1	315.3
	北区	230	13.5	33.9	30.9	26.1	65.2	60.0	48.3	28.7	5.2	311.7
	東区	215	19.5	34.9	39.1	28.8	56.7	65.1	51.6	34.9	1.4	332.1
	白石区	151	19.2	35.8	35.8	28.5	62.9	66.2	47.7	31.8	5.3	333.1
	厚別区	129	14.0	34.1	34.9	31.0	61.2	62.0	44.2	34.1	5.4	320.9
	豊平区	194	15.5	34.0	34.0	28.4	66.5	61.9	44.3	33.5	6.2	324.2
	清田区	115	17.4	33.0	33.9	32.2	64.3	72.2	48.7	27.8	4.3	333.9
	南区	119	13.4	40.3	33.6	34.5	58.0	68.9	50.4	26.9	3.4	329.4
	西区	185	8.1	38.9	33.0	31.4	64.9	65.4	45.4	34.1	2.7	323.8
	手稲区	122	13.1	38.5	36.1	32.0	63.9	67.2	41.0	27.9	5.7	325.4
	無回答	17	5.9	11.8	47.1	23.5	47.1	64.7	41.2	29.4	17.6	288.2

対象者全体の値と比較し10%以上高い

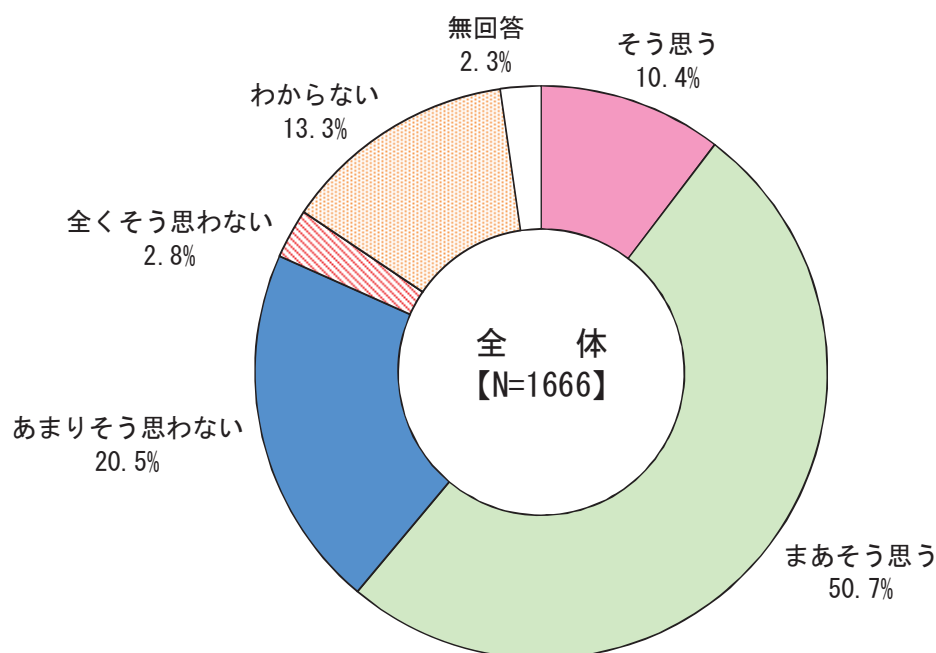
対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) 「産業・活力」について

・ 自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問28】あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「そう思う」(10.4%)と「まあそう思う」(50.7%)を合わせた割合(61.1%)は全体の約6割を占めている。



【対象者全体】

子どもが自然・社会・文化体験をしやすい環境であるかについては、「まあそう思う」が 50.7%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が 20.5%、「そう思う」が 10.4%、「わからない」が 13.3%、「全くそう思わない」が 2.8%となっている。

【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が 54.2%、女性が 48.4%となっている。「そう思う」は男性が 11.2%と女性の 9.9%と比較し若干高い。

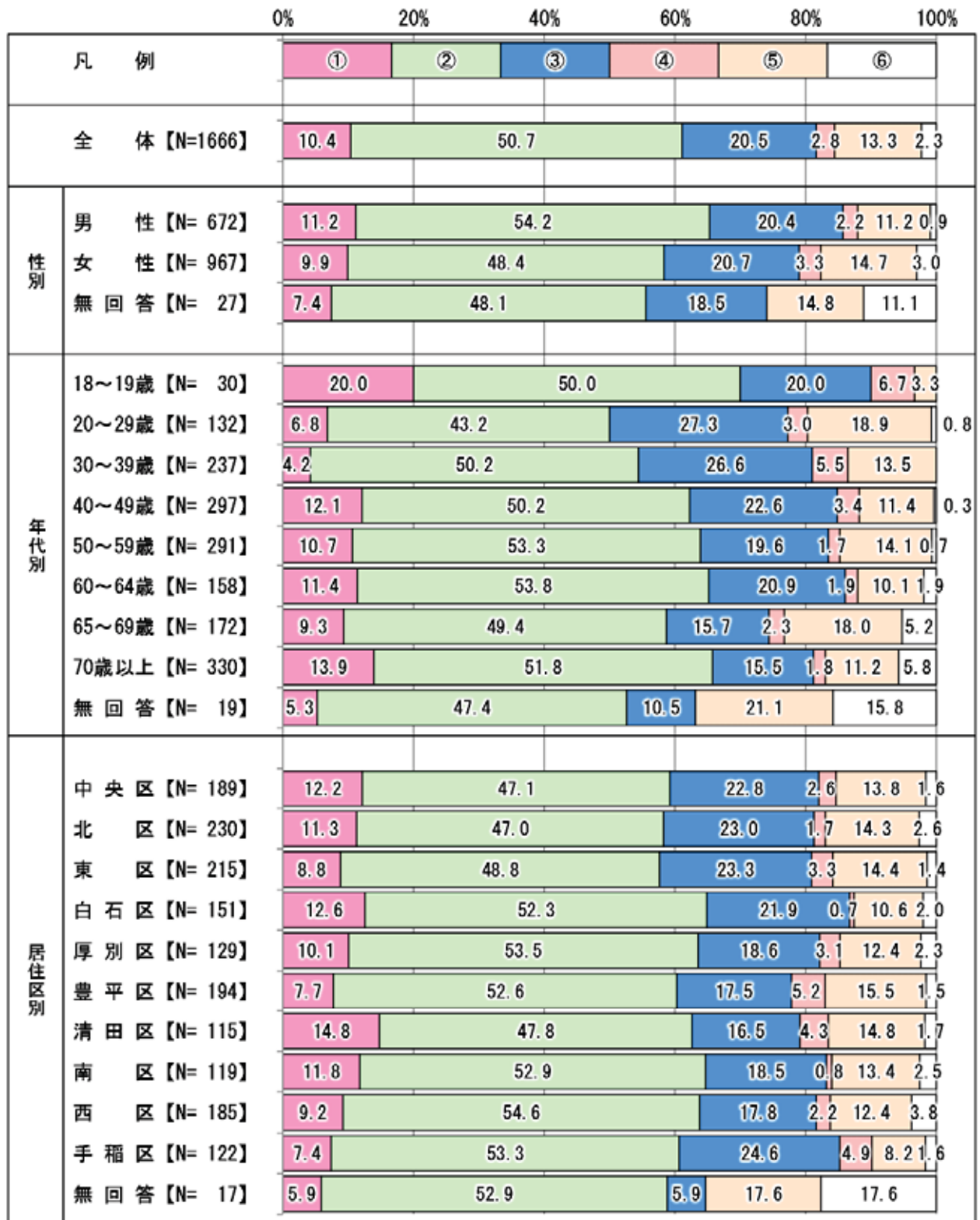
【年代別】

全年代で「まあそう思う」が最も高く、20 歳代(43.2%)、65～69 歳(49.4%)を除いて 5 割を超えている。

【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、中央区(47.1%)、北区(47.0%)、東区(48.8%)、清田区(47.8%)を除いて 5 割を超えている。「そう思う」は清田区が 14.8%と他の居住区と比較し若干高い。

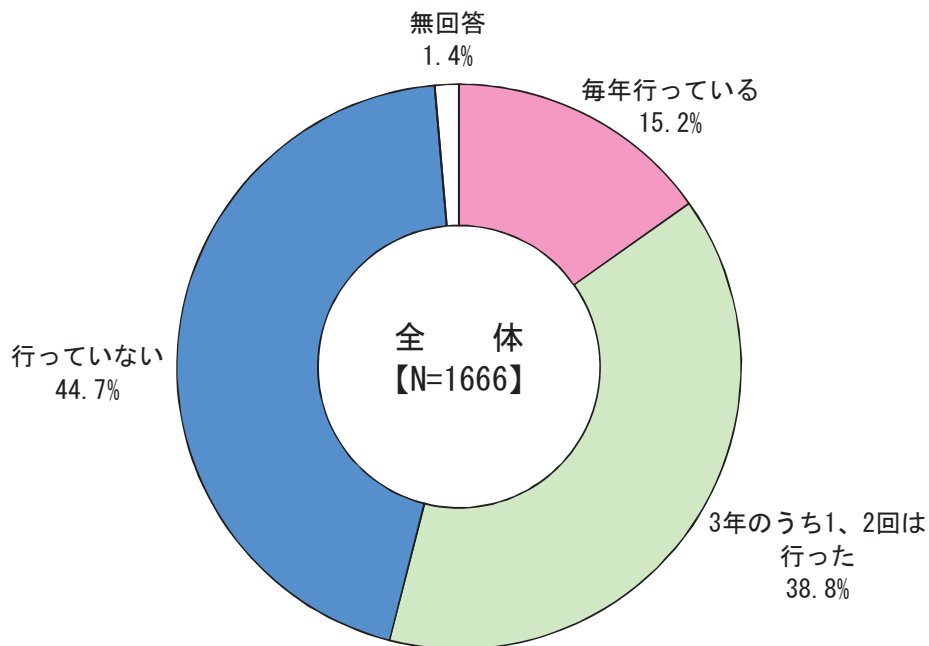
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



・ さっぽろ雪まつり会場への来場

【問29】 この3年間で、「さっぽろ雪まつり」（大通・すすきの・つど一む会場のいずれか）に来場したことはありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

さっぽろ雪まつり会場への来場については、「行っていない」が 44.7%、「3 年のうち 1、2 回は行った」が 38.8%、「毎年行っている」が 15.2%となっている。



【対象者全体】

さっぽろ雪まつり会場への来場については、「行っていない」が 44.7%と最も高く、次いで「3年のうち1、2回は行った」が 38.8%、「毎年行っている」が 15.2%となっている。

【性別】

男女ともに「行っていない」が最も高く、男性が 48.1%、女性が 42.1%となっている。「3年のうち1、2回は行った」は女性が 40.7%と、男性の 36.2%と比較して若干高い。

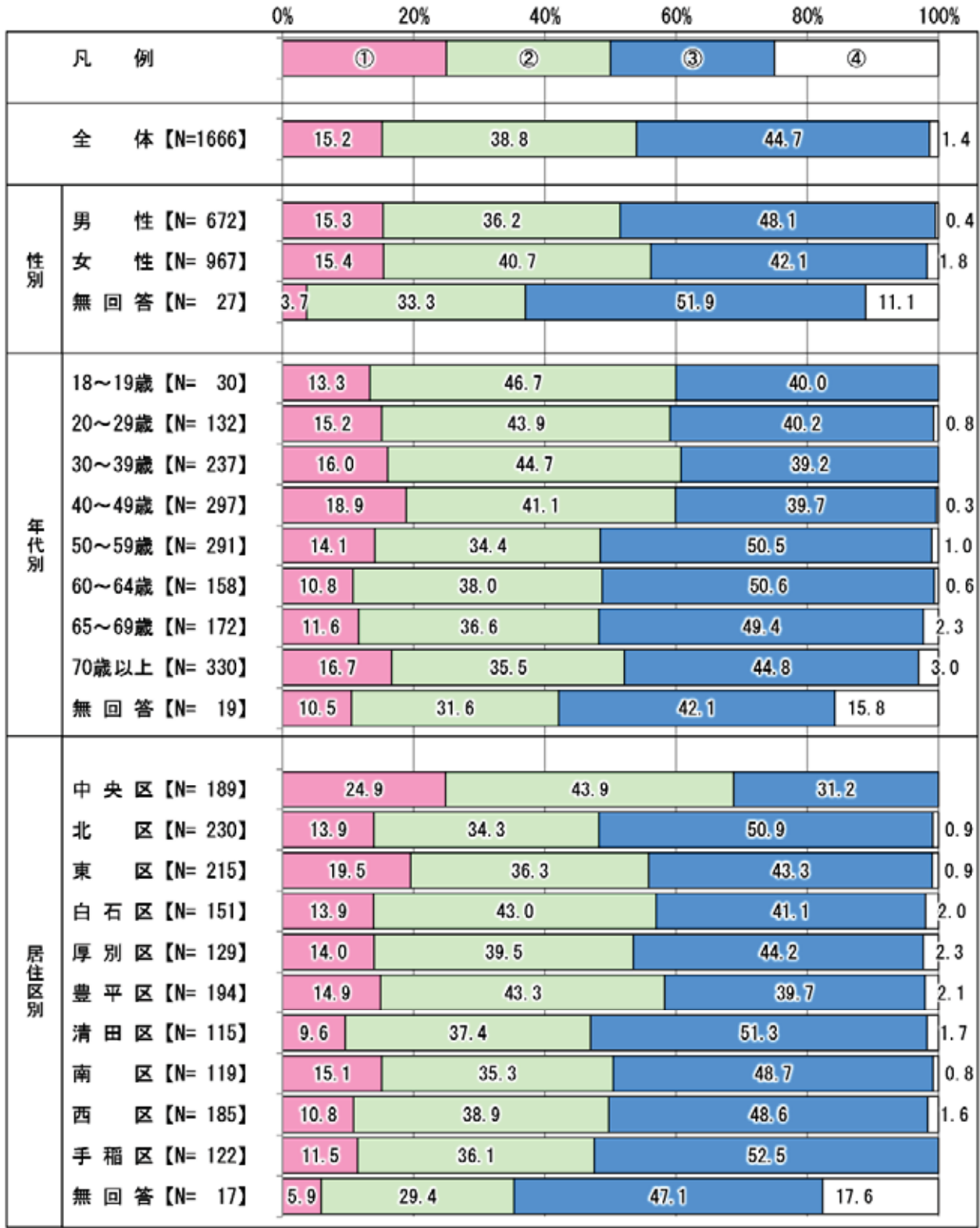
【年代別】

「3年のうち1、2回は行った」は 18～19 歳が 46.7%と最も高く、年代が高くなるにつれて減少傾向にある。「行っていない」は 10 歳代～40 歳代で約 4 割であるが、50 歳代～60 歳代で約 5 割を占めている。

【居住区別】

中央区は「毎年行っている」が 24.9%と、唯一 2 割を超えている居住区である。北区 (50.9%)、清田区 (51.3%)、手稲区 (52.5%) は「行っていない」が 5 割を超えている。

①毎年行っている ②3年のうち1、2回は行った ③行っていない ④無回答

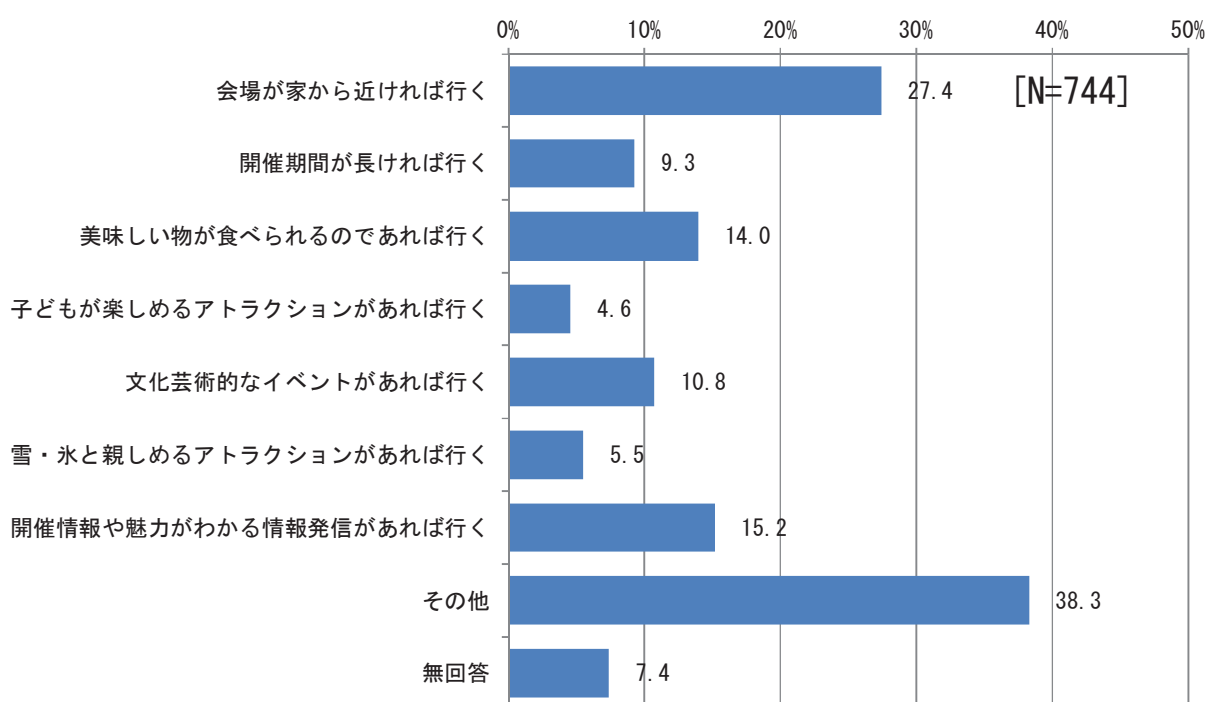


・ 来場の機会拡大

＜この設問は問 29 で「3. 行っていない」と答えた方にお聞きします。＞

【問30】 雪まつりがどうなったら行こうと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

来場の機会拡大については、「会場が家から近ければ行く」が 27.4%、「開催情報や魅力がわかる情報発信があれば行く」が 15.2%となっている。



【対象者全体】

来場の機会拡大については、「会場が家から近ければ行く」が 27.4%と最も高く、次いで「開催情報や魅力がわかる情報発信があれば行く」が 15.2%、「美味しい物が食べられるのであれば行く」が 14.0%となっている。

【性別】

男女ともに「会場が家から近ければ行く」が最も高く、男性は 26.6%、女性は 28.3%である。

【年代別】

20 歳代を除く年代で「会場が家から近ければ行く」が最も高い。「美味しい物が食べられるのであれば行く」と「子どもが楽しめるアトラクションがあれば行く」は 30 歳代が最も高く、それぞれ 26.9%、20.4%である。

【居住区別】

「会場が家から近ければ行く」は、厚別区と手稲区が高く、それぞれ 38.6%、39.1%である。一方、中央区と白石区は低く、それぞれ 15.3%、16.1%に留まる。

(単位：%)

	回答者数	会場が家から近ければ行く	開催期間が長ければ行く	美味しい物が食べられるのであれば行く	子どもが楽しめるアトラクションがあれば行く	文化芸術的なイベントがあれば行く	雪・氷と親しめるアトラクションがあれば行く	開催情報や魅力がわかる情報発信があれば行く	その他	無回答	計	
全体	744	27.4	9.3	14.0	4.6	10.8	5.5	15.2	38.3	7.4	132.4	
性別	男性	323	26.6	8.0	16.4	3.4	13.0	5.9	16.7	34.7	7.1	131.9
	女性	407	28.3	10.3	12.0	5.7	9.3	5.2	14.3	40.3	7.4	132.7
	無回答	14	21.4	7.1	14.3	-	-	7.1	7.1	64.3	14.3	135.7
年代別	18～19歳	12	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	25.0	33.3	-	141.7
	20～29歳	53	15.1	13.2	20.8	7.5	3.8	11.3	17.0	45.3	1.9	135.8
	30～39歳	93	31.2	17.2	26.9	20.4	10.8	12.9	15.1	24.7	1.1	160.2
	40～49歳	118	21.2	12.7	19.5	4.2	9.3	5.1	16.1	43.2	3.4	134.7
	50～59歳	147	23.8	9.5	15.0	1.4	16.3	8.2	19.7	36.7	8.2	138.8
	60～64歳	80	22.5	3.8	7.5	1.3	17.5	1.3	18.8	33.8	15.0	121.3
	65～69歳	85	34.1	8.2	8.2	2.4	8.2	1.2	14.1	37.6	9.4	123.5
	70歳以上	148	35.8	2.7	4.7	0.7	6.8	1.4	7.4	45.3	10.1	114.9
	無回答	8	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	37.5	25.0	150.0
居住区別	中央区	59	15.3	3.4	11.9	1.7	15.3	1.7	20.3	37.3	11.9	118.6
	北区	117	29.9	9.4	18.8	5.1	12.0	2.6	12.8	32.5	10.3	133.3
	東区	93	24.7	11.8	11.8	3.2	9.7	6.5	18.3	41.9	9.7	137.6
	白石区	62	16.1	8.1	17.7	4.8	9.7	4.8	16.1	43.5	6.5	127.4
	厚別区	57	38.6	8.8	15.8	5.3	12.3	7.0	15.8	29.8	3.5	136.8
	豊平区	77	18.2	14.3	14.3	2.6	9.1	6.5	18.2	40.3	6.5	129.9
	清田区	59	33.9	11.9	10.2	3.4	10.2	8.5	10.2	39.0	3.4	130.5
	南区	58	34.5	10.3	8.6	5.2	8.6	5.2	12.1	48.3	5.2	137.9
	西区	90	25.6	3.3	13.3	5.6	11.1	5.6	12.2	43.3	7.8	127.8
	手稲区	64	39.1	10.9	14.1	9.4	10.9	7.8	17.2	28.1	3.1	140.6
	無回答	8	37.5	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	37.5	25.0	150.0

対象者全体の値と比較し10%以上高い

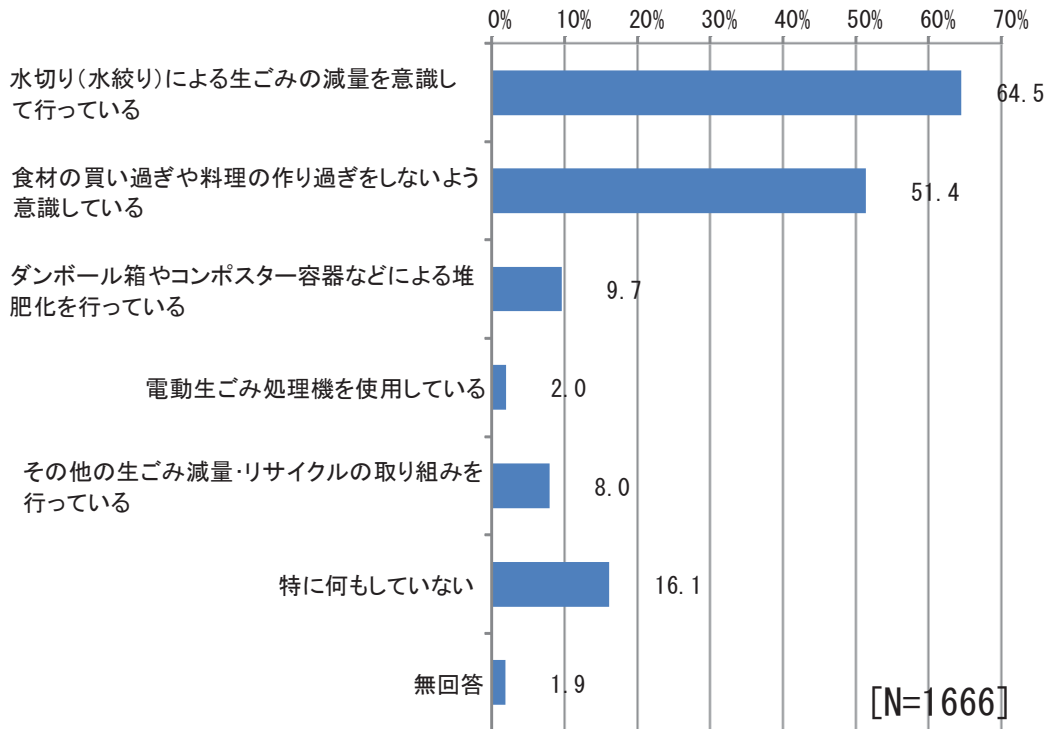
対象者全体の値と比較し10%以上低い

(3) 「低炭素社会・エネルギー転換」について

・ 生ごみ減量・リサイクルの取り組み

【問31】 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」(64.5%)が最も高い。



【対象者全体】

生ごみ減量・リサイクルの取り組みについては、「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が 64.5%と最も高く、次いで「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が 51.4%となっている。

【性別】

男性は「特に何もしていない」が 21.0%と女性の 13.0%と比較し高い。女性は「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」が 56.7%と男性の 44.5%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高く、60～64歳では 72.8%、70歳以上では 75.2%と他の年代と比較し高い。「食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している」は、40歳代以降で5割を超えている。18～19歳は 26.7%と他の年代と比較して低い。「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」は、70歳以上が 16.1%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「水切り(水絞り)による生ごみの減量を意識して行っている」が最も高く、西区は 70.8%となっている。南区では「ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている」が 16.8%、「その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている」が 12.6%とそれぞれ他の居住区と比較し高い。

(単位：%)

		回答者数	水の減量を意識して行っている	食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している	ダンボール箱やコンポストなどによる堆肥化を行っている	電動生ごみ処理機を使用している	その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている	特に何もしていない	無回答	計
全体		1,666	64.5	51.4	9.7	2.0	8.0	16.1	1.9	153.6
性別	男性	672	58.8	44.5	9.4	2.7	7.7	21.0	1.6	145.7
	女性	967	68.3	56.7	9.8	1.6	8.2	13.0	1.7	159.2
	無回答	27	70.4	37.0	11.1	-	7.4	7.4	18.5	151.9
年代別	18～19歳	30	63.3	26.7	6.7	-	6.7	26.7	-	130.0
	20～29歳	132	48.5	42.4	5.3	0.8	2.3	27.3	-	126.5
	30～39歳	237	54.4	49.8	5.5	3.0	3.8	21.5	-	138.0
	40～49歳	297	58.6	51.2	5.1	1.3	4.7	21.9	0.3	143.1
	50～59歳	291	67.0	53.6	8.2	3.1	7.2	14.1	1.4	154.6
	60～64歳	158	72.8	52.5	12.7	2.5	7.6	9.5	1.9	159.5
	65～69歳	172	69.2	54.7	15.7	0.6	9.9	12.8	4.1	166.9
	70歳以上	330	75.2	55.5	15.8	2.1	16.1	8.8	3.9	177.3
	無回答	19	57.9	36.8	5.3	-	10.5	10.5	21.1	142.1
居住区別	中央区	189	62.4	55.6	7.4	2.1	6.9	18.0	1.1	153.4
	北区	230	67.4	50.4	10.0	0.9	5.7	15.2	0.9	150.4
	東区	215	58.1	52.6	7.9	1.9	4.2	20.9	1.4	147.0
	白石区	151	55.6	47.7	9.9	2.0	11.3	19.2	0.7	146.4
	厚別区	129	67.4	57.4	13.2	2.3	10.1	14.7	3.1	168.2
	豊平区	194	63.4	48.5	9.8	4.1	5.7	19.1	2.6	153.1
	清田区	115	65.2	50.4	6.1	2.6	10.4	13.9	2.6	151.3
	南区	119	68.1	53.8	16.8	-	12.6	10.1	0.8	162.2
	西区	185	70.8	53.0	8.1	2.2	9.2	13.5	2.7	159.5
	手稲区	122	70.5	46.7	10.7	1.6	10.7	11.5	1.6	153.3
	無回答	17	52.9	35.3	5.9	-	-	17.6	23.5	135.3

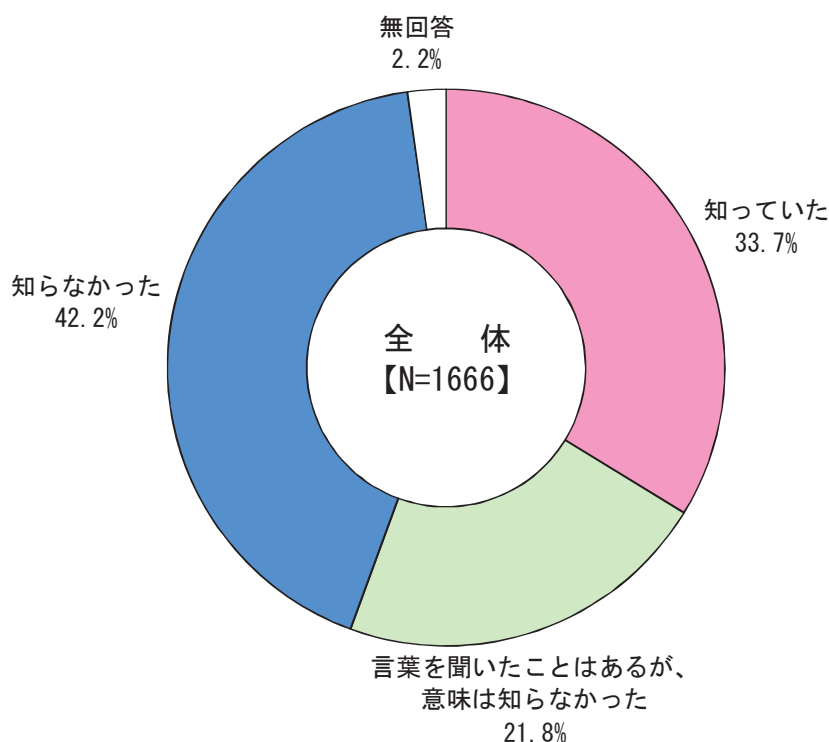
対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

・ 「生物多様性」の認知度

【問32】 「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合って生きていることをいい、空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性により支えられています。あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

「生物多様性」の認知度については、「知らなかった」が42.2%、「知っていた」が33.7%である。



【対象者全体】

「生物多様性」の認知度については、「知らなかった」が42.2%と最も高く、次いで「知っていた」が33.7%、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が21.8%となっている。

【性別】

男性は「知っていた」が40.8%と最も高く、女性は「知らなかった」が45.7%と最も高い。

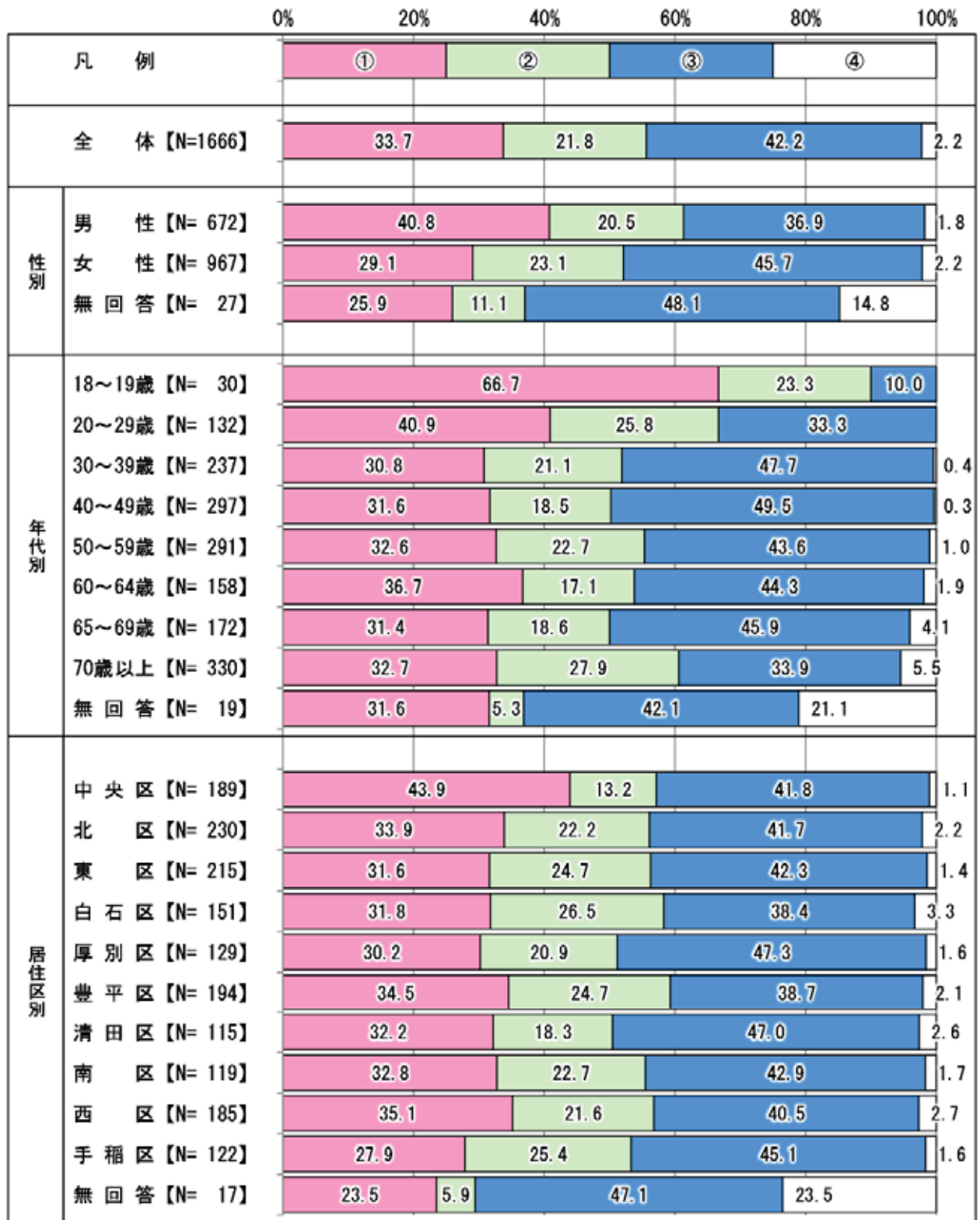
【年代別】

18～19歳、20歳代は「知っていた」が最も高く、特に18～19歳では66.7%となっている。30歳代以降は「知らなかった」が最も高く、40歳代では49.5%となっている。

【居住区別】

中央区を除く居住区は「知らなかった」が最も高く、特に厚別区では47.3%となっている。中央区は「知っていた」が最も高く、43.9%となっている。

①知っていた ②言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった ③知らなかった ④無回答

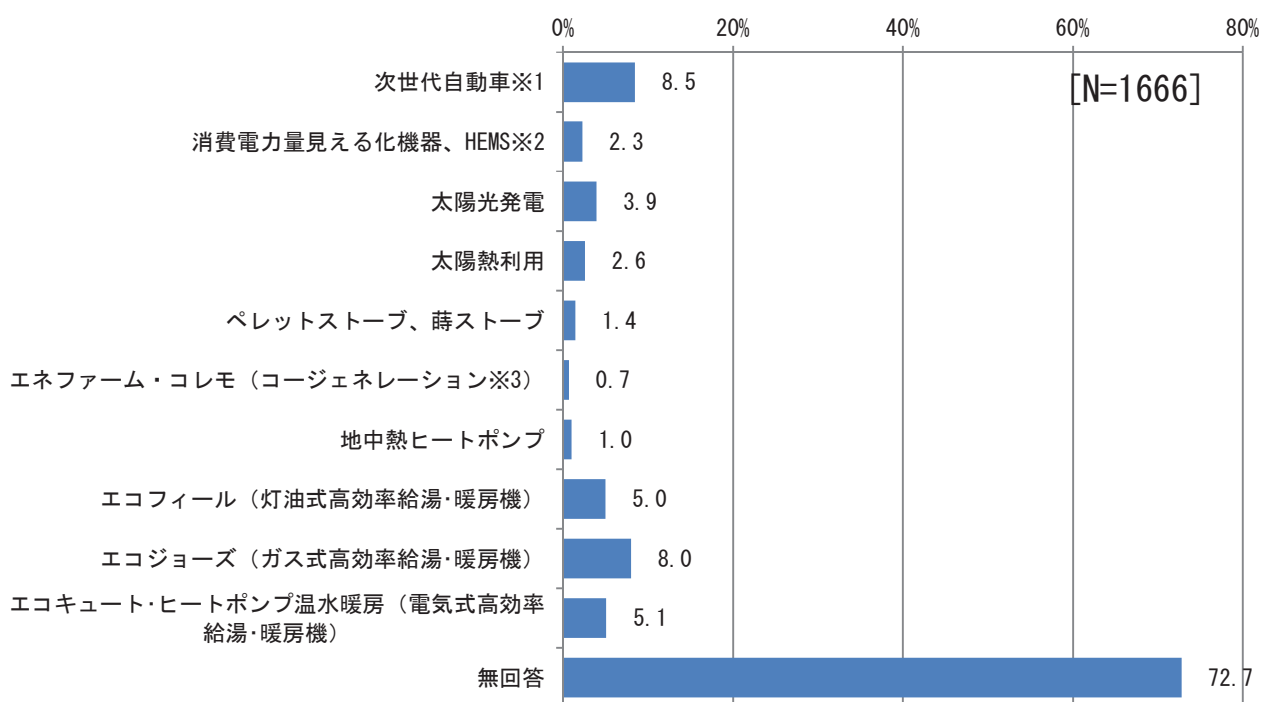


・ 環境配慮活動について

【問33】 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

- (1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

再生可能エネルギー機器などの導入状況については、「次世代自動車」(8.5%)が最も高い。



※¹次世代自動車：具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※²HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※³コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

【対象者全体】

再生可能エネルギー機器などの導入状況については、「次世代自動車」が 8.5%と最も高く、次いで「エコジョーズ (ガス式高効率給湯・暖房機)」が 8.0%、「エコキュート・ヒートポンプ温水暖房 (電気式高効率給湯・暖房機)」が 5.1%となっている。

【性別】

男性は「次世代自動車」が 10.9%と女性の 6.9%と比較し高い。女性は「エコジョーズ (ガス式高効率給湯・暖房機)」が 9.4%と男性の 6.1%と比較し高い。

【年代別】

18～19歳、50歳代、60～64歳では「次世代自動車」、30歳代、40歳代、では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」、70歳以上では「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が最も高い。

【居住区別】

北区、厚別区、清田区、手稲区では「次世代自動車」が最も高い。中央区、白石区では「エコジョーズ(ガス式高効率給湯・暖房機)」が最も高い。南区では「エコフィール(灯油式高効率給湯・暖房機)」が11.8%となっている。

(単位：%)

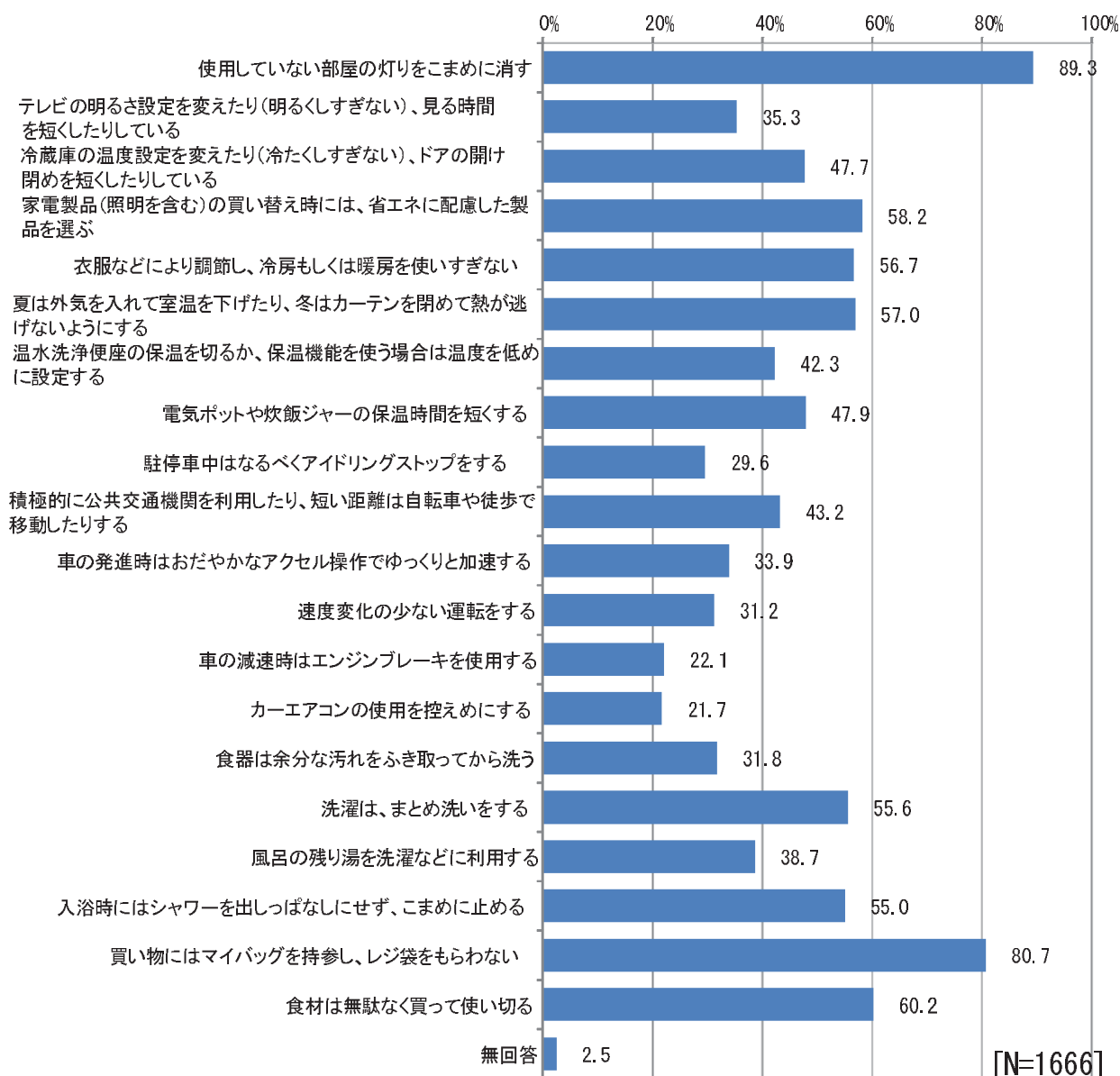
		回答者数	次世代自動車※1	H E M S※2 消費電力量見える化機器、	太陽光発電	太陽熱利用	ペレットストーブ、薪ストーブ	エネファーム・コレモ(コー ジエネレーション※3)	地中熱ヒートポンプ	エコフィール(灯油式高効率給 湯・暖房機)	エコジョーズ(ガス式高効率給 湯・暖房機)	エコキュート・ヒートポンプ 水暖房(電気式高効率給湯・暖 房機)	無回答	計
全体		1,666	8.5	2.3	3.9	2.6	1.4	0.7	1.0	5.0	8.0	5.1	72.7	111.2
性別	男性	672	10.9	2.1	3.3	2.4	1.2	0.7	0.6	4.9	6.1	4.6	71.7	108.5
	女性	967	6.9	2.4	4.2	2.7	1.7	0.7	1.1	5.2	9.4	5.4	73.4	113.1
	無回答	27	3.7	3.7	7.4	3.7	-	-	3.7	-	3.7	7.4	74.1	107.4
年代別	18～19歳	30	10.0	-	-	-	-	-	-	6.7	3.3	-	83.3	103.3
	20～29歳	132	6.1	3.8	3.0	2.3	1.5	0.8	1.5	0.8	8.3	4.5	75.8	108.3
	30～39歳	237	6.8	1.3	2.5	1.7	1.7	0.8	0.8	2.1	11.0	8.4	72.6	109.7
	40～49歳	297	8.1	1.3	2.7	0.7	0.3	0.7	0.3	2.4	11.4	5.7	73.4	107.1
	50～59歳	291	10.7	2.7	4.5	2.4	2.4	0.7	0.7	3.8	5.5	4.8	73.2	111.3
	60～64歳	158	11.4	3.2	7.0	3.2	-	1.9	2.5	8.2	3.8	3.8	71.5	116.5
	65～69歳	172	9.9	2.9	5.2	2.9	3.5	0.6	0.6	6.4	9.3	4.1	69.8	115.1
	70歳以上	330	6.7	2.1	3.6	4.5	1.2	0.3	0.9	10.0	7.0	4.2	71.8	112.4
無回答		19	10.5	5.3	10.5	10.5	-	-	5.3	-	-	5.3	73.7	121.1
居住区別	中央区	189	7.4	1.6	1.6	2.6	1.1	-	-	3.2	10.6	5.3	73.5	106.9
	北区	230	10.0	2.6	5.7	3.5	2.2	0.9	0.9	3.5	6.5	7.0	70.0	112.6
	東区	215	4.7	1.4	3.7	0.9	-	0.5	0.5	2.3	6.0	5.1	79.5	104.7
	白石区	151	6.6	1.3	2.6	2.6	2.0	-	-	4.0	12.6	3.3	72.8	107.9
	厚別区	129	10.9	3.1	3.1	0.8	0.8	0.8	1.6	8.5	9.3	5.4	65.1	109.3
	豊平区	194	7.7	2.1	3.6	2.6	1.0	0.5	1.0	4.1	8.2	4.6	77.3	112.9
	清田区	115	14.8	1.7	3.5	-	-	2.6	-	3.5	10.4	5.2	67.8	109.6
	南区	119	9.2	2.5	7.6	5.0	4.2	0.8	3.4	11.8	2.5	4.2	68.1	119.3
	西区	185	5.9	3.2	2.7	2.2	0.5	0.5	0.5	6.5	4.9	5.4	75.7	108.1
	手稲区	122	12.3	3.3	5.7	5.7	4.1	1.6	2.5	7.4	11.5	4.1	69.7	127.9
	無回答		17	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-	5.9	-	-	5.9	76.5

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

エコライフの取り組みの実践状況については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」(89.3%)が最も高く、約9割となっている。



【対象者全体】

エコライフの取り組みの実践状況については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が 89.3%と最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が 80.7%、「食材は無駄なく買って使い切る」が 60.2%となっている。

【性別】

男性は「車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する」が 44.6%と女性の 26.6%と比較し高い。女性は「電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする」が 57.6%と男性の 34.7%と比較し高い。

【年代別】

全年代で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高く、9割程度となっている。60～64歳では「駐車中はなるべくアイドリングストップをする」が40.5%、70歳以上では「食器は余分な汚れをふき取ってから洗う」が45.5%とそれぞれ他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が最も高く、9割程度となっている。手稲区では「駐車中はなるべくアイドリングストップをする」が42.6%、「車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する」が45.9%、「カーエアコンの使用を控えめにする」が34.4%と他の居住区と比較し高い。

		回答者数	使用していない部屋の灯りをこまめに消す	テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりしている	冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりしている	家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ	衣服などにより調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない	夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする	温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する	電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする	駐車中はなるべくアイドリングストップをする	積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
全体		1,666	89.3	35.3	47.7	58.2	56.7	57.0	42.3	47.9	29.6	43.2
性別	男性	672	87.5	31.0	42.7	56.1	49.3	54.0	35.6	34.7	38.7	41.5
	女性	967	91.0	38.5	51.5	60.0	62.2	59.2	47.1	57.6	23.8	45.0
	無回答	27	70.4	29.6	37.0	48.1	44.4	51.9	37.0	29.6	11.1	18.5
年代別	18～19歳	30	83.3	23.3	30.0	10.0	60.0	56.7	13.3	6.7	6.7	43.3
	20～29歳	132	80.3	28.8	25.8	25.8	50.0	56.1	23.5	37.1	13.6	43.2
	30～39歳	237	92.0	35.9	44.7	49.8	49.4	56.5	42.2	51.5	27.4	32.9
	40～49歳	297	87.9	36.4	49.8	58.9	58.6	52.2	50.5	55.9	28.6	39.1
	50～59歳	291	92.8	35.7	48.8	64.9	57.7	54.0	39.5	50.2	34.0	41.6
	60～64歳	158	86.7	34.2	51.9	63.9	60.8	59.5	44.3	46.2	40.5	48.1
	65～69歳	172	94.8	31.4	51.7	70.9	58.7	55.8	39.0	45.3	35.5	48.8
	70歳以上	330	88.8	40.0	53.3	66.1	58.8	63.9	47.3	47.0	28.8	51.2
無回答		19	73.7	31.6	47.4	52.6	52.6	57.9	57.9	36.8	21.1	26.3
居住区別	中央区	189	90.5	36.5	50.8	56.1	58.2	58.2	42.9	47.1	25.9	57.7
	北区	230	91.3	30.0	43.5	50.9	49.1	52.2	35.7	50.0	22.2	38.3
	東区	215	87.4	35.8	47.9	61.4	60.0	56.3	38.1	41.9	30.2	40.0
	白石区	151	91.4	37.7	49.0	58.3	58.3	51.0	44.4	47.0	25.8	35.8
	厚別区	129	89.1	33.3	48.1	63.6	50.4	47.3	39.5	51.9	32.6	48.8
	豊平区	194	84.0	34.5	44.3	52.1	53.1	58.8	45.4	52.1	25.8	46.9
	清田区	115	87.8	33.0	47.8	68.7	47.8	51.3	47.0	42.6	33.9	39.1
	南区	119	92.4	33.6	51.3	58.8	68.9	64.7	37.0	50.4	42.0	35.3
	西区	185	89.7	38.9	47.0	61.6	62.2	63.2	47.0	46.5	28.6	46.5
	手稲区	122	91.8	41.8	51.6	59.8	63.1	68.0	47.5	52.5	42.6	41.8
無回答		17	76.5	29.4	47.1	47.1	41.2	58.8	58.8	35.3	17.6	23.5

■ 対象者全体の値と比較し10%以上高い

■ 対象者全体の値と比較し10%以上低い

		車の発進時はおだやかなアクセ ル操作でゆつくりと加速する	速度変化の少ない運転をする	車の減速時はエンブレキ を使用する	カーエアコンの使用を控えめに する	食器は余分な汚れをふき取つて から洗う	洗濯は、まとめ洗いを する	風呂の残り湯を洗濯などに利用 する	入浴時にはシャワーを出しつば なしにせず、こまめに止める	買い物にはマイバッグを持参 し、レジ袋をもらわない	食材は無駄なく買って使い切る	無回答	計
全体		33.9	31.2	22.1	21.7	31.8	55.6	38.7	55.0	80.7	60.2	2.5	940.5
性別	男性	44.6	41.5	31.5	25.6	25.3	49.3	36.5	50.6	74.3	52.5	2.2	904.9
	女性	26.6	24.2	15.8	19.0	36.4	60.1	40.1	58.2	85.7	65.8	2.2	969.8
	無回答	29.6	25.9	11.1	22.2	29.6	51.9	40.7	51.9	63.0	51.9	22.2	777.8
年代別	18～19歳	3.3	3.3	3.3	3.3	10.0	36.7	33.3	53.3	56.7	33.3	3.3	573.3
	20～29歳	23.5	22.7	18.2	12.9	18.2	51.5	25.8	43.9	70.5	53.0	0.8	725.0
	30～39歳	32.5	30.8	23.2	17.7	21.1	59.5	32.5	42.2	75.9	62.4	1.3	881.4
	40～49歳	33.7	31.3	20.2	22.2	29.6	49.5	40.1	48.8	79.8	56.9	1.0	931.0
	50～59歳	41.2	38.1	25.1	25.4	28.5	49.1	39.2	58.8	85.2	59.5	1.0	970.4
	60～64歳	41.1	37.3	27.2	25.9	38.6	58.2	41.1	61.4	88.0	59.5	2.5	1017.1
	65～69歳	42.4	34.9	27.3	28.5	38.4	59.3	44.8	61.6	83.7	63.4	4.1	1020.3
	70歳以上	27.9	26.7	19.1	20.6	45.5	64.2	42.4	64.8	83.6	66.7	4.8	1011.5
	無回答	31.6	26.3	10.5	21.1	26.3	52.6	42.1	52.6	57.9	52.6	21.1	852.6
居住区別	中央区	30.2	25.9	21.2	14.8	33.3	50.8	33.9	52.4	72.0	59.3	1.6	919.0
	北区	32.2	27.8	18.3	14.8	28.7	55.7	40.9	49.6	80.4	53.5	1.7	866.5
	東区	33.5	31.6	21.9	22.8	29.3	58.1	37.7	52.1	81.9	60.0	1.4	929.3
	白石区	34.4	35.1	17.2	21.9	33.8	61.6	34.4	52.3	82.8	56.3	-	928.5
	厚別区	32.6	31.0	20.2	22.5	25.6	56.6	46.5	56.6	83.7	62.0	3.1	945.0
	豊平区	27.3	26.3	19.1	19.1	30.9	58.8	32.5	49.5	81.4	61.3	4.6	907.7
	清田区	40.0	35.7	30.4	28.7	23.5	46.1	38.3	58.3	80.9	59.1	4.3	944.3
	南区	37.8	31.1	31.1	22.7	36.1	56.3	37.0	63.9	81.5	70.6	1.7	1004.2
	西区	34.1	34.6	21.6	25.4	41.1	56.2	42.7	61.6	84.3	64.3	2.7	1000.0
	手稲区	45.9	40.2	30.3	34.4	36.1	53.3	45.9	63.9	82.8	62.3	2.5	1058.2
	無回答	29.4	23.5	5.9	17.6	23.5	47.1	41.2	52.9	58.8	47.1	23.5	805.9

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

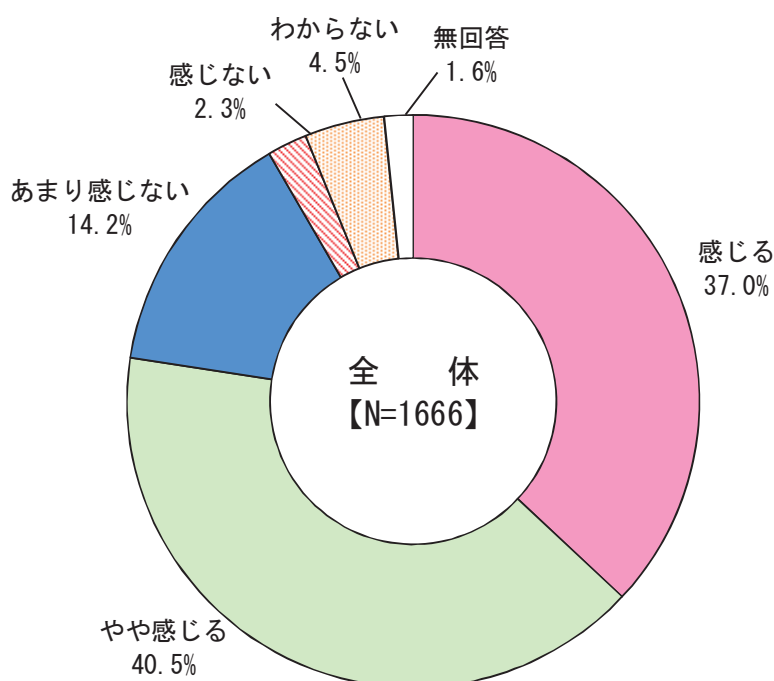
(4) 将来を見据えた魅力ある都市の整備

・ 都心部の「にぎわい」について

【問34】あなたは、札幌の都心（右図の点線で囲まれた部分参照）に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



都心部の「にぎわい」については、「感じる」(37.0%)と「やや感じる」(40.5%)を合わせた割合(77.5%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

都心部の「にぎわい」については、「やや感じる」が40.5%と最も高く、次いで「感じる」が37.0%、「あまり感じない」が14.2%、「わからない」が4.5%、「感じない」が2.3%となっている。

【性別】

男女ともに「やや感じる」が最も高く、男性が39.7%、女性が41.8%となっている。「感じる」は男性が37.2%、女性が37.4%となっている。

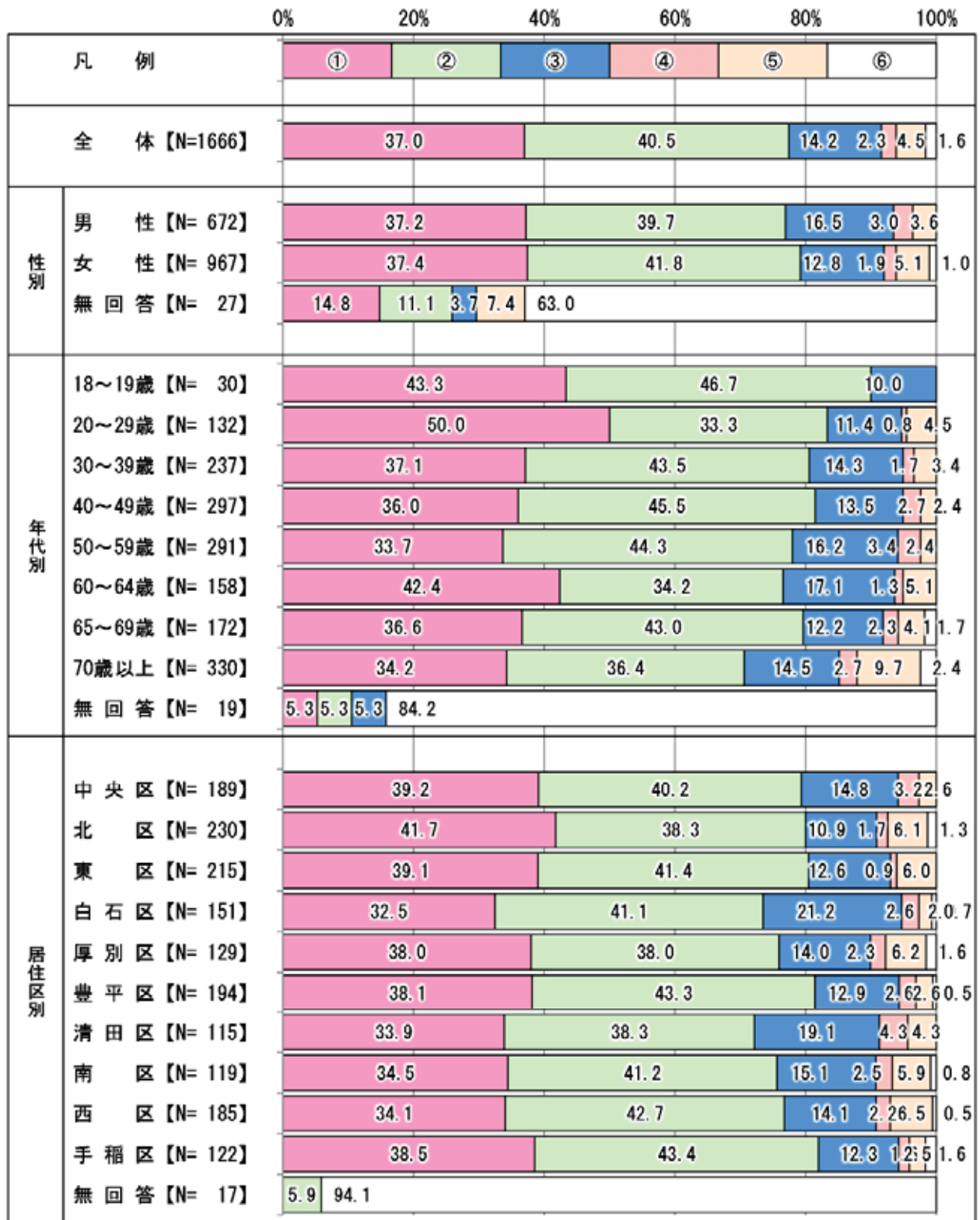
【年代別】

全年代で「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合が高く、特に18～19歳では90.0%と他の年代と比較し高い。「あまり感じない」は60～64歳では17.1%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

北区、厚別区を除く全ての居住区で「やや感じる」が最も高く、4割程度となっている。北区では「感じる」が最も高く、41.7%となっている。厚別区では「感じる」と「やや感じる」が同率の38.0%となっている。

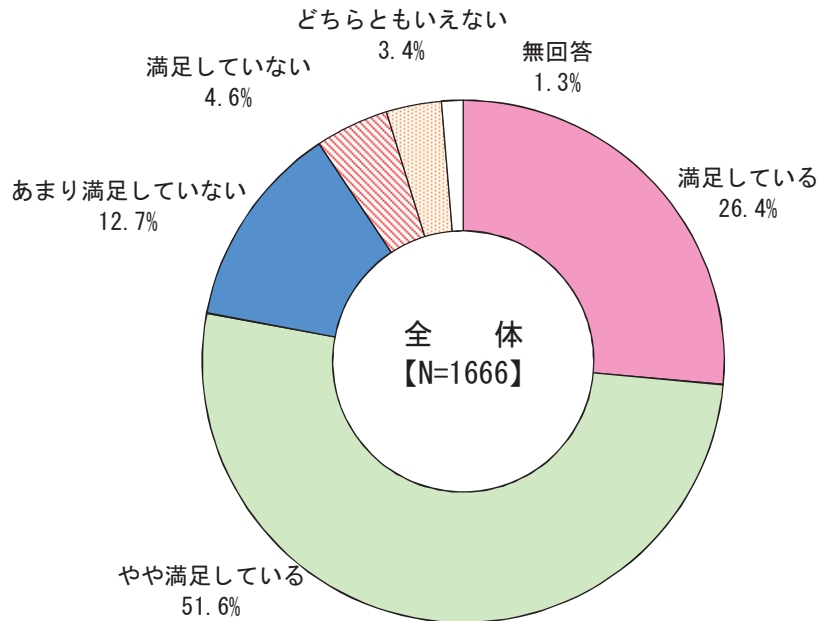
①感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④感じない ⑤わからない ⑥無回答



・ 住環境の満足度

【問35】 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

住環境の満足度については、「満足している」(26.4%)と「やや満足している」(51.6%)を合わせた割合(78.0%)が全体の約8割を占めている。



【対象者全体】

住環境の満足度については、「やや満足している」が51.6%と最も高く、次いで「満足している」が26.4%、「あまり満足していない」が12.7%、「満足していない」が4.6%、「どちらともいえない」が3.4%となっている。

【性別】

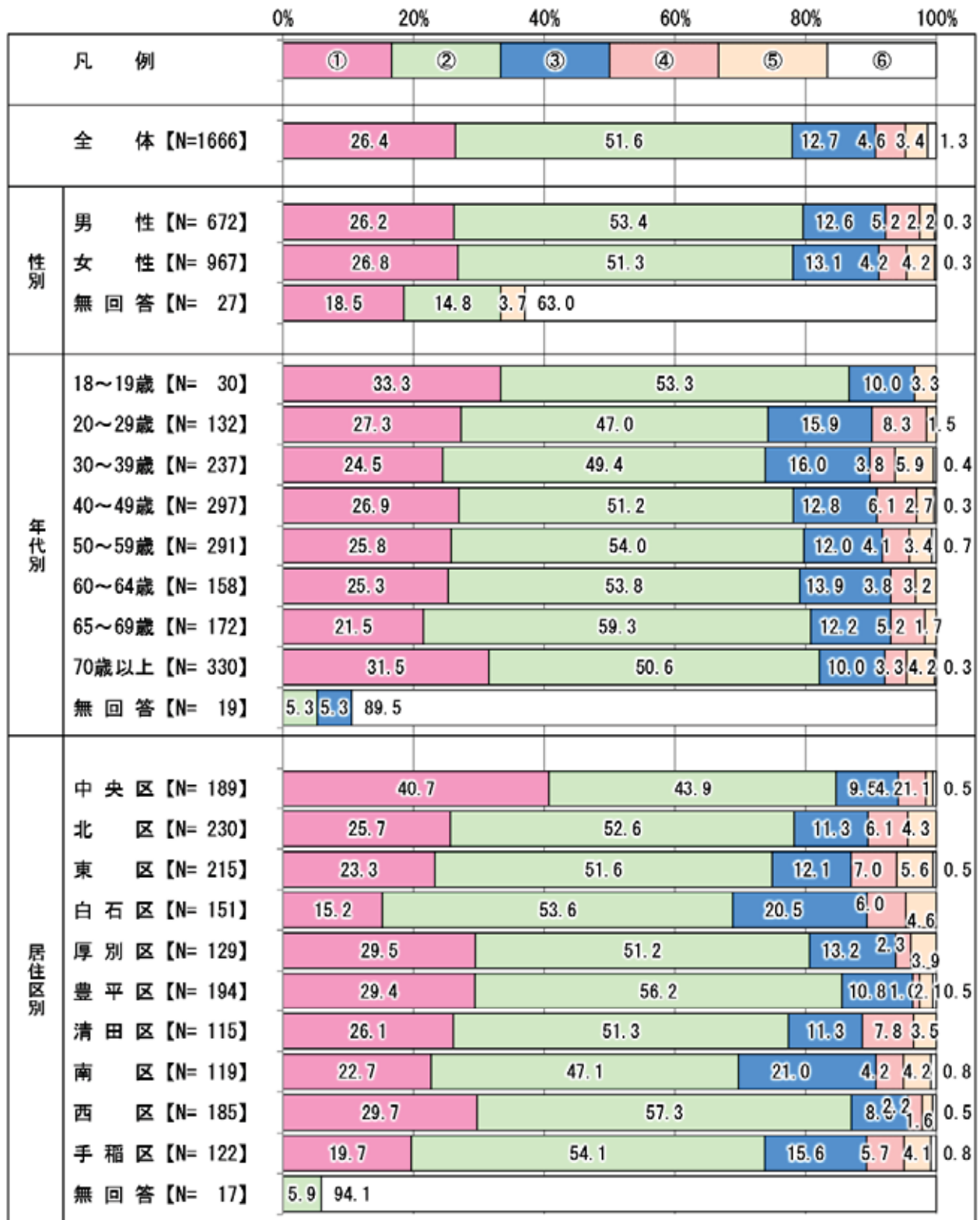
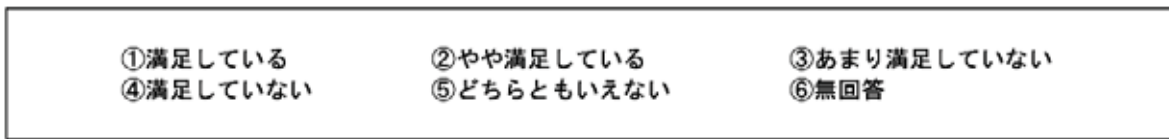
男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性が53.4%、女性が51.3%となっている。「満足している」は男性が26.2%、女性が26.8%となっている。

【年代別】

全年代で「やや満足している」が最も高く、50歳代が54.0%、65～69歳が59.3%となっている。

【居住区別】

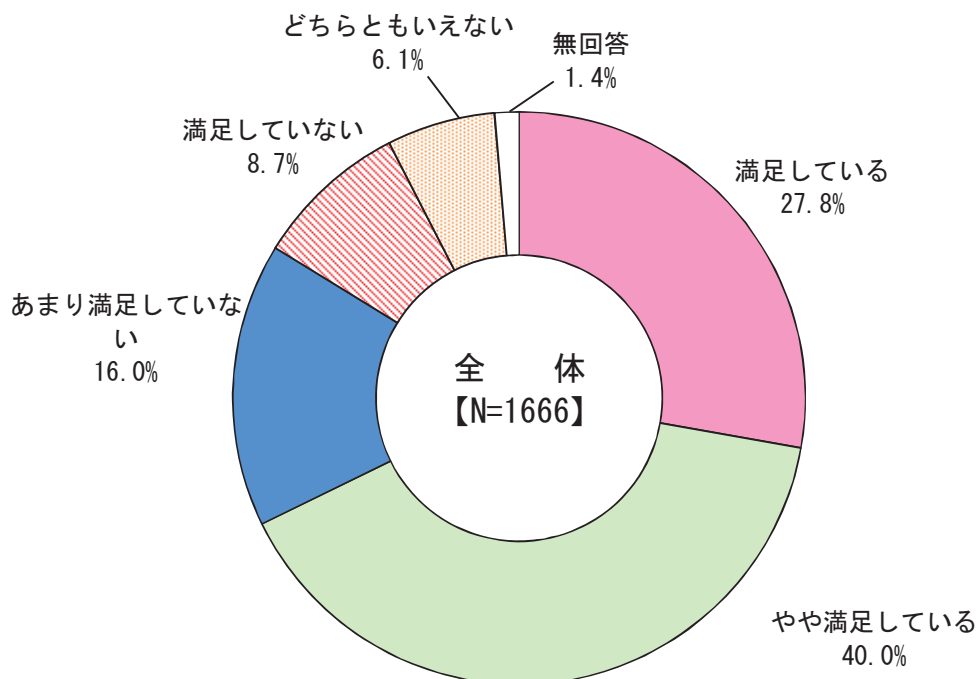
全居住区で「やや満足している」が最も高く、5割程度となっている。中央区では「満足している」が40.7%と他の居住区と比較して高い。居住区によって若干バラつきが見られる。



・ 公共交通の満足度

【問36】 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

公共交通の満足度については、「満足している」(27.8%)と「やや満足している」(40.0%)を合わせた“満足している”(67.8%)が全体の約7割を占めている。



【対象者全体】

公共交通の満足度については、「やや満足している」が40.0%と最も高く、次いで「満足している」が27.8%、「あまり満足していない」が16.0%、「満足していない」が8.7%、「どちらともいえない」が6.1%となっている。

【性別】

男女ともに「やや満足している」が最も高く、男性が40.8%、女性が40.4%となっている。「満足している」は男性が26.9%、女性が28.6%となっている。

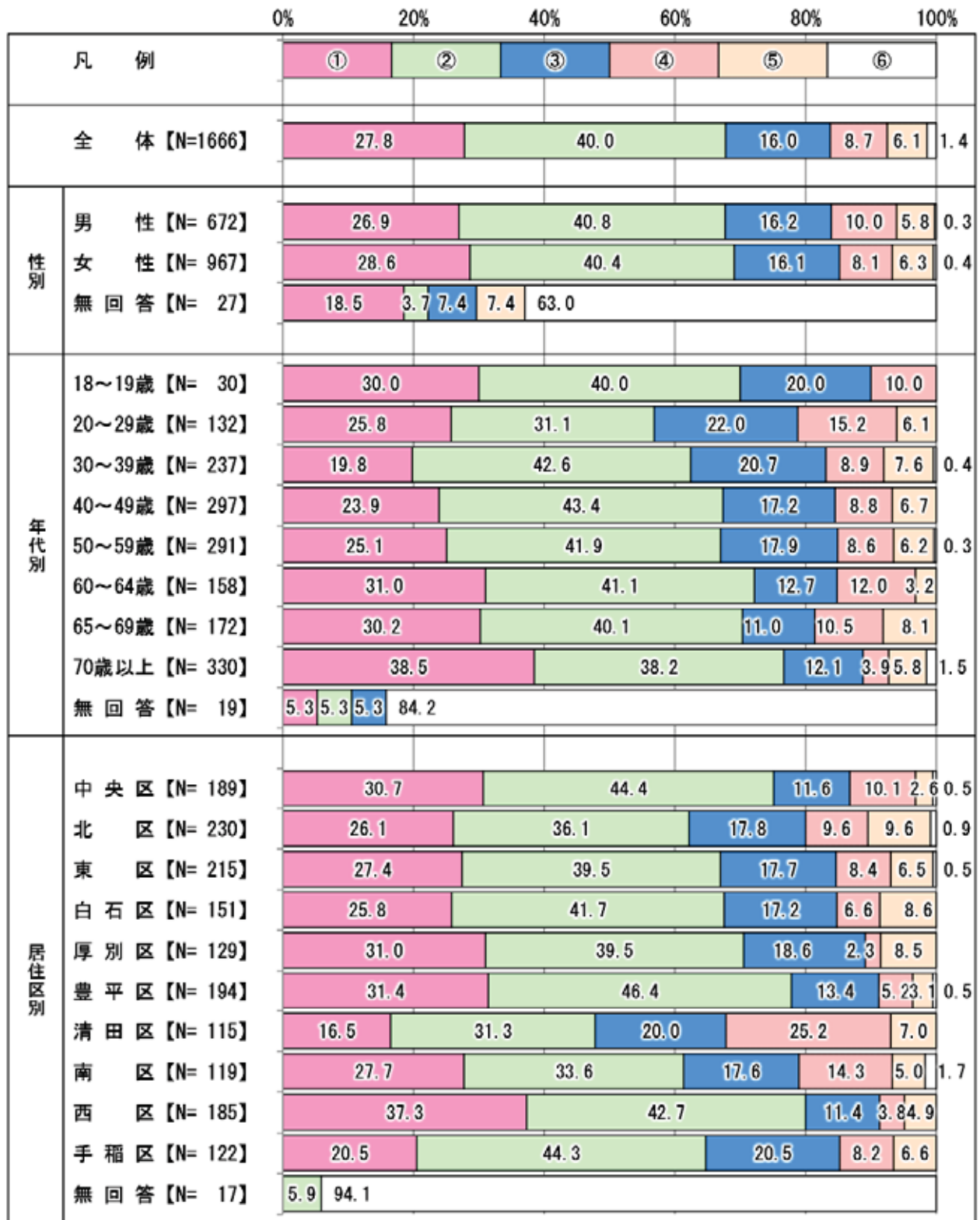
【年代別】

70歳以上を除く全年代で「やや満足している」が最も高く、特に40歳代では43.4%となっている。「満足している」は70歳以上が38.5%と他の年代と比較し高い。「あまり満足していない」は18～19歳が20.0%、20歳代が22.0%、30歳代が20.7%と他の年代と比較し高い。

【居住区別】

全居住区で「やや満足している」が最も高く、中央区では44.4%、手稲区では44.3%となっている。「満足していない」は清田区で25.2%と、他の居住区と比較し高い。居住区によって大きなバラつきが見られる。

①満足している ②やや満足している ③あまり満足していない
 ④満足していない ⑤どちらともいえない ⑥無回答



平成 27 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査
～アンケート調査へのご協力をお願い～

日ごろから、札幌市政にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

札幌市では、様々な事業を実施しておりますが、より良い事業推進のためには、その取り組みの効果や成果を的確に把握し、今後の改善や見直しにつなげていく必要があります。

効果や成果の把握としては、例えばイベントにおける入場者数など、札幌市が直接把握できるもののほか、事業を通じて提供されるサービスの利用者満足度など、市民の皆様にお聞きしなければ把握できないものもあることから、このたび、アンケートにより市民の皆様にお伺いさせていただくものです。

突然のお願いで恐縮ではありますが、趣旨をご理解いただき、可能な限りご回答くださいますようお願いいたします（なお、ご事情により回答できない場合には、ご回答いただかなくて構いません）。

●市民の皆様にご協力いただきたいこと

本調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返信してください。

●今回のアンケートの対象者の選び方

市民の皆様の中から 4,000 人を、くじびきのような方法（無作為抽出）で選ばせていただきました。

●今回お送りしたもの

事業の効果に関する市民意識調査（この冊子）、返信用封筒

●プライバシーの保護には十分配慮します

この調査は、皆様から無記名でご回答いただくものであり、その結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値や表としてまとめますので、個人のお名前を公表することはありません。また、調査をお願いした方の名簿を公表することはありません。

◆◆◆ご回答にあたって◆◆◆

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでもかまいません。

ご回答は、あてはまるところ（番号）に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。記入が終わった調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成 28 年 2 月 25 日（水）までに、郵便ポストへ投函してください。

本調査についてのご不明な点などがございましたら

札幌市市長政策室 改革推進部推進課 担当：児玉・藤原 TEL011-211-2061 まで

平成 27 年度 札幌市
事業の効果に関する市民意識調査 調査票

「暮らし・コミュニティ」について

問1 札幌市は、子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問2 あなたは、今の札幌市では、子どもの権利*が守られていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために守らなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

1. そう思う 2. まあそう思う 3. あまりそう思わない 4. 全くそう思わない 5. わからない

問3 この設問は **18 歳以下のお子さん**がいる方のみお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いる (ある) ⇒問4へ 2. いない (ない) 3. 悩んだことはない

問4 問3で「1. いる (ある)」と答えた方にお聞きします。妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談等により不安や負担を軽くすることができますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. いつもできている 2. だいたいできている
3. あまりできていない 4. 全くできていない

問5 この設問は **小学校入学前のお子さん**がいる方のみお聞きします。この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 利用できた 2. 利用できなかった 3. 利用する必要がなかった

問 10 近年、孤立死※が大きな問題となっていますが、あなたは、孤立死について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置された状態で発見されることです。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 心配である | 2. 少し心配である |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり心配していない |
| 5. 心配していない | 6. わからない |

問 11 札幌市は、「犯罪のない安全に安心して暮らせるまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

問 12 あなたは、日頃から犯罪に遭わないための対策※を講じるなど、防犯の意識をもって暮らしていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「犯罪に遭わないための対策」とは、「短時間の外出でも必ず施錠をする」「個人情報が含まれているごみを出さない」「人気のない道や暗い道は避けて歩く」などのことです。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 常に意識をしている | 2. どちらかといえば意識をしている |
| 3. あまり意識をしていない | 4. 意識をしていない |

問 13 あなたは、地域などの自主的な防犯活動※に参加していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「自主的な防犯活動」とは、この場合、パトロール、登下校時の子どもの見守り、子ども 110 番の家への加入、環境美化活動などのことを指しています。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ときどき参加している | 3. 参加したことがない |
|---------------|---------------|--------------|

問 14 札幌市は、「自転車のルールやマナー※が守られている安全なまち」だと思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 「ルールやマナー」とは、「自転車は車道が原則」「歩道を走行する場合は、歩行者を優先し車道寄りに徐行」「二人乗り禁止」「夜間はライト点灯」「混んでいる歩道では自転車を押して歩く」などのことを指しています。

- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|---------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | | |
| 3. あまりそう思わない | ⇒問 15 へ | 4. 全くそう思わない | ⇒問 15 へ |
| 5. わからない | | | |

<この設問は問 14 で「3. あまりそう思わない」「4. 全くそう思わない」と答えた方にお聞きします。>

問 15 あなたは、自転車のルールやマナーについての意識がこの 1 年で高まりましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない | 4. 全くそう思わない | 5. わからない |
|---------|-----------|--------------|-------------|----------|

問 16 あなたは、地域の雪は地域で処理する取り組みに関して、地域の雪置き場として公園※などの利用や、その後の雪割りや清掃などで町内会等に協力したことがありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※ 町内会と札幌市がルールなどの覚書を交わした場合に限り、公園の一部を雪置き場として利用できます。

1. 協力したことがある

2. 協力したことはない

問 17 次にあげるまちづくり活動※のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動－地域における安全、安心を推進し、暮らしやすいまちを実現するために、一人ひとりがごみの分別や除雪ルールに気をつけたり、同じまちに住む人々（町内会や老人クラブ、PTA、商店街など）がお互いに協力し合って、ごみステーションの管理、近所の清掃活動、街路樹柵への花植え等の活動を行ったりすること。

1. ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守

2. 近隣のごみ拾い・清掃

3. 地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加

4. 雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき

5. 自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援

6. 高齢者等の家事援助や福祉施設での手伝い

7. 寄附や募金

8. 通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加

9. 街路樹柵への花植えなど地域の緑化活動への参加

10. 高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認

11. 健康づくり活動への参加や指導

12. 子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加

13. 音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承

14. 防災訓練への参加

15. 防火・防犯パトロールへの参加

16. その他（具体的に：

）

17. いずれも参加・活動していることはない

問 18 札幌市では、市の事業や施策（市政）を進めていくにあたり、できるだけ多くの市民の皆さまに参加していただけるように努めているところです。札幌市が次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会を設けていることに対して、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

(1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆さまに集まっていただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆さまから意見をいただくもの）

1. 意見を提出したことがある 2. 知っているが意見を提出したことはない 3. 知らない

(3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）

1. 参加したことがある 2. 知っているが参加したことはない 3. 知らない

(5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募

1. 応募したことがある 2. 知っているが応募したことはない 3. 知らない

問 19 あなたの市政への関心や参加について、もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 関心があり、参加したい
2. 関心はあるが、勤務環境や家庭環境により、今は参加が難しい
3. これまでは関心がなかったが、興味のあるものがあれば参加したい
4. これからも参加したいとは思わない
5. わからない

問 20 今後、より多くの市民が市政に参加しやすくなるためには、どのようなことが必要であると思いますか。もっともあてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加の機会が用意される
2. 市政参加を身近に感じられるよう、どのような参加の手法があるか具体的に紹介する
3. 意見交換会の開催情報など、市政参加の機会に関する情報がよりわかりやすく、簡単に入手できる
4. 意見が反映された事例を紹介するなど、市民参加の効果が実感できるようにする
5. わからない

問 21 あなたは、姉妹・友好都市^{※1}をはじめとした海外諸都市との交流や外国人の方との交流^{※2}に関心がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※1 札幌市の「姉妹・友好都市」は、ポートランド（アメリカ）、ミュンヘン（ドイツ）、瀋陽（中国）、ノボシビルスク（ロシア）、大田（韓国）の5都市です。

※2 「海外諸都市との交流や外国人の方との交流」とは、文化芸術（芸術作品の創作・鑑賞等）、スポーツ（青少年スポーツ交流等）、観光（外国人観光客のおもてなし、海外での見聞を広める等）、教育（語学、留学等）、経済（企業の進出・誘致、流通の拡大等）など様々な分野における交流を指します。

- | | | | |
|------------|----------|-------------|----------|
| 1. 特に関心がある | 2. 関心がある | 3. あまり関心がない | 4. 関心が無い |
|------------|----------|-------------|----------|

問 22 あなたが、この1年間に、趣味などで行った文化芸術活動（実践及び鑑賞）は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 音楽 | 2. 美術 |
| 3. 演劇 | 4. 洋舞 |
| 5. 写真 | 6. 日本の古典芸能（能・歌舞伎・邦楽・邦舞など） |
| 7. 大衆芸能（落語・漫才など） | 8. 文化施設利用（音楽ホール・博物館など） |
| 9. その他（具体的に：_____） | 10. 活動を行っていない |

問 23 あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、直接には何も観戦しなかった方は「13」だけに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 1. プロ野球 | 2. プロサッカー | 3. プロバスケットボール |
| 4. フットサル（Fリーグ） | 5. マラソン | 6. アマチュアの野球（児童、学生を含む） |
| 7. ゴルフ | 8. 相撲、格闘技 | 9. アマチュアのサッカー（児童、学生を含む） |
| 10. ウインタースポーツ | 11. その他のアマチュアスポーツ（具体的に：_____） | |
| 12. その他のプロスポーツ（具体的に：_____） | | 13. 直接には何も観戦しなかった |

問24 あなたは、この1年間にスポーツ（運動）を行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、スポーツ（運動）には、健康のための散歩やジョギングなど、軽い運動も含まれます。また、職業として行ったものや、学校の体育の授業は除きます（部活動は含まれます）。スポーツを行わなかった場合は、「33」または「34」のいずれかに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 1. ウォーキング、散歩 | 2. ランニング（ジョギング、マラソン） | 3. サイクリング |
| 4. トレーニング（室内運動器具を使ってする運動を含む） | 5. 体操（エアロビクス、ラジオ体操、縄跳びを含む） | 6. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りを含む） |
| 7. 登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む） | 8. スキー | 9. スノーボード |
| 10. スケート | 11. カーリング | 12. その他のウインタースポーツ（具体的に： ） |
| 13. 釣り | 14. キャンプ、海水浴 | 15. 水泳（水中ウォーキング、アクアエクササイズを含む） |
| 16. 卓球 | 17. バドミントン | 18. テニス、ソフトテニス |
| 19. 野球（キャッチボールを含む） | 20. サッカー、フットサル | 21. バレーボール |
| 22. バスケットボール | 23. ソフトボール | 24. ドッジボール |
| 25. ラグビー | 26. ボウリング | 27. パークゴルフ |
| 28. ゴルフ（練習場含む） | 29. ゲートボール | 30. 武道（柔道、剣道、空手など） |
| 31. 弓道、アーチェリー | 32. その他（具体的に： ） | |
| 33. スポーツを行えなかった | 34. スポーツをする気がなかった | |

<この設問は、問24で「1」から「32」までのいずれかに○をつけた方にお聞きします。>

問25 あなたが、問24で答えたスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 年151日以上（週3回以上） | 2. 年51～150日（週1～2回程度） |
| 3. 年12～50日（月1～3回程度） | 4. 年12日未満（月1回未満） |

問26 あなたは、札幌の水道に関する次の事柄についてどのくらい満足していますか。(1)から(3)までの各項目についてそれぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。また、3. やや不満、4. 不満に○を付けた方は、具体的な理由をお書きください。

- | | | | | |
|---|---------|---------|-------|--------------|
| (1) 止まることなく水道水を安定してお届けすること
(事前にお知らせする水道管の工事などの場合を除く) | | | | |
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. どちらともいえない |
| ← [具体的な理由:] | | | |] |
| (2) 安全で良質な水道水をお届けすること | | | | |
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. どちらともいえない |
| ← [具体的な理由:] | | | |] |
| (3) お客さまサービス（問い合わせ対応・広報） | | | | |
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 | 5. どちらともいえない |
| ← [具体的な理由:] | | | |] |

問27 あなたは札幌の水道に関して、今後、一層力を入れるべきだと思う取り組みは何ですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

1. お客さま対応の向上
2. 信頼される水道事業のために、市民と安全でおいしい水をお届けするための取り組みや水道事業の課題などの情報の積極的な共有
3. 健全経営を続けるための、コスト削減や一層の効率化
4. 将来の水道事業を支えていくための、人材育成や若い世代への技術の継承
5. これからも安全な水をお届けするための、水質監視・検査体制の強化
6. 水道水の安定供給を維持するための、老朽化した施設や水道管の更新
7. 災害などによる被害を最小限にとどめるための、施設の耐震化や応急給水・復旧体制の整備
8. 環境に優しい事業を進めるための、再生可能エネルギーの積極的な活用や、エネルギーの効率的な利用

「産業・活力」について

問28 あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. そう思う
2. まあそう思う
3. あまりそう思わない
4. 全くそう思わない
5. わからない

問29 この3年間で、「さっぽろ雪まつり」(大通・すすきの・つどい会場のいずれか)に来場したことはありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 毎年行っている
2. 3年のうち1、2回は行った
3. 行っていない

⇒問30へ

<この設問は問29で「3. 行っていない」と答えた方にお聞きします。>

問30 雪まつりがどうなったら行こうと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

1. 会場が家から近ければ行く
2. 開催期間が長ければ行く
3. 美味しい物が食べられるのであれば行く
4. 子どもが楽しめるアトラクションがあれば行く
5. 文化芸術的なイベントがあれば行く
6. 雪・氷と親しめるアトラクションがあれば行く
7. 開催情報や魅力がわかる情報発信があれば行く
8. その他(具体的に:)

「低炭素社会・エネルギー転換」について

問31 生ごみ減量・リサイクルの取り組みとして、次の中にあなたのご家庭で行っているものはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 水切り（水絞り）による生ごみの減量を意識して行っている
2. 食材の買い過ぎや料理の作り過ぎをしないよう意識している
3. ダンボール箱やコンポスター容器などによる堆肥化を行っている
4. 電動生ごみ処理機を使用している
5. その他の生ごみ減量・リサイクルの取り組みを行っている
(具体的に：)
6. 特に何もしていない

問32 「生物多様性」とは、地球上には様々な生き物がいて、それらがバランスを保ちながら、つながり合
って生きていることをいい、空気や水、衣・食・住など私たちの暮らしはこの生物多様性により支えられ
ています。

あなたは、これまで「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけ
てください。

1. 知っていた
2. 言葉を聞いたことはあるが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

問 33 環境配慮活動に関してお聞きします。各項目にお答えください。

(1) 再生可能エネルギー機器などの導入状況についてお聞きします。次の中に、あなたが導入している再生可能エネルギー機器や省エネルギー機器などがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 次世代自動車 ^{※1} | 2. 消費電力量見える化機器、HEMS ^{※2} |
| 3. 太陽光発電 | 4. 太陽熱利用 |
| 5. ペレットストーブ、薪ストーブ | 6. エネファーム・コレモ（コージェネレーション ^{※3} ） |
| 7. 地中熱ヒートポンプ | 8. エコフィール（灯油式高効率給湯・暖房機） |
| 9. エコジョーズ
（ガス式高効率給湯・暖房機） | 10. エコキュート・ヒートポンプ温水暖房
（電気式高効率給湯・暖房機） |

※1 次世代自動車：具体的には、ハイブリット自動車、プラグインハイブリット自動車、電気自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車など。

※2 HEMS：Home Energy Management System の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

※3 コージェネレーション：燃料電池やガスエンジンによって、電気と給湯・暖房用の熱を生み出すシステム。

(2) エコライフの取り組みの実践状況についてお聞きします。次の中に、あなたが常に実践しているエコライフの取り組みはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 使用していない部屋の灯りをこまめに消す
2. テレビの明るさ設定を変えたり（明るくしすぎない）、見る時間を短くしたりしている
3. 冷蔵庫の温度設定を変えたり（冷たくしすぎない）、ドアの開け閉めを短くしたりしている
4. 家電製品（照明を含む）の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ
5. 衣服などにより調節し、冷房もしくは暖房を使いすぎない
6. 夏は外気を入れて室温を下げたり、冬はカーテンを閉めて熱が逃げないようにする
7. 温水洗浄便座の保温を切るか、保温機能を使う場合は温度を低めに設定する
8. 電気ポットや炊飯ジャーの保温時間を短くする
9. 駐停車中はなるべくアイドリングストップをする
10. 積極的に公共交通機関を利用したり、短い距離は自転車や徒歩で移動したりする
11. 車の発進時はおだやかなアクセル操作でゆっくりと加速する
12. 速度変化の少ない運転をする
13. 車の減速時はエンジンブレーキを使用する
14. カーエアコンの使用を控えめにする
15. 食器は余分な汚れをふき取ってから洗う
16. 洗濯は、まとめ洗いをする
17. 風呂の残り湯を洗濯などに利用する
18. 入浴時にはシャワーを出しっぱなしにせず、こまめに止める
19. 買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
20. 食材は無駄なく買って使い切る

「戦略を支える都市空間」

問34 あなたは、札幌の都心（下図の点線で囲まれた部分参照）に「にぎわい」があると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない



問35 あなたは、住んでいる地域の住環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. どちらともいえない | |

問36 あなたは、公共交通による日常の移動に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. あまり満足していない |
| 4. 満足していない | 5. どちらともいえない | |

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢は（平成28年2月1日現在）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70歳以上 |

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|---------|
| 1. 中央区 | 2. 北区 | 3. 東区 | 4. 白石区 | 5. 厚別区 |
| 6. 豊平区 | 7. 清田区 | 8. 南区 | 9. 西区 | 10. 手稲区 |

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて、2月25日（水）までに投函してください。